

京都市敬老乗車制度に関する市民アンケート調査結果 報告書

令和7年2月

京都市 保健福祉局
健康長寿のまち・京都推進室
介護ケア推進課

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の方法	1
3.	調査の期間	1
4.	調査対象者	1
5.	有効回答件数・回収率	1
6.	調査実施機関	2
7.	調査報告書の読み方及び注意事項	2
II	制度対象者（72 歳以上）向けアンケート調査結果	3
1.	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	居住区	4
(4)	同居家族	5
(5)	年収	5
(6)	自動車運転免許の状況	6
(7)	最寄りバス停・駅までの時間及び利用頻度	8
(8)	要介護認定区分及び施設への入所状況	16
(9)	普段の生活について	17
(10)	交通系 IC カードの利用	18
(11)	利用している交通系 IC カードの種類	18
(12)	交通系 IC カードを利用していない理由	19
(13)	社会への関わり方や生きがいなどについて	19
2.	敬老乗車証の交付状況について	20
(1)	敬老乗車証の交付を受けているかどうか	20
(2)	交付を受けている敬老乗車証の種類	27
(3)	フリーパス証を選んだ理由・目的・利用回数	29
(4)	フリーパス証の負担金額	30
(5)	フリーパス証の負担金に対する考え	31
(6)	敬老バス回数券を選んだ理由・利用目的・利用回数・制度に対する考えについて	32
(7)	過去における敬老乗車証の交付の有無	35
(8)	フリーパス証・敬老バス回数券の交付を受けていない理由	35
3.	敬老乗車制度について	39
(1)	敬老乗車制度の税金による負担について	39
(2)	税金負担を増やすまたは維持とした方がよい理由	40
(3)	税金負担を減らした方がよい理由	40
(4)	IC 化による応益負担について	41
(5)	IC 化による応益負担について賛成する理由	43
(6)	IC 化による応益負担について反対する理由	43
4.	自由意見等（一部抜粋）	44

Ⅲ 若年層（20 歳～64 歳）向けアンケート調査結果	47
1. 回答者の属性	47
(1) 性別	47
(2) 年齢	47
(3) 居住区	48
(4) 同居家族	49
(5) 年収	49
(6) 自動車運転免許の状況	49
(7) 最寄りバス停・駅までの時間及び利用頻度	50
(8) 交通系 IC カードの利用	51
(9) 利用している交通系 IC カードの種類	51
(10) 交通系 IC カードを利用していない理由	52
2. 敬老乗車制度について	53
(1) 敬老乗車制度の認知度	53
(2) 家族の敬老乗車証の交付の有無	53
(3) 敬老乗車制度の税金による負担について	54
(4) 税金負担を増やすまたは維持とした方がよい理由	55
(5) 税金負担を減らした方がよい理由	56
(6) IC 化による応益負担について	57
(7) IC 化による応益負担について賛成する理由	59
(8) IC 化による応益負担について反対する理由	60
3. 自由意見等（一部抜粋）	61
Ⅳ 調査票	63
1. 制度対象者（72 歳以上）向けアンケート調査票	63
2. 若年層（20 歳～64 歳）向けアンケート調査票	73

I 調査概要

1. 調査の目的

京都市では、高齢者の社会参加支援を目的とした福祉施策として敬老乗車証制度を実施しており、令和4年10月及び令和5年10月に、制度を持続可能なものとしながら、利便性向上につながるための見直しを実施しました。

一方で、平成25年10月に「敬老乗車証制度の今後の在り方に関する基本的な考え方」を策定し、敬老乗車証を現在の磁気カードからICカードに変更することを前提に、所得に応じた負担金制（応能負担）から、利用頻度に応じた選択的負担（応益負担）へと転換することとしています。多額の経費や長期の導入期間を必要とすることから、今後の技術革新の動向等を踏まえ、より効率的な導入方法を研究するために延期することとしています。

本調査は、制度見直し後の御利用状況等を把握するとともに、今後もより良い制度としていくうえでの参考とするため実施したものです。

2. 調査の方法

郵送による無記名アンケート形式（WEB回答も可能）

3. 調査の期間

令和6年10月1日（火）～同年10月18日（金）

4. 調査対象者

①敬老乗車証制度の対象者（72歳以上）：6,500人

②若年層（20歳～64歳）：3,000人

※それぞれ住民基本台帳から無作為抽出

5. 有効回答件数・回収率

調査対象	対象者数	有効回答数			回収率
			郵送	WEB	
① 制度対象者（72歳以上）	6,500件	2,662件	2,546件	116件	41.0%
② 若年層（20歳～64歳）	3,000件	1,145件	488件	657件	38.2%
合計	9,500件	3,807件	3,034件	773件	40.1%

6. 調査実施機関

株式会社 東京商工リサーチ京都支店及び本社市場調査部

7. 調査報告書の読み方及び注意事項

- 図表中の割合は、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- 図表中の「N」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上となることがあるため、合計は100%を超えることもあります。
- 複数回答のグラフ及び集計表は、回答の多い順に並び変えている場合があります（「その他」及び「無回答」を除く）。
- 集計表は、上段が件数、下段が割合を表しています。
- 集計表は、全体値と比較して、10ポイント以上高い数値についてはで着色、10ポイント以上低い数値についてはで着色しています。
- サンプル数が少ない場合、見方には注意が必要です。

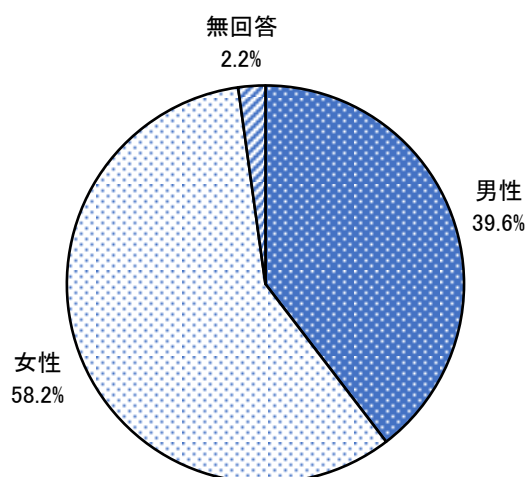
Ⅱ 制度対象者（72 歳以上） 向けアンケート調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

「女性」が 58.2%、「男性」が 39.6%となっています。

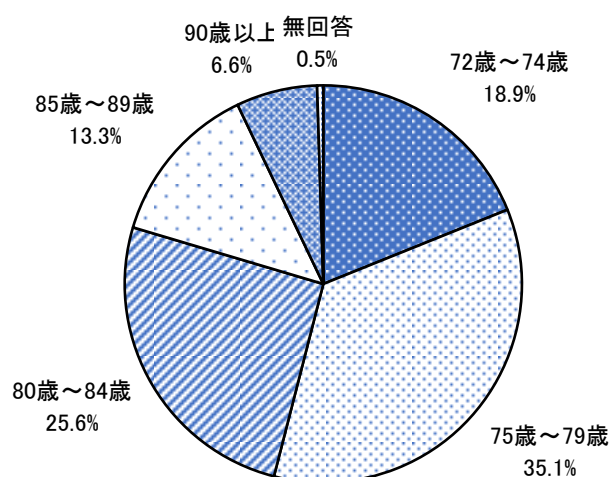
(N = 2662)



(2) 年齢

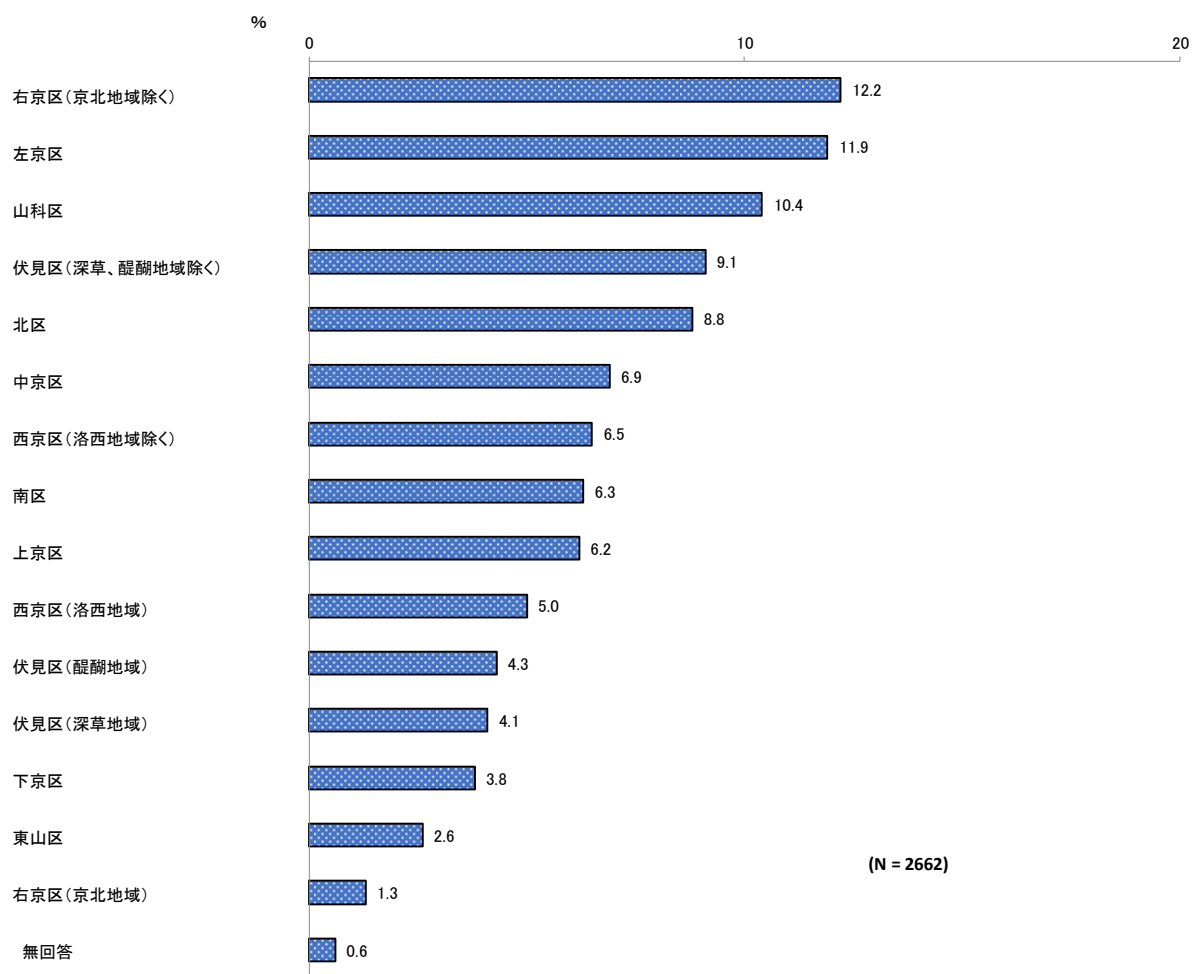
「75 歳～79 歳」が 35.1%と最も高く、次いで「80 歳～84 歳」が 25.6%、「72 歳～74 歳」が 18.9%となっています。

(N = 2662)



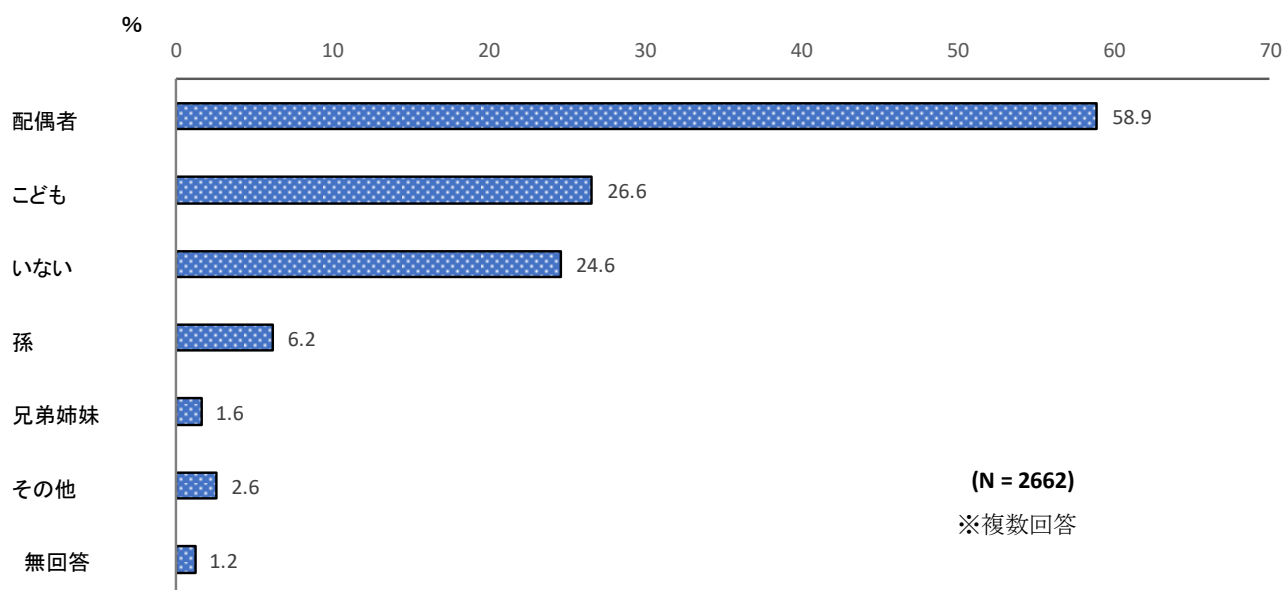
(3) 居住区

「右京区（京北地域除く）」が12.2%と最も高く、次いで「左京区」が11.9%、「山科区」が10.4%となっています。



(4) 同居家族

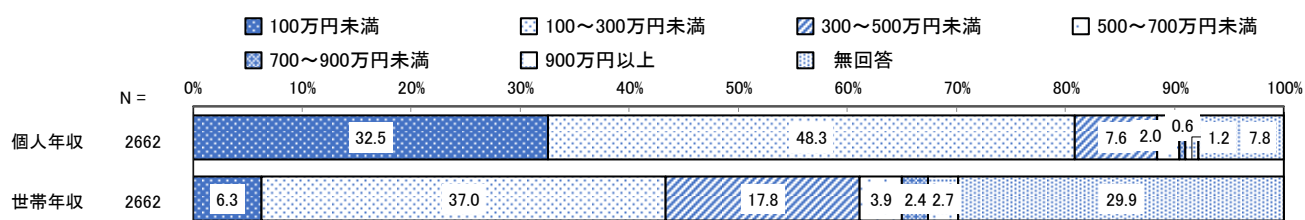
「配偶者」が58.9%と最も高く、次いで「子ども」が26.6%、「いない」が24.6%となっています。



(5) 年収

個人年収は、「100～300万円未満」が48.3%と最も高く、次いで「100万円未満」が32.5%、「300～500万円未満」が7.6%となっています。

世帯年収は、「100～300万円未満」が37.0%と最も高く、次いで「300～500万円未満」が17.8%、「100万円未満」が6.3%となっています。

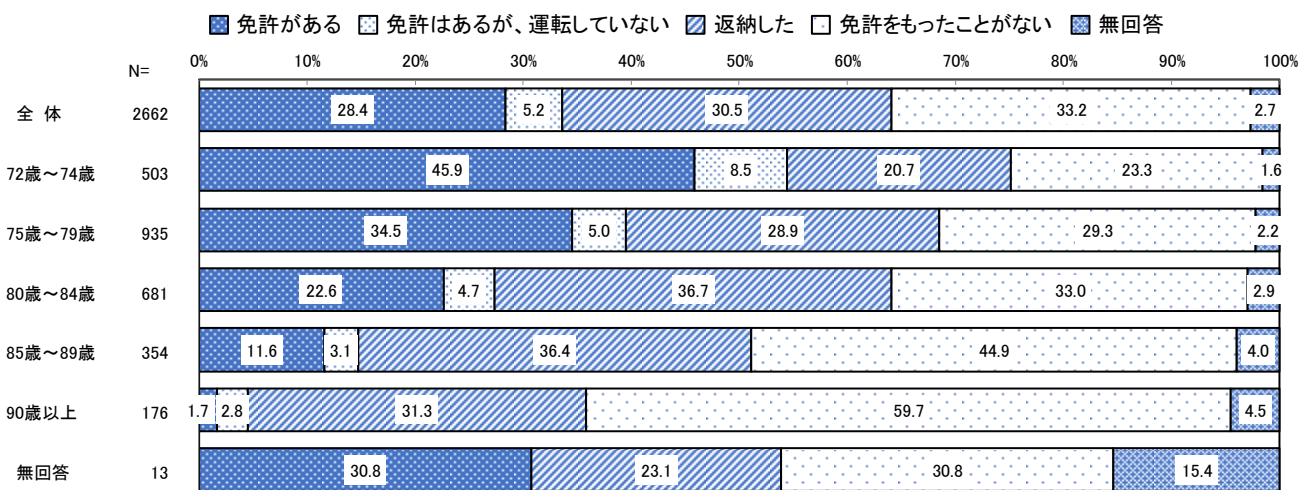


(6) 自動車運転免許の状況

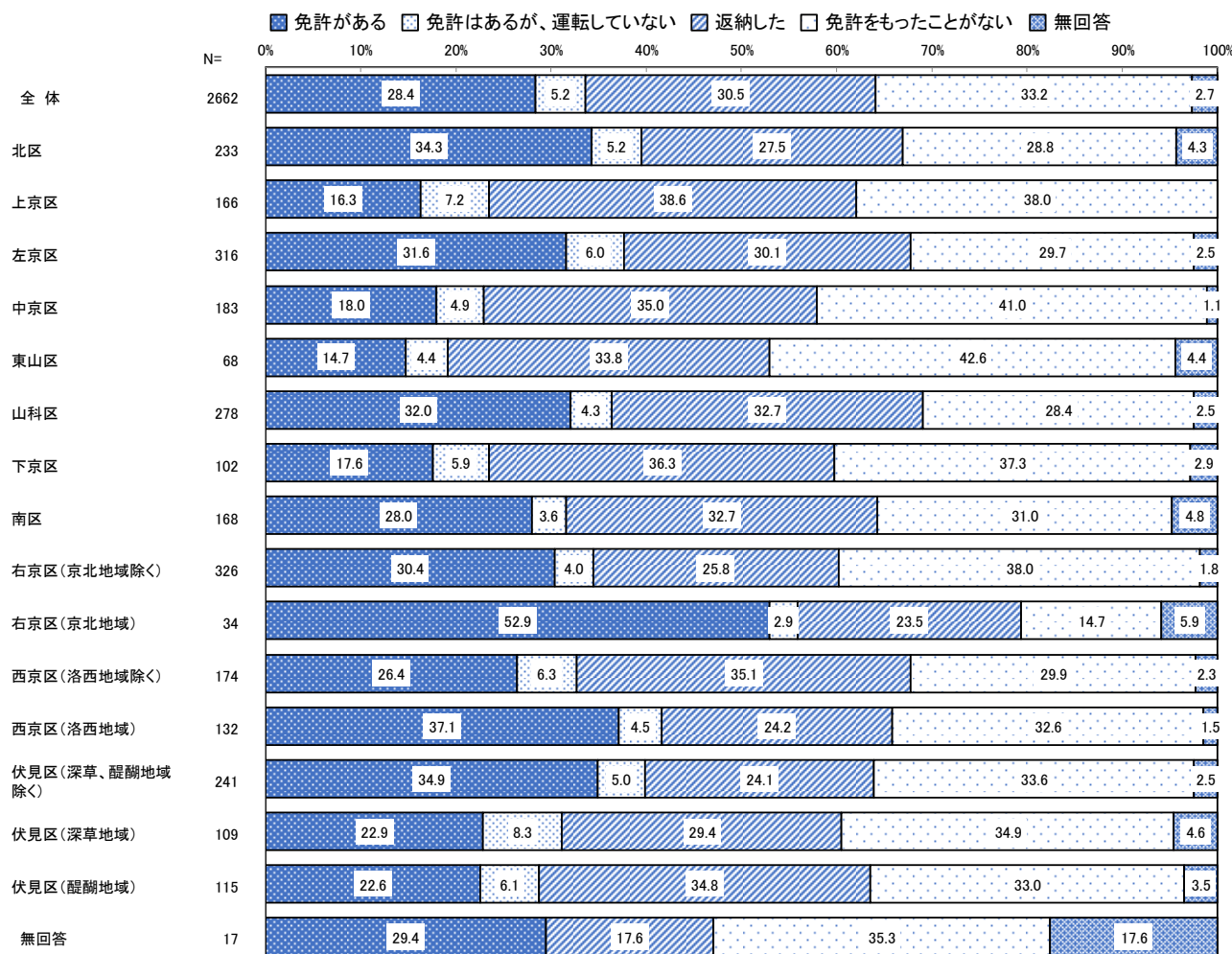
① 個人

「免許をもったことがない」が33.2%と最も高く、次いで「返納した」が30.5%、「免許がある」が28.4%となっています。

年齢別でみると、「免許がある」は年齢が若いほど高くなる傾向がみられ、「返納した」及び「免許をもったことがない」は、高齢になるほど高くなる傾向がみられます。



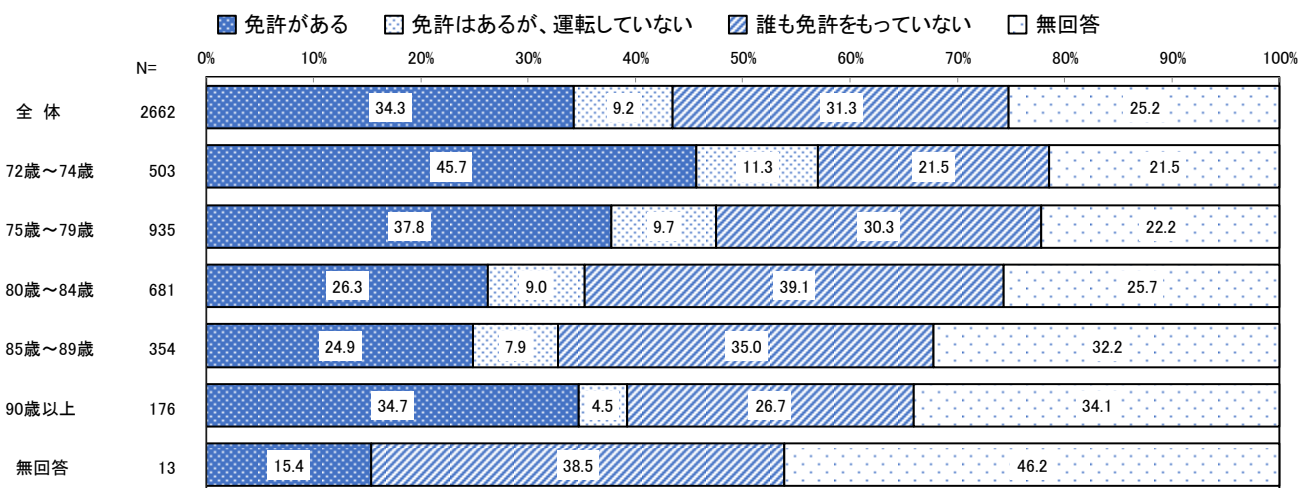
居住区別でみると、「上京区」、「中京区」、「東山区」及び「下京区」において「免許がある」が20%以下と低くなっています。「右京区（京北地域）」では「免許がある」が52.9%と全体値よりもかなり高く、かつ最も高くなっています。



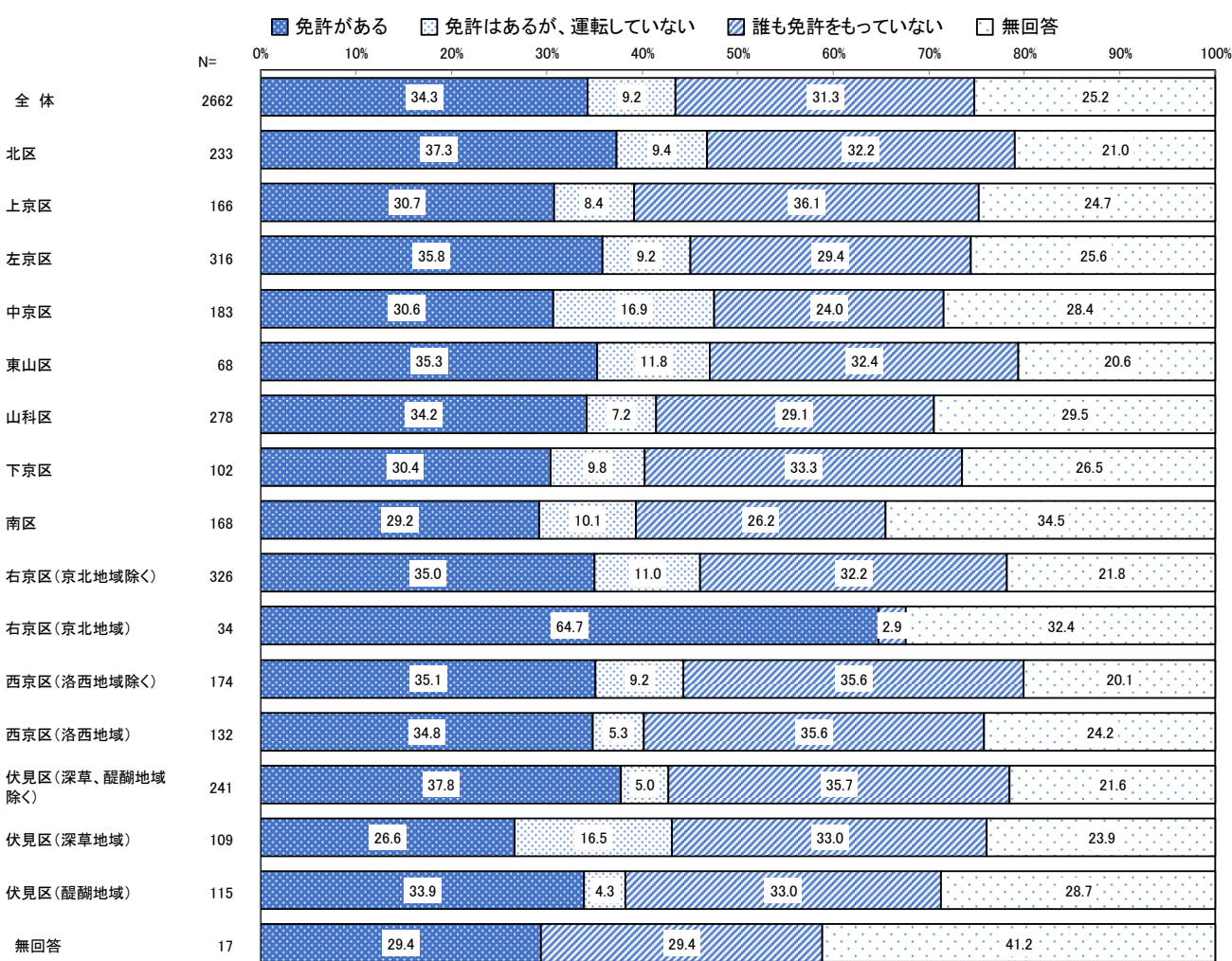
② 同居家族

「免許がある」が34.3%と最も高く、次いで「誰も免許をもっていない」が31.3%、「免許はあるが、運転していない」が9.2%となっています。

年齢別でみると、年齢が若いほど「免許がある」が高くなる傾向がみられますが、「90 歳以上」でも34.7%と高い水準にあります。



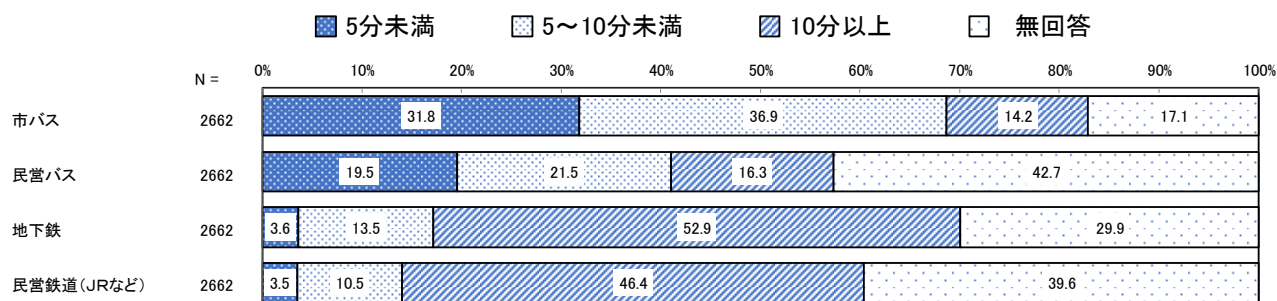
居住区別でみると、「右京区（京北地域）」では「免許がある」が64.7%と全体値よりもかなり高く、かつ最も高くなっています。



(7) 最寄りバス停・駅までの時間及び利用頻度

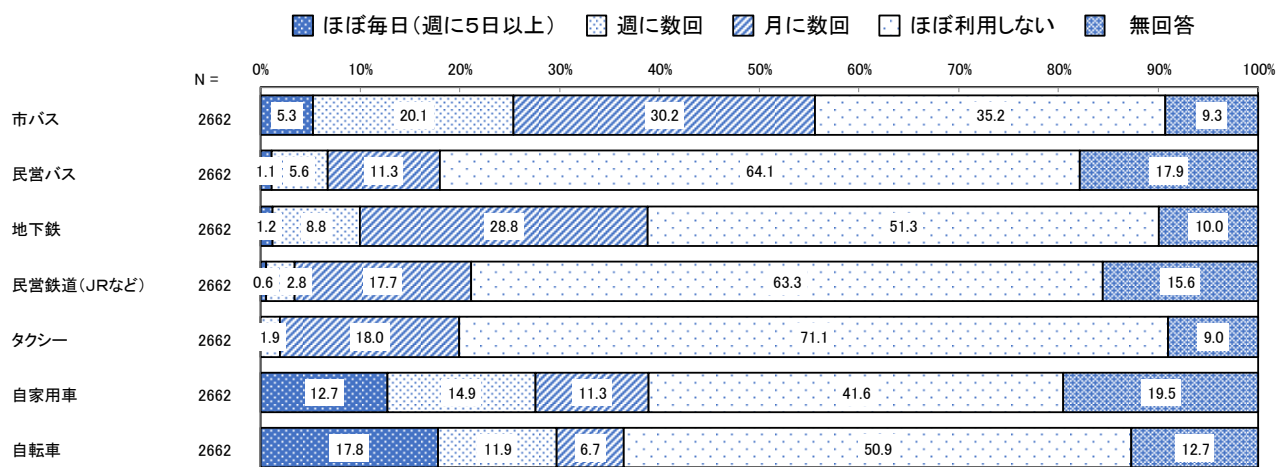
① 最寄りバス停・駅までの時間（徒歩）

「5分未満」及び「5～10分未満」の割合は、「市バス」が68.7%、「民営バス」は41.0%、「地下鉄」では17.1%、「民営鉄道」では14.0%となっています。



② 利用頻度

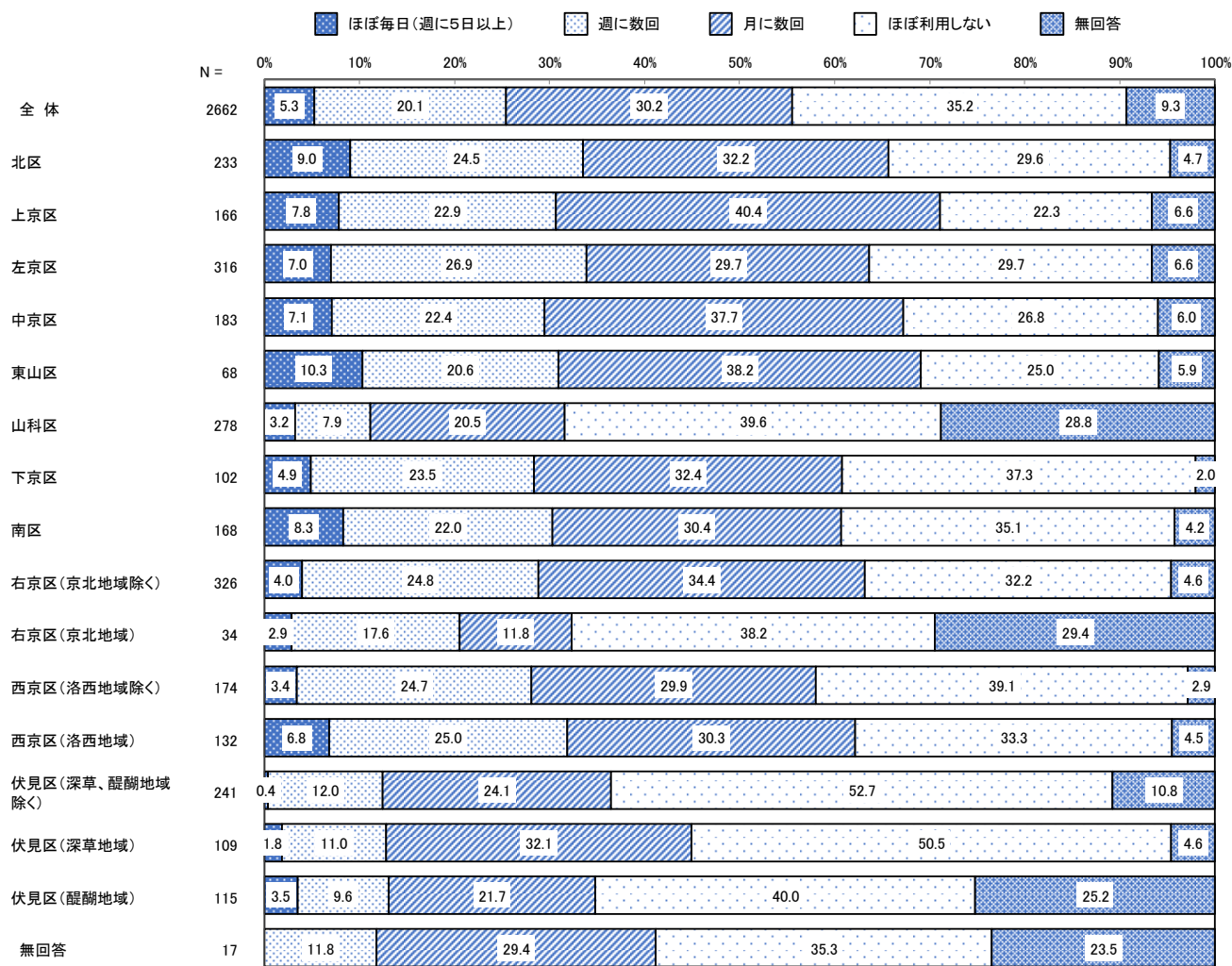
「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計が最も高いのは「市バス」の55.6%であり、次いで「自家用車」が38.9%、「地下鉄」が38.8%となっています。



(居住区別×各交通手段別)

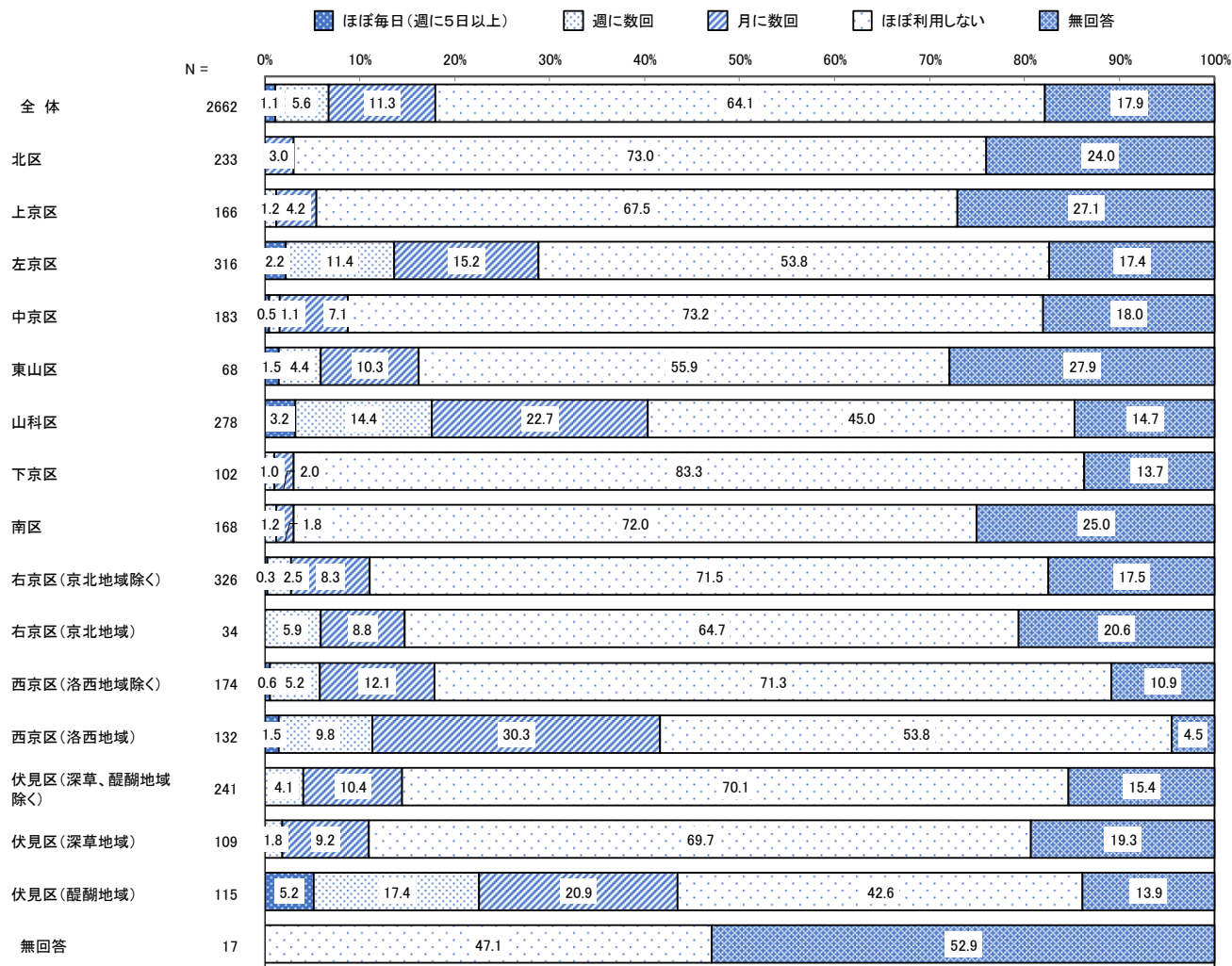
○ 市バス

「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で60%前後となっており、特に利用が多い「上京区」では71.1%です。一方で利用が少ない「山科区」、「右京区（京北地域）」、「伏見区（深草、醍醐地域除く）」及び「伏見区（醍醐地域）」では、30%台となっています。



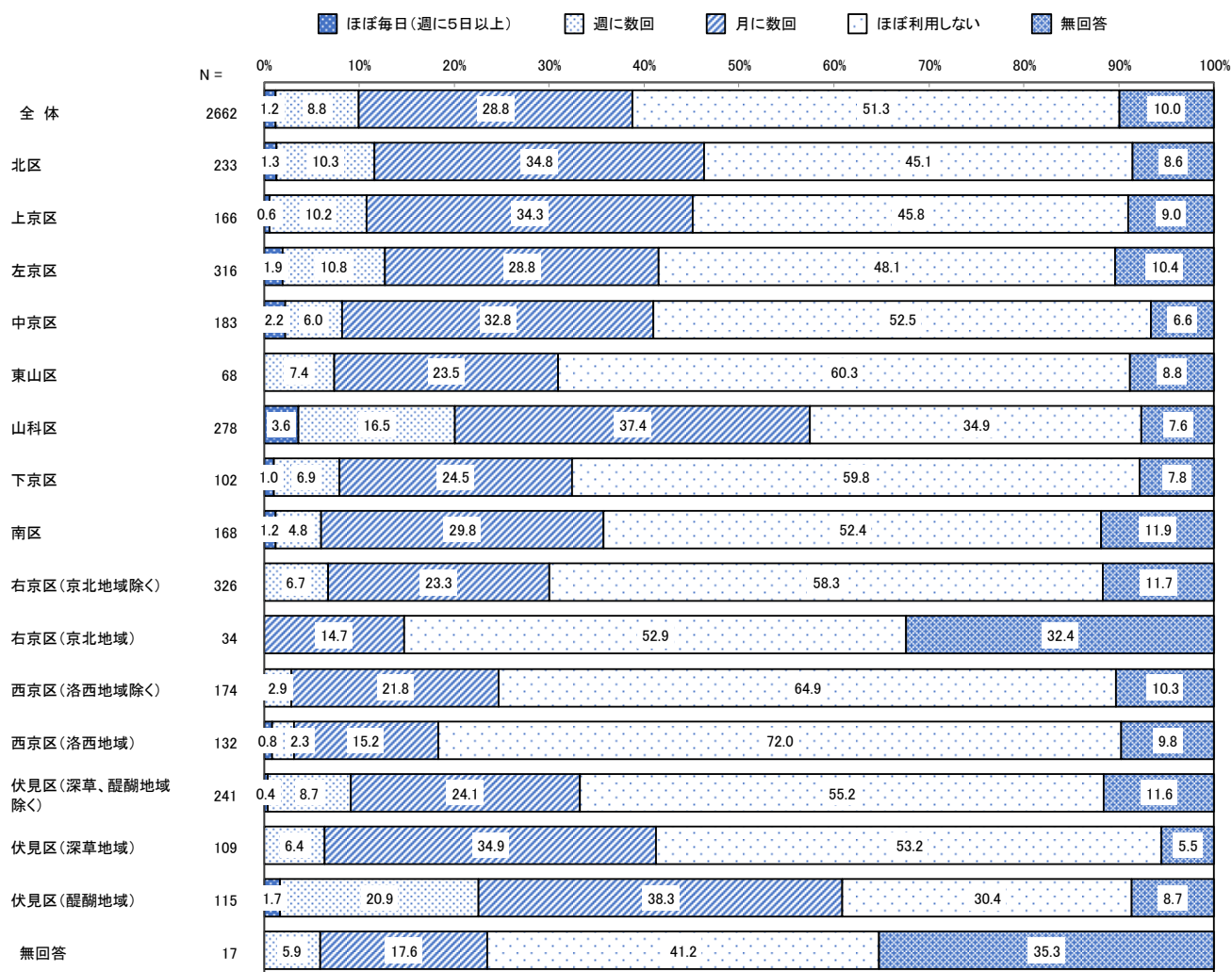
○ 民営バス

いずれの区でも「ほぼ利用しない」が最も高くなっています。「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で20%以下となっており、利用が比較的多い区では、「伏見区（醍醐地域）」43.5%、「西京区（洛西地域）」41.6%、「山科区」40.3%となっています。



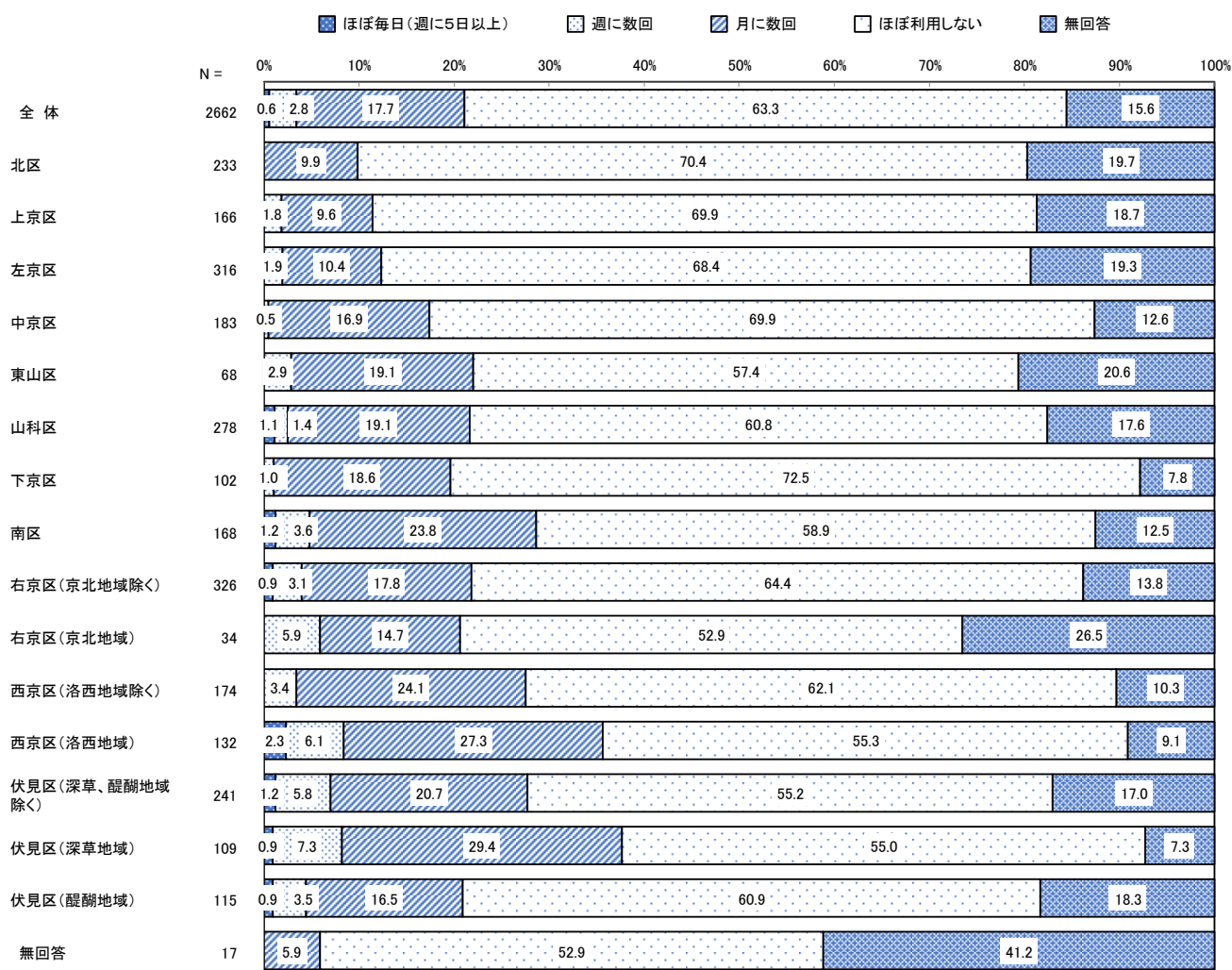
○ 地下鉄

「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で40%前後となっており、利用が多い区では、「伏見区（醍醐地域）」60.9%、「山科区」57.5%となっています。



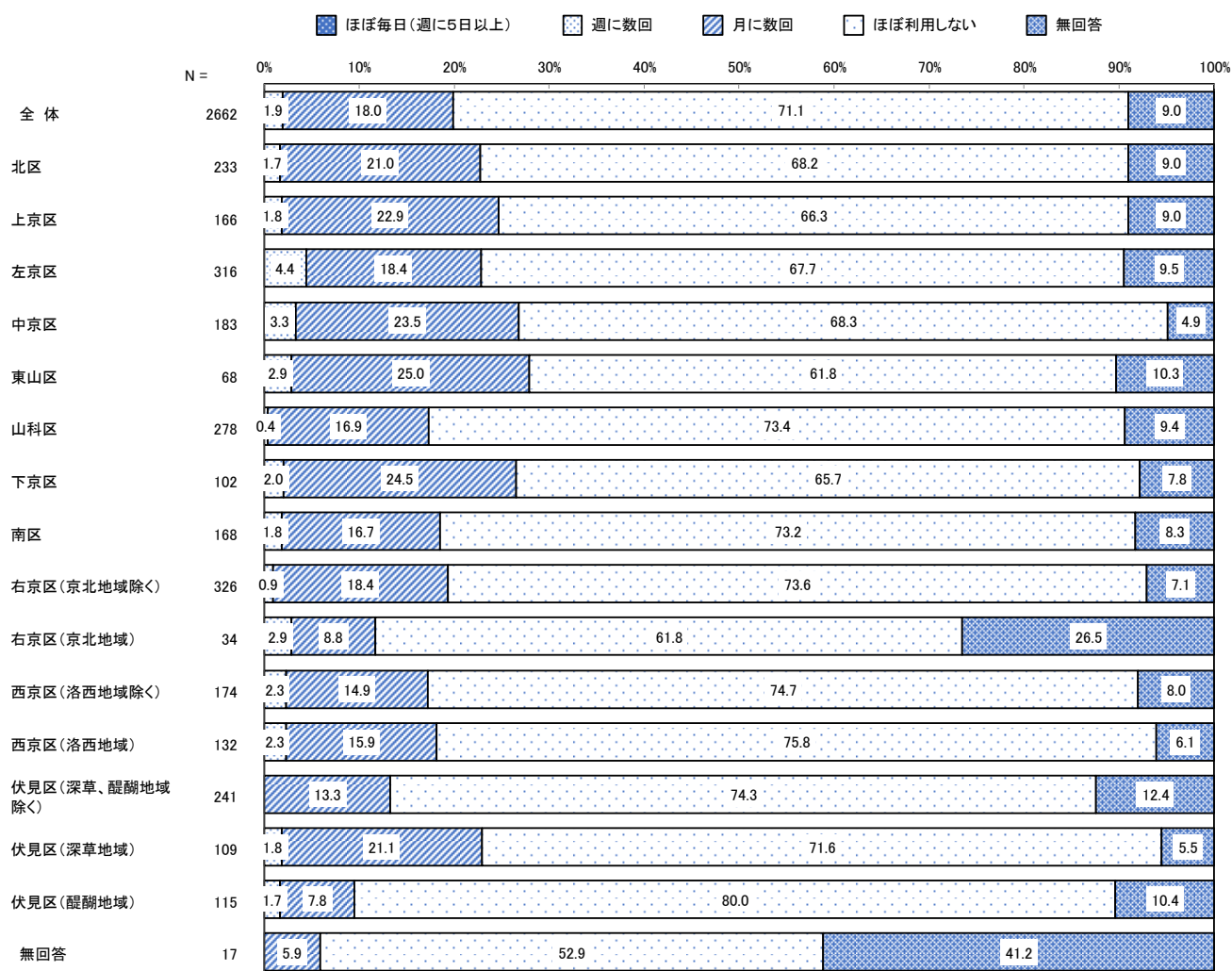
○ 民営鉄道（JR など）

いずれの区でも「ほぼ利用しない」が最も高くなっています。「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で20%前後となっており、利用が比較的多い区では、「伏見区（深草地域）」37.6%、「西京区（洛西地域）」35.7%となっています。



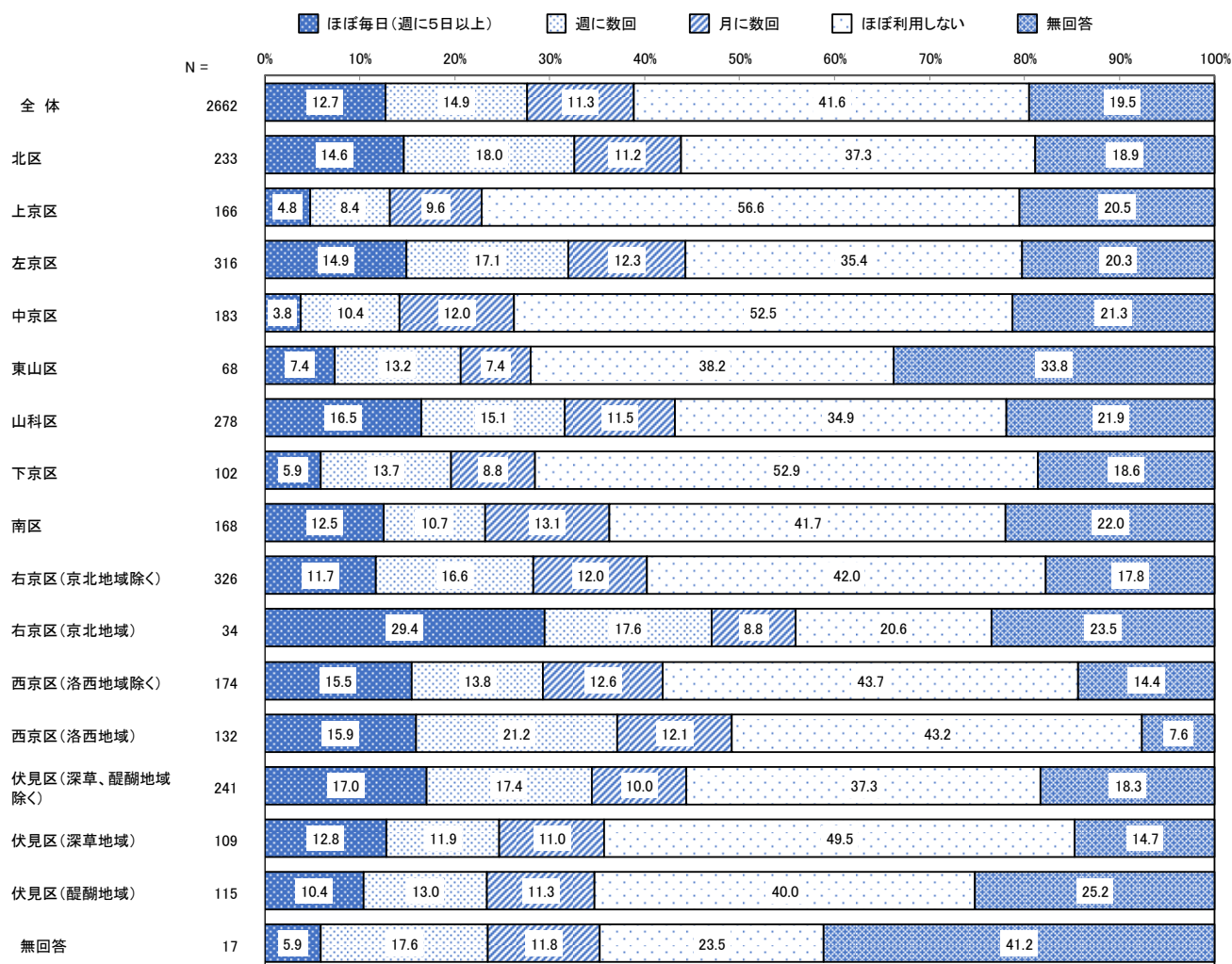
○ タクシー

いずれの区でも「ほぼ毎日（週に5日以上）」はゼロとなっています。また「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で20%前後となっています。



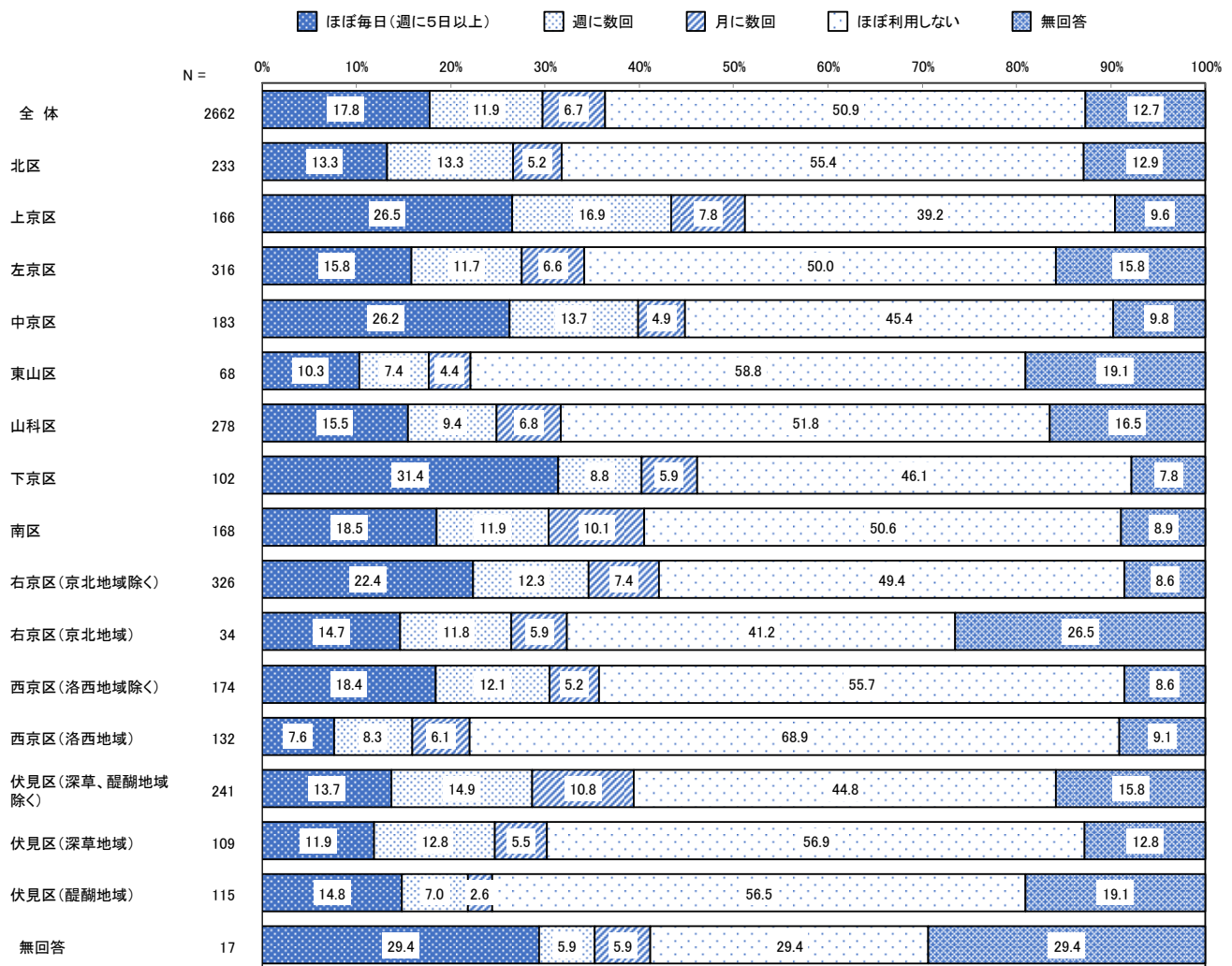
○ 自家用車

「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は、多くの区で40%前後となっており、利用が多い区では、「右京区（京北地域）」55.8%となっています。



○ 自転車

いずれの区でも「ほぼ毎日（週に5日以上）」が最も高いですが、他の交通手段に比べ「ほぼ毎日（週に5日以上）」が高い水準にあります。「下京区」では「ほぼ毎日（週に5日以上）」が31.4%と特に高くなっています。

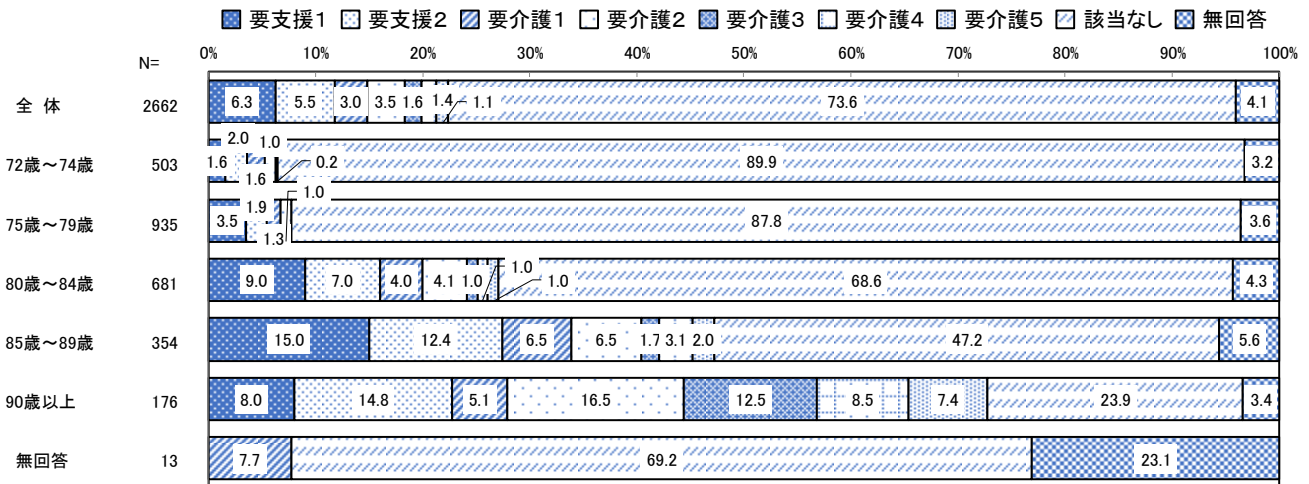


(8) 要介護認定区分及び施設への入所状況

① 要介護認定区分

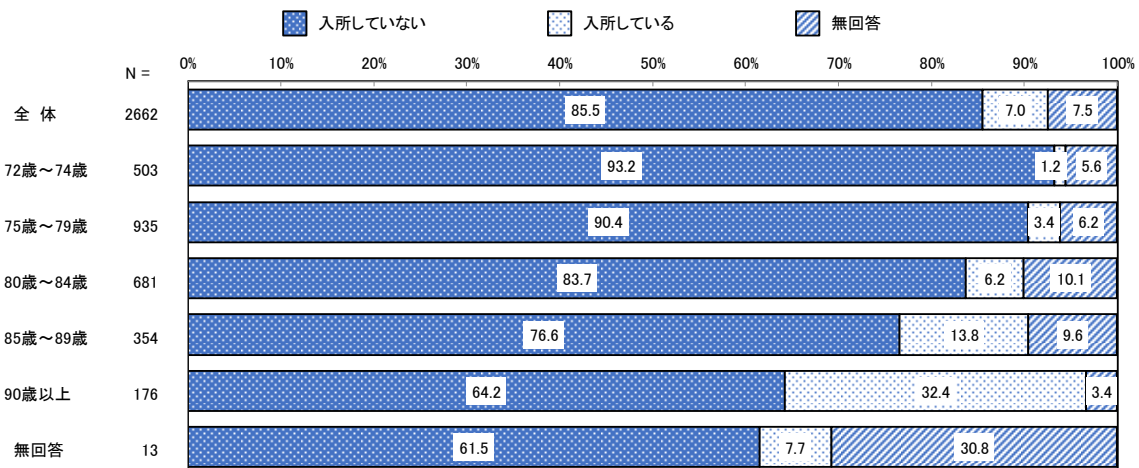
「該当なし」が73.6%と最も高く、次いで「要支援1」が6.3%、「要支援2」が5.5%となっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、要支援や要介護となっている割合が高くなる傾向がみられ、「80歳～84歳」では「該当なし」が68.6%、「85歳～89歳」では47.2%、「90歳以上」では「該当なし」が23.9%とさらに低くなっています。



② 施設への入居状況

「入所していない」が85.5%を占めていますが、年齢別でみると、高齢になるほど何らかの施設に入居している割合が高くなっています。

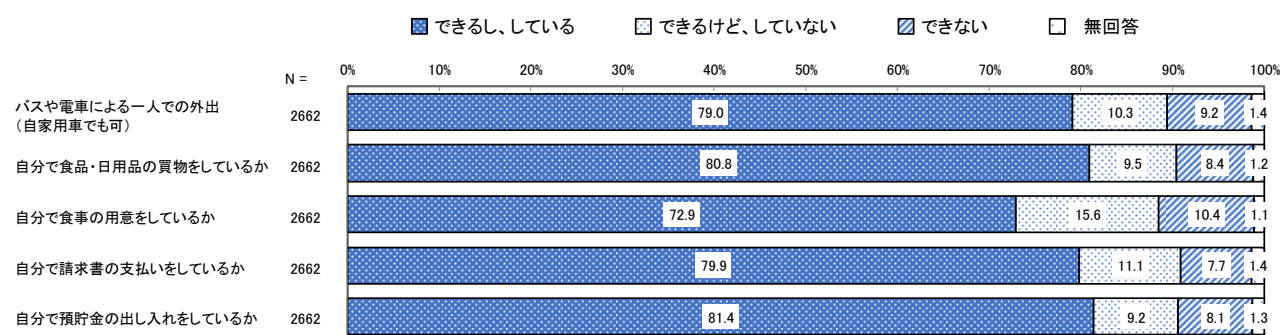


【詳細】

		全 体	入所してい ない	入所している								無回答	
				特別養護老 人ホーム	介護老人保 健施設	介護 医療院	グループホ ーム	養護老人 ホーム	ケアハウス	有料老人 ホーム	サービス付き 高齢者向け 住宅		その他
年 齢	72歳～74歳	503	469	—	—	—	—	1	—	—	1	4	28
		100.0	93.2	—	—	—	—	0.2	—	—	0.2	0.8	5.6
	75歳～79歳	935	845	1	1	2	—	1	3	2	2	20	58
		100.0	90.4	0.1	0.1	0.2	—	0.1	0.3	0.2	0.2	2.1	6.2
	80歳～84歳	681	570	1	3	1	1	1	4	1	1	29	69
		100.0	83.7	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.6	0.1	0.1	4.3	10.1
	85歳～89歳	354	271	2	5	4	1	1	4	3	6	23	34
		100.0	76.6	0.6	1.4	1.1	0.3	0.3	1.1	0.8	1.7	6.5	9.6
	90歳以上	176	113	16	13	3	3	2	1	5	3	11	6
		100.0	64.2	9.1	7.4	1.7	1.7	1.1	0.6	2.8	1.7	6.3	3.4
無回答	13	8	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	
	100.0	61.5	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	30.8	

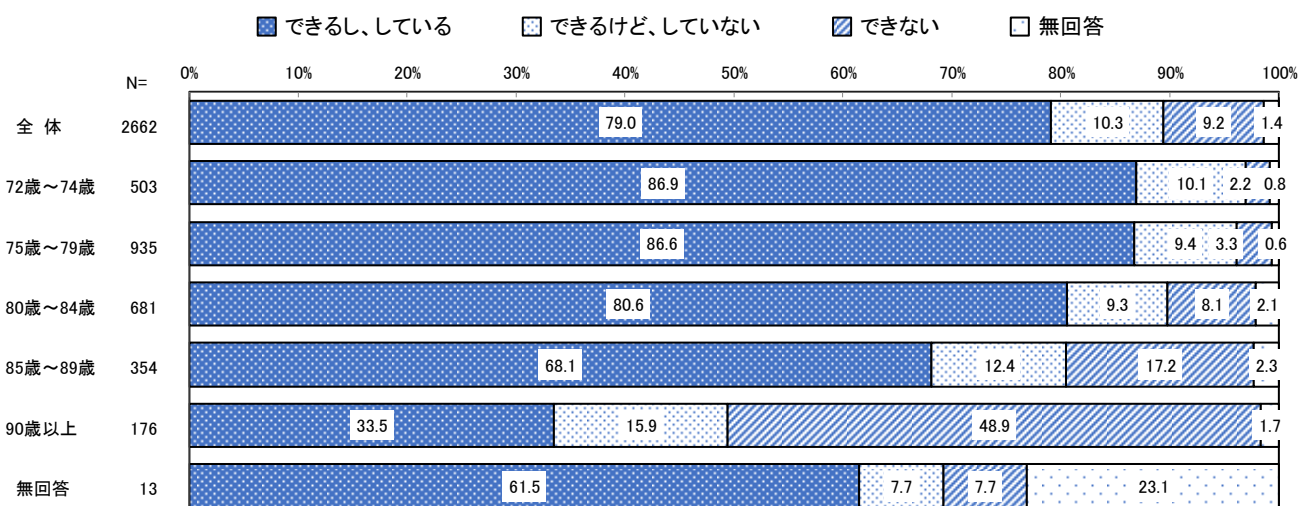
(9) 普段の生活について

いずれの生活上の行動でも、「できるし、している」が70.0%以上を占めています。



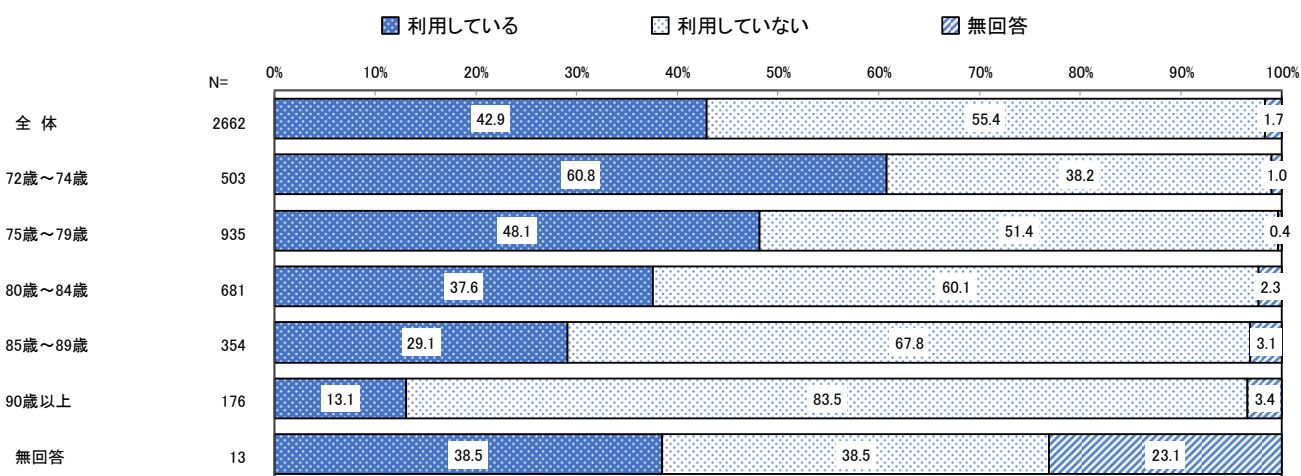
○ バスや電車による一人で外出（自家用車でも可）

年齢別でみると、高齢になるほど「できるし、している」が低くなる傾向がみられます。



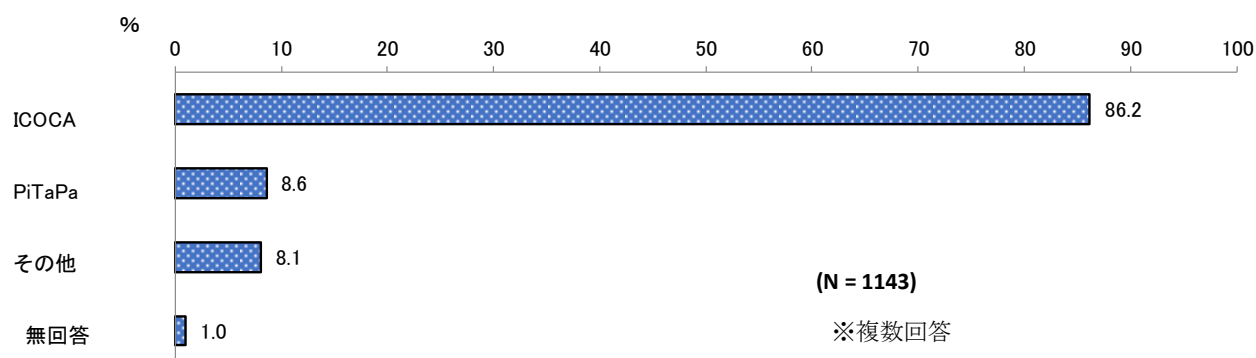
(10) 交通系 IC カードの利用

「利用していない」が55.4%、「利用している」が42.9%となっていますが、年齢別でみると、年齢が低いほど「利用している」割合が高い傾向がみられます。



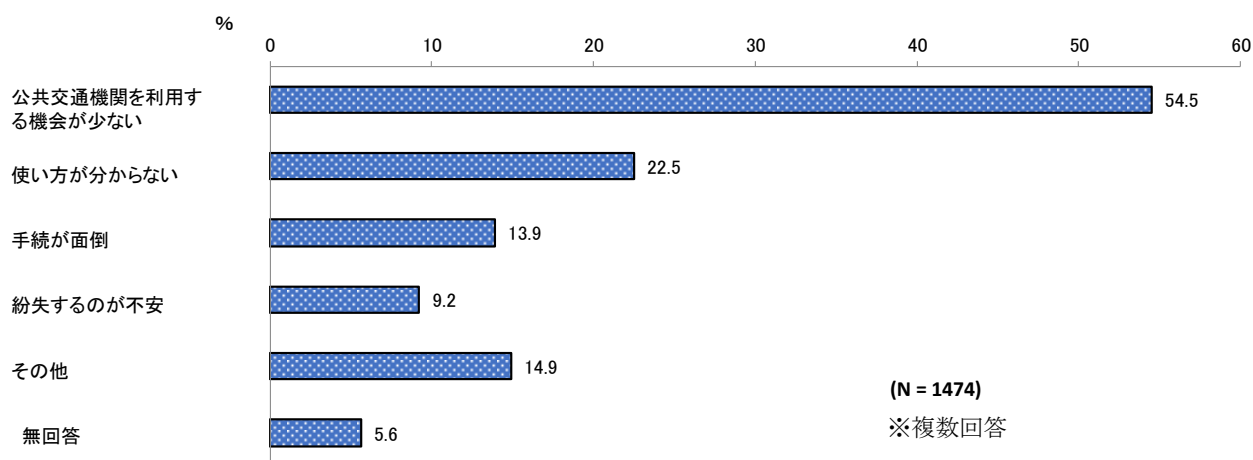
(11) 利用している交通系 IC カードの種類

「ICOCA」が86.2%と最も高く、次いで「PiTaPa」が8.6%となっています。



(12) 交通系 IC カードを利用していない理由

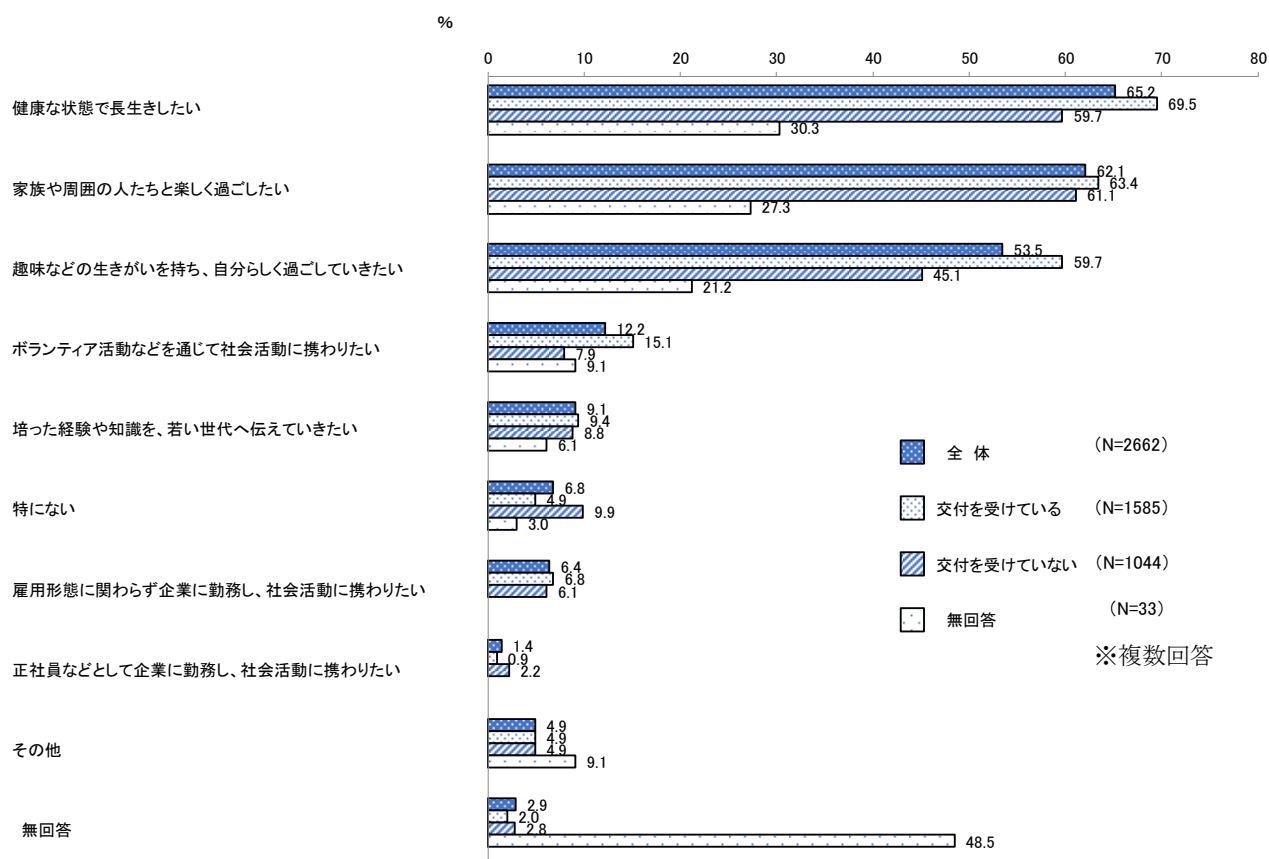
「公共交通機関を利用する機会が少ない」が54.5%と最も高く、次いで「使い方が分からない」が22.5%、「手続きが面倒」が13.9%となっています。



(13) 社会への関わり方や生きがいなどについて

「健康な状態で長生きしたい」が65.2%と最も高く、次いで「家族や周囲の人たちと楽しく過ごしたい」が62.1%、「趣味などの生きがいを持ち、自分らしく過ごしていきたい」が53.5%となっています。

また、敬老乗車証の「交付を受けている」方は、社会活動への関わりや生きがいがある割合が高くなっています。

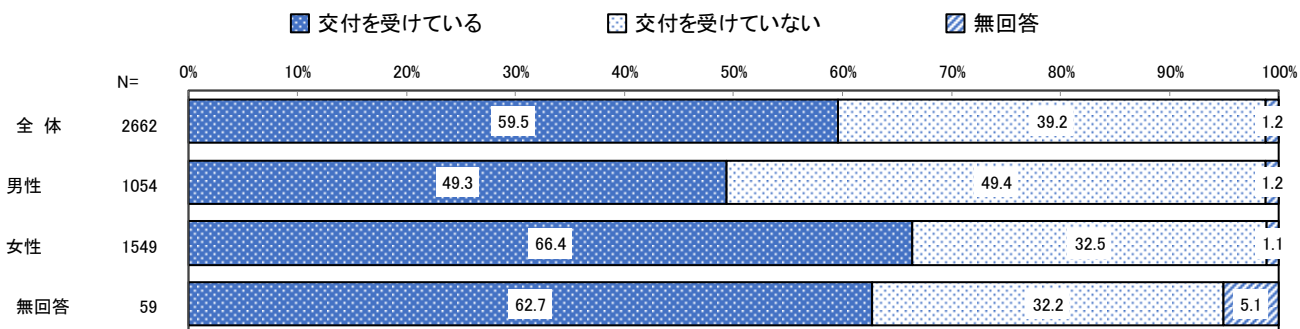


2. 敬老乗車証の交付状況について

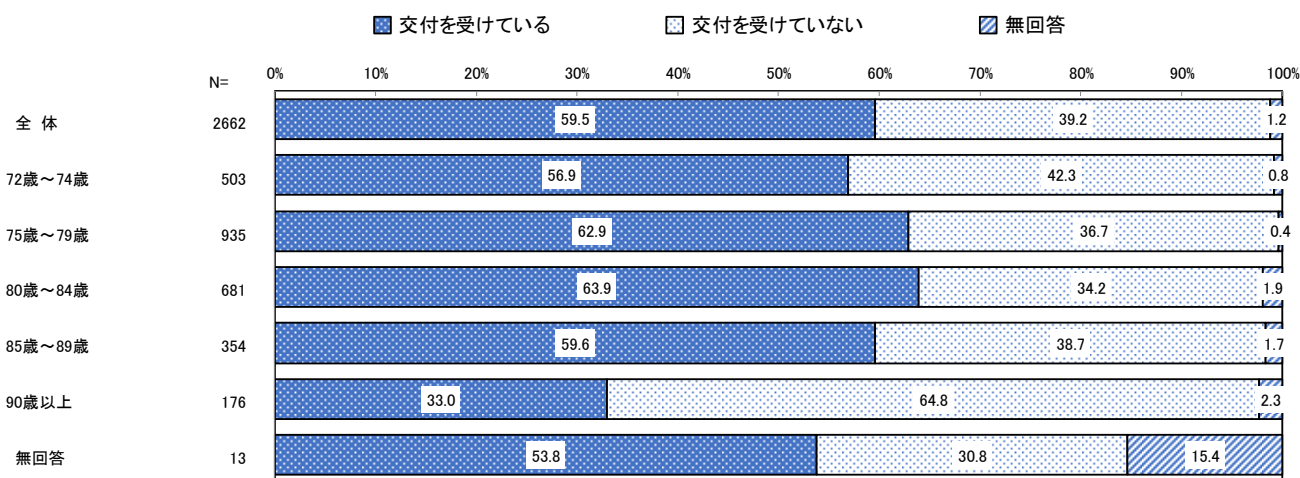
(1) 敬老乗車証の交付を受けているかどうか

「交付を受けている」が59.5%、「交付を受けていない」が39.2%となっています。

性別でみると、「女性」は「交付を受けている」が66.4%と「男性」の49.3%よりも高くなっています。

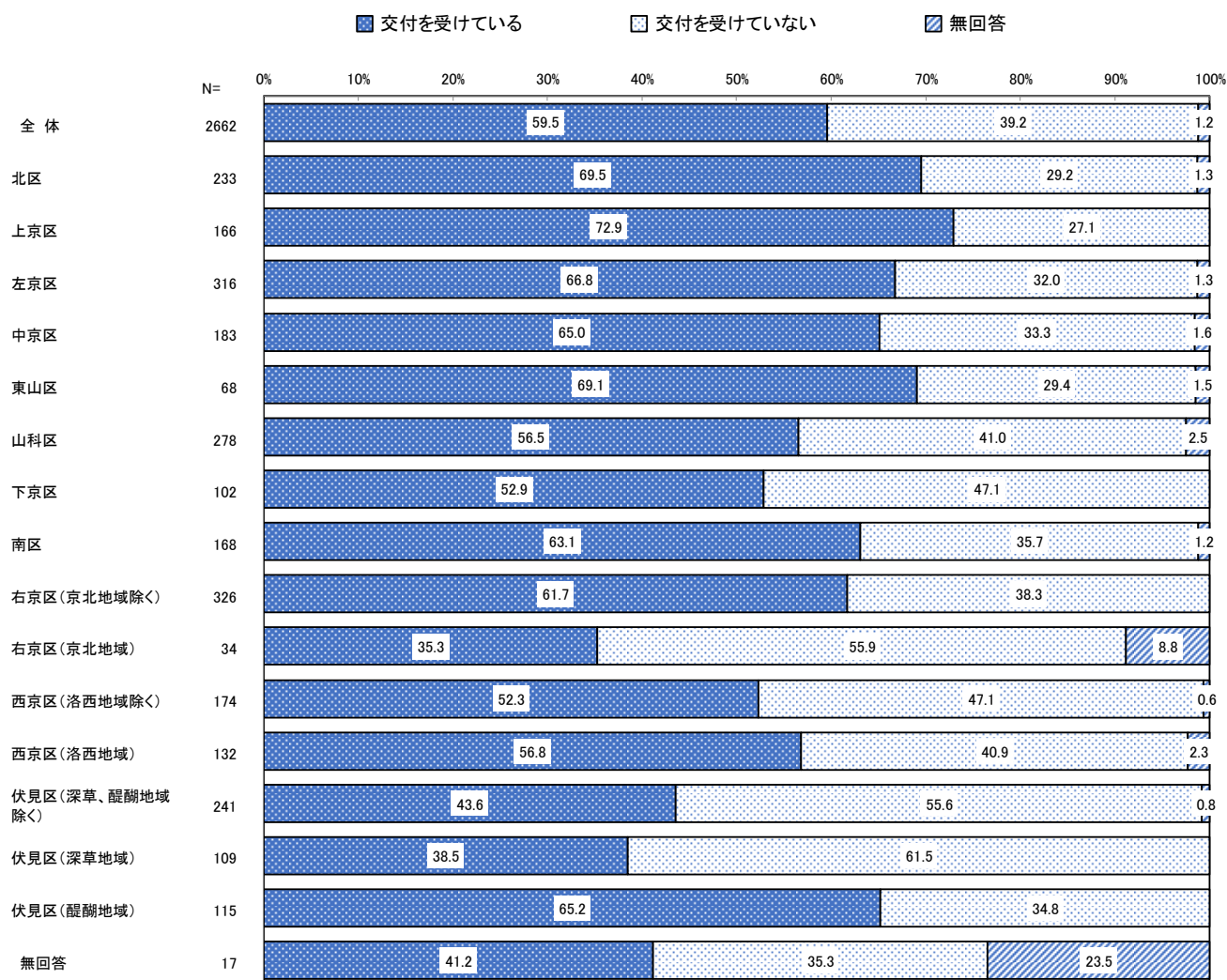


年齢別でみると、「80歳～84歳」までは年齢があがるほど「交付を受けている」が高くなっており、以降の年齢では低くなる傾向がみられ、「90歳」では33.0%まで低下しています。



居住地でみると、「交付を受けている」が高くなっているのは、「上京区」72.9%、「北区」69.5%、「東山区」69.1%です。

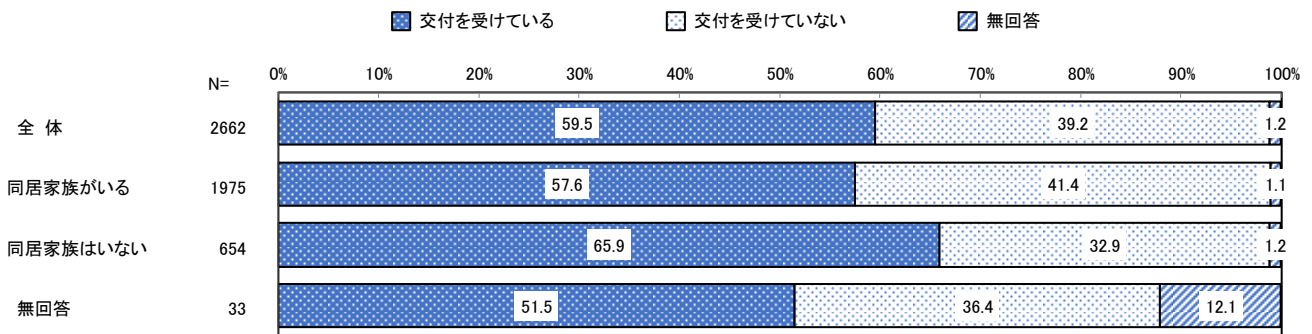
一方で、「交付を受けている」が低くなっているのは「右京区（京北地域）」35.3%、「伏見区（深草地域）」38.5%、「伏見区（深草、醍醐地域除く）」43.6%です。



【詳細分析】

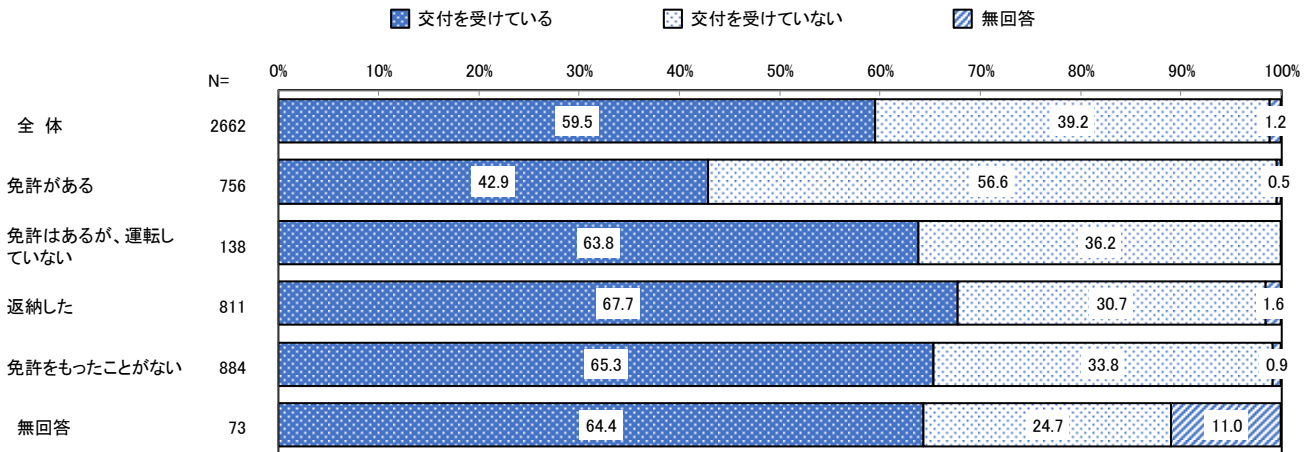
○ 世帯構成

「同居家族はいない」の方が「交付を受けている」が高くなっています。



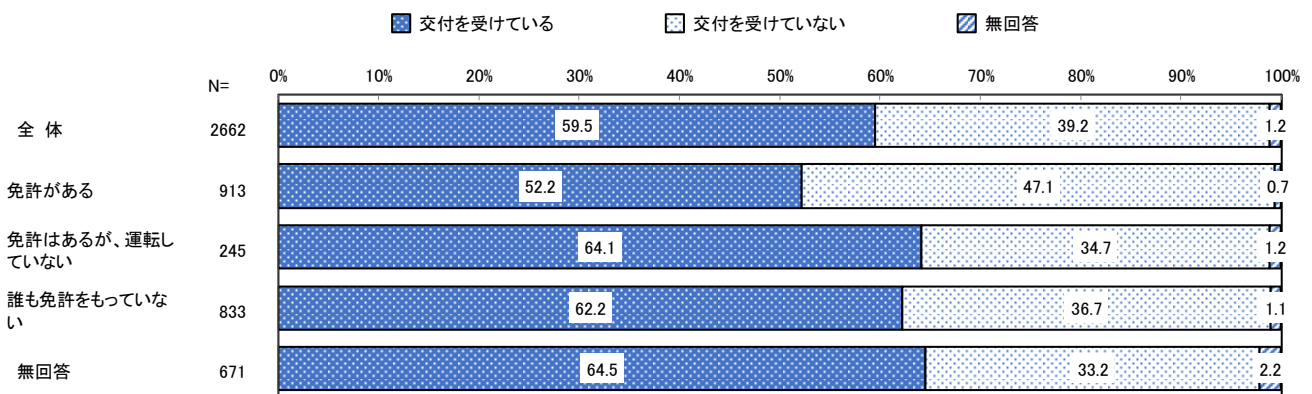
○ 個人の自動車運転免許状況

「免許がある」方は、「交付を受けている」が低くなっています。



○ 同居家族の自動車運転免許状況

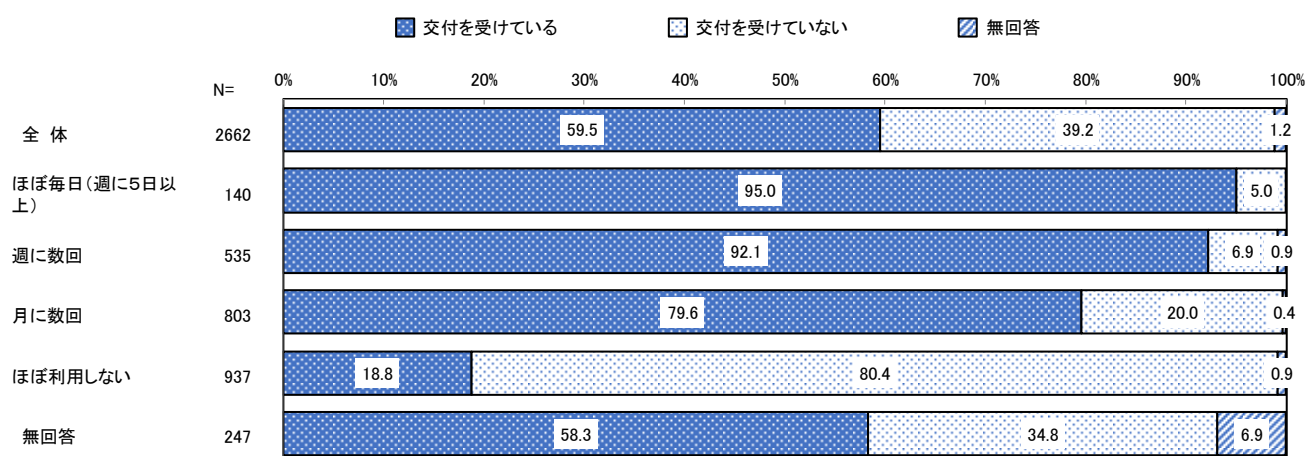
「免許がある」方は、「交付を受けている」が低くなっています。



○ 交通手段の利用頻度

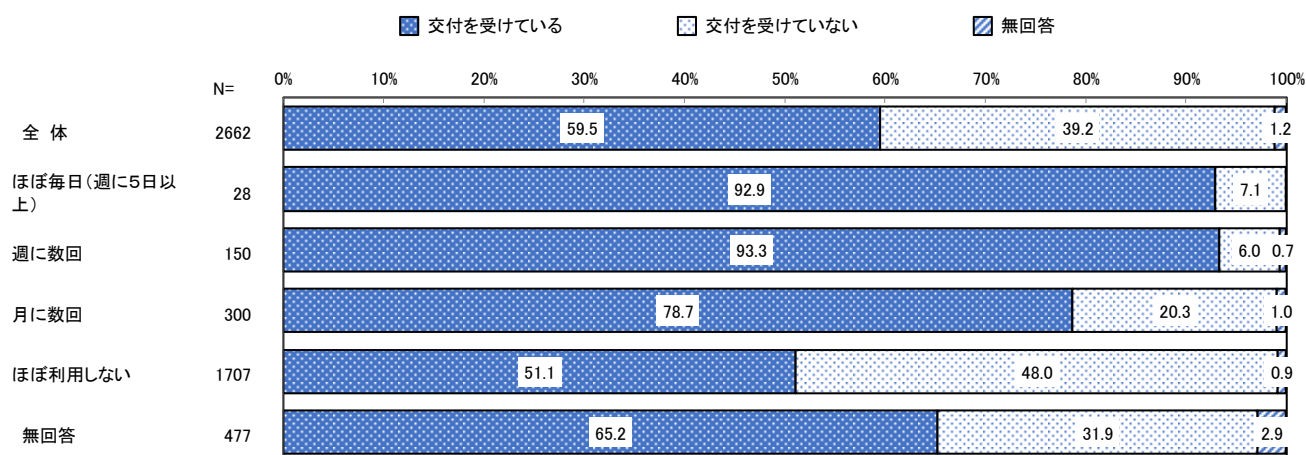
・市バス

「ほぼ毎日（週に5日以上）」及び「週に数回」の方は、「交付を受けている」が90%以上であるのに対し、「月に数回」の方は、80%弱にとどまっています。



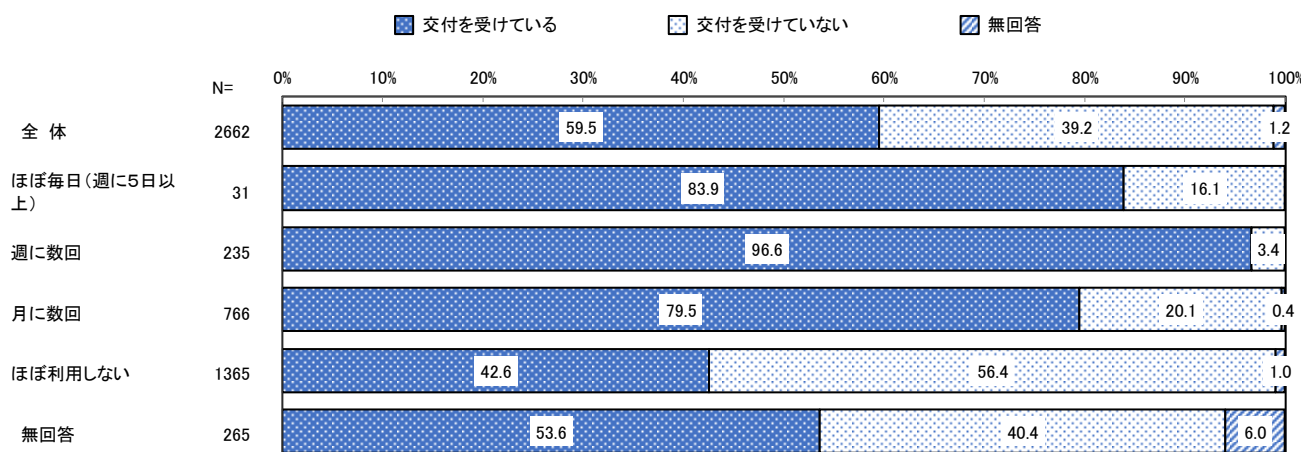
・民営バス

市バス同様、「ほぼ毎日（週に5日以上）」及び「週に数回」の方は、「交付を受けている」が90%以上であるのに対し、「月に数回」の方は、80%弱にとどまっています。



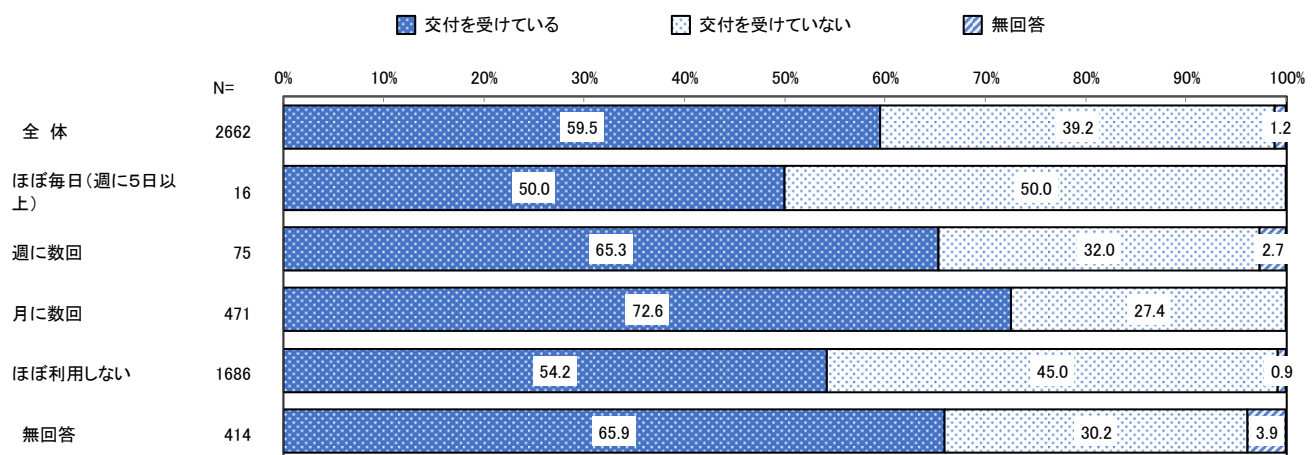
・地下鉄

「週に数回」の方が、「交付を受けている」が最も高くなっており、「ほぼ毎日（週に5日以上）」の方は、83.9%にとどまっています。



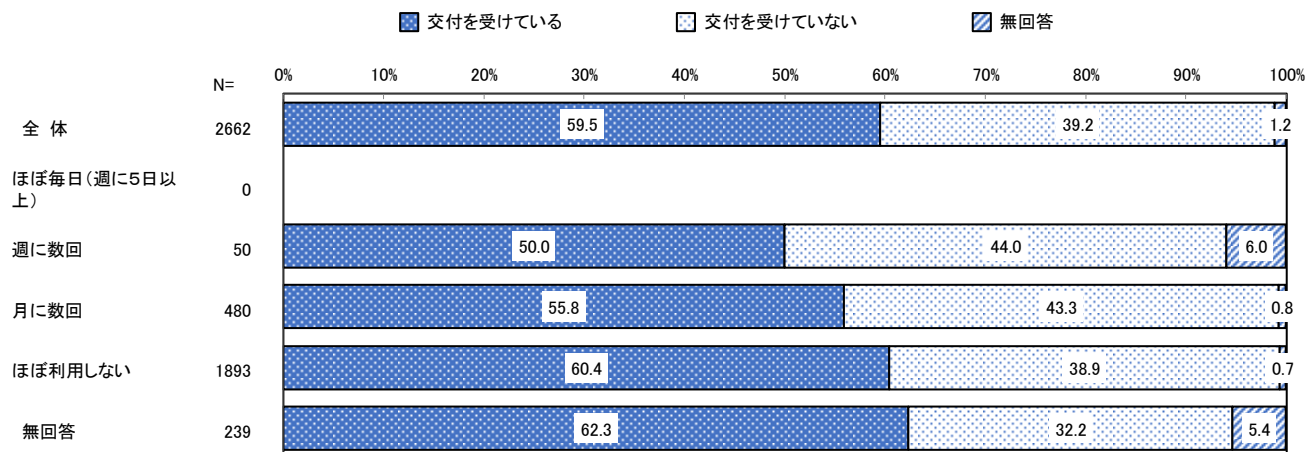
・民営鉄道（ＪＲなど）

利用頻度と交付状況の間に、傾向はみられません。



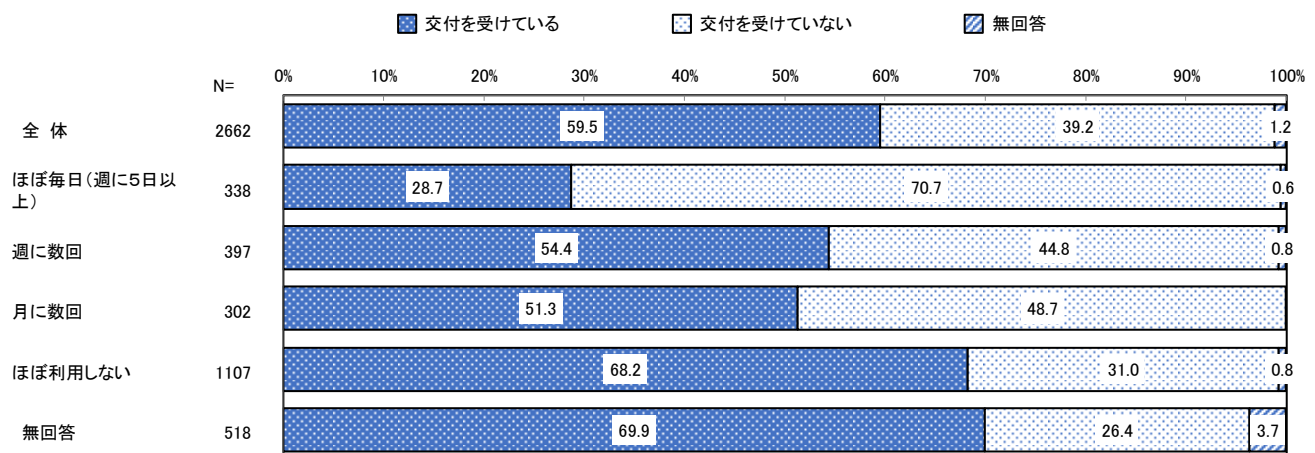
・タクシー

利用頻度が高い方ほど、「交付を受けている」が低くなっていますが、大きな差はみられません。



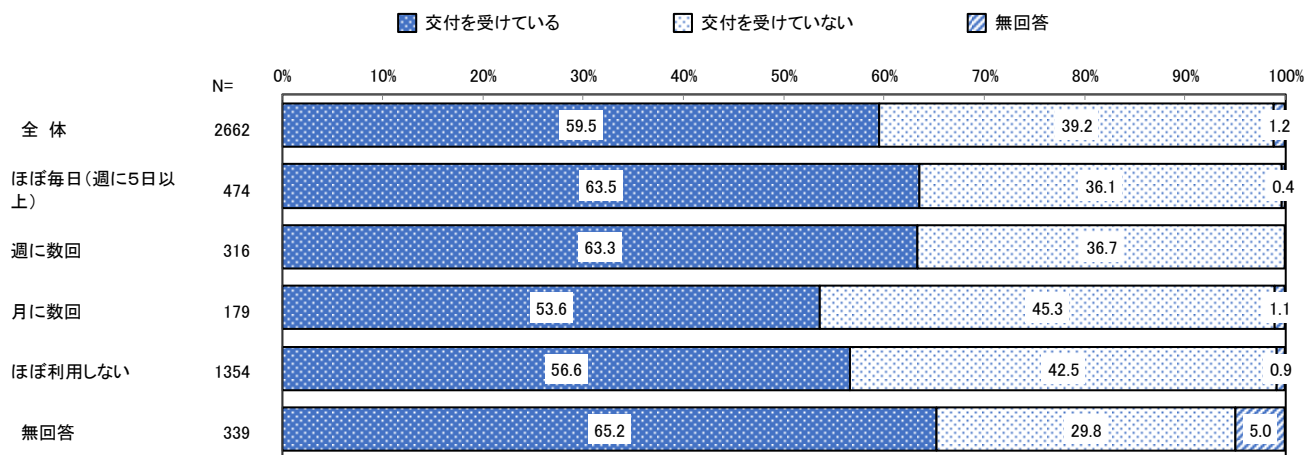
・自家用車

利用頻度が高い方ほど、「交付を受けている」が低くなっています。



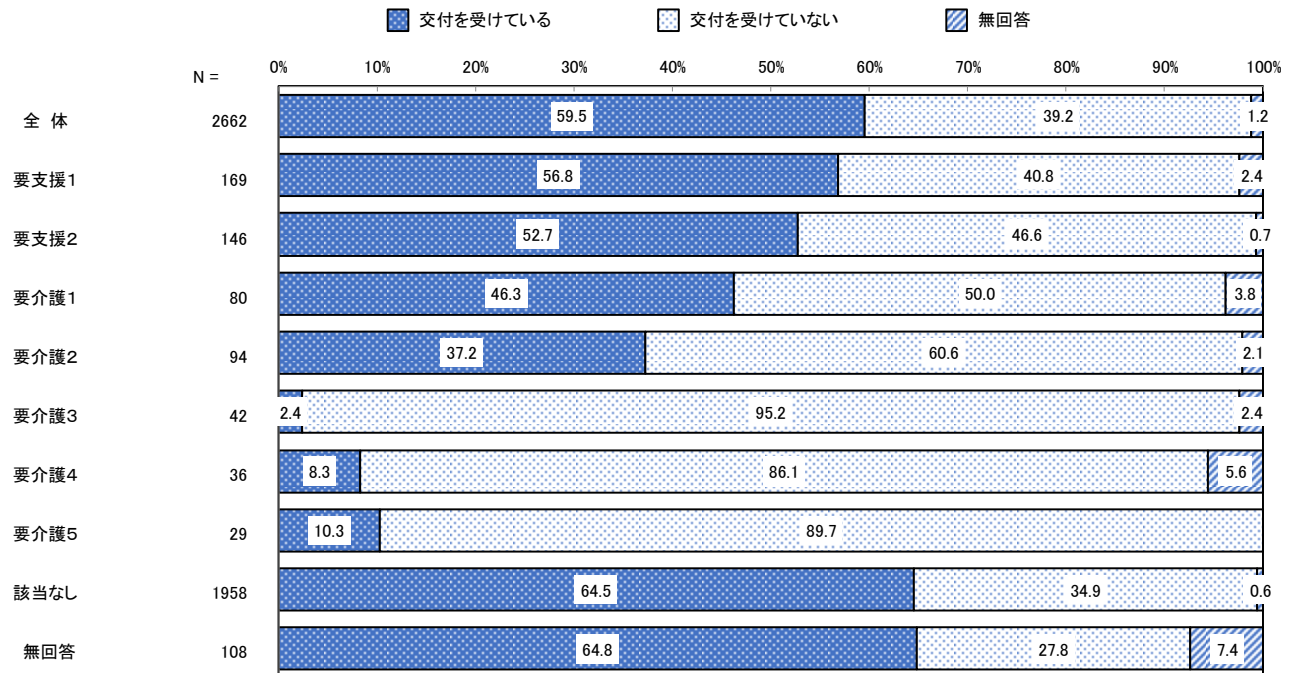
・自転車

利用頻度と交付状況の間に、傾向はみられません。



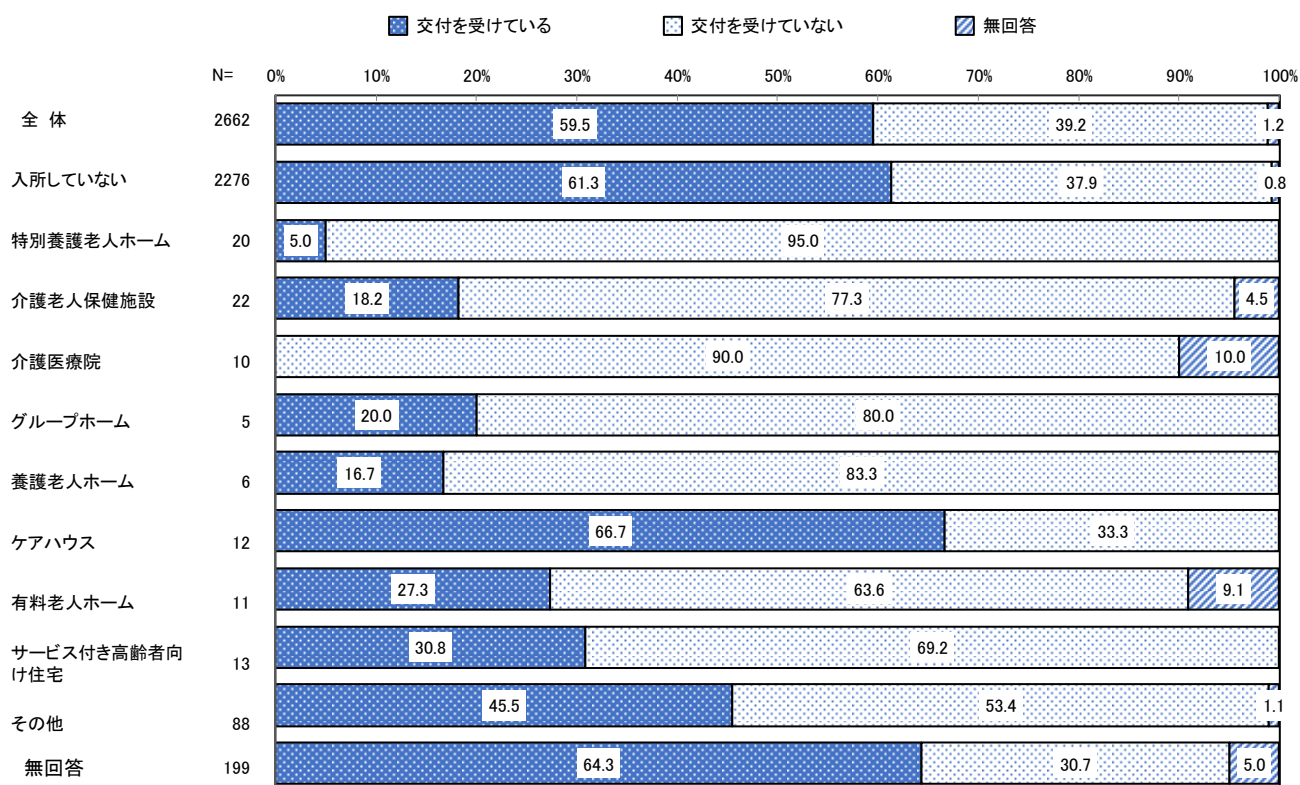
○ 要介護認定区分

要介護認定区分の高い方ほど、「交付を受けている」が低くなっています。



○ 施設への入居状況

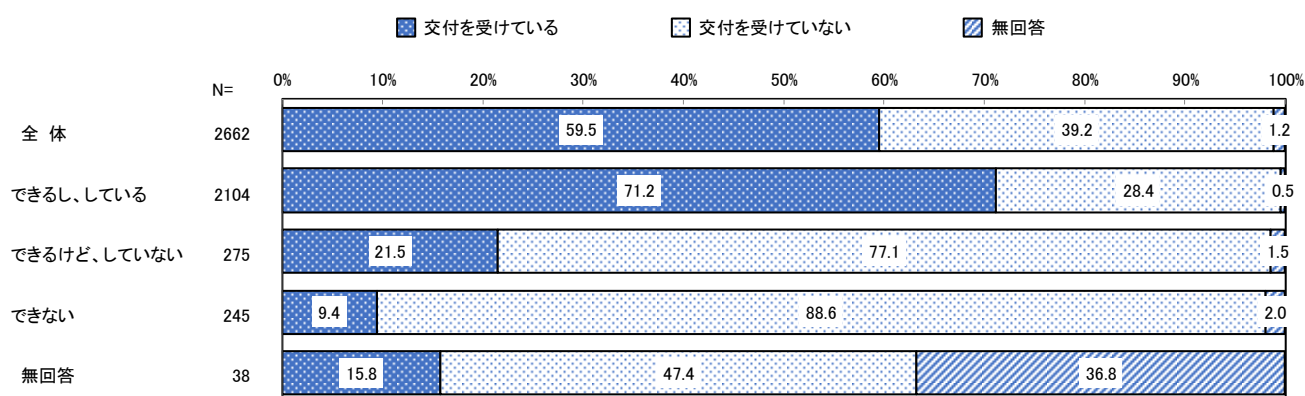
施設へ入所している方は、概ね「交付を受けている」が低くなっており、特に要介護認定区分が高い方が入所する施設ほど、「交付を受けている」が低い傾向があります。



○ 普段の生活について

・バスや電車による一人で外出（自家用車でも可）

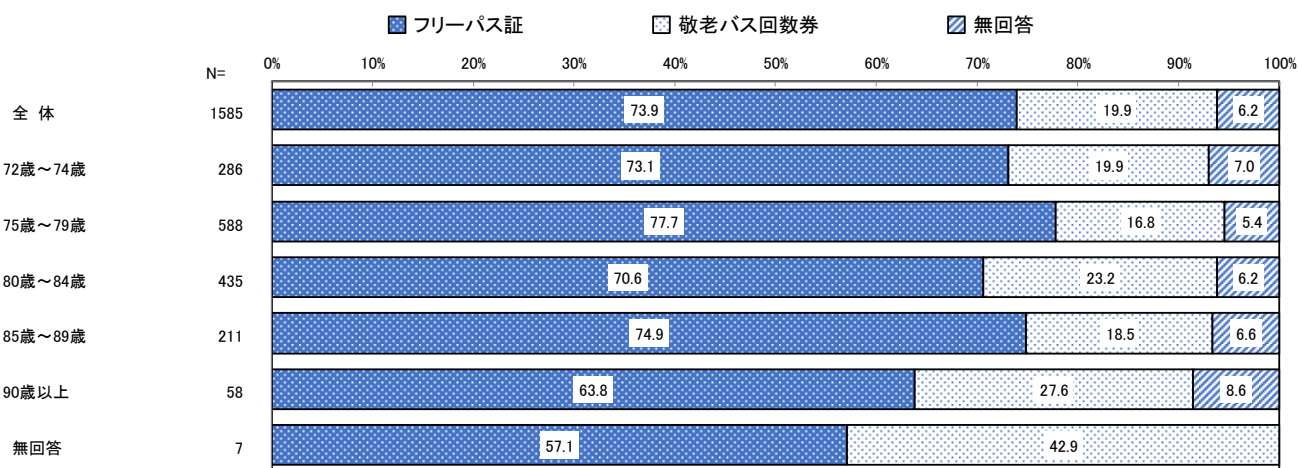
「できるけど、していない」及び「できない」方は、「交付を受けている」が非常に低くなっています。



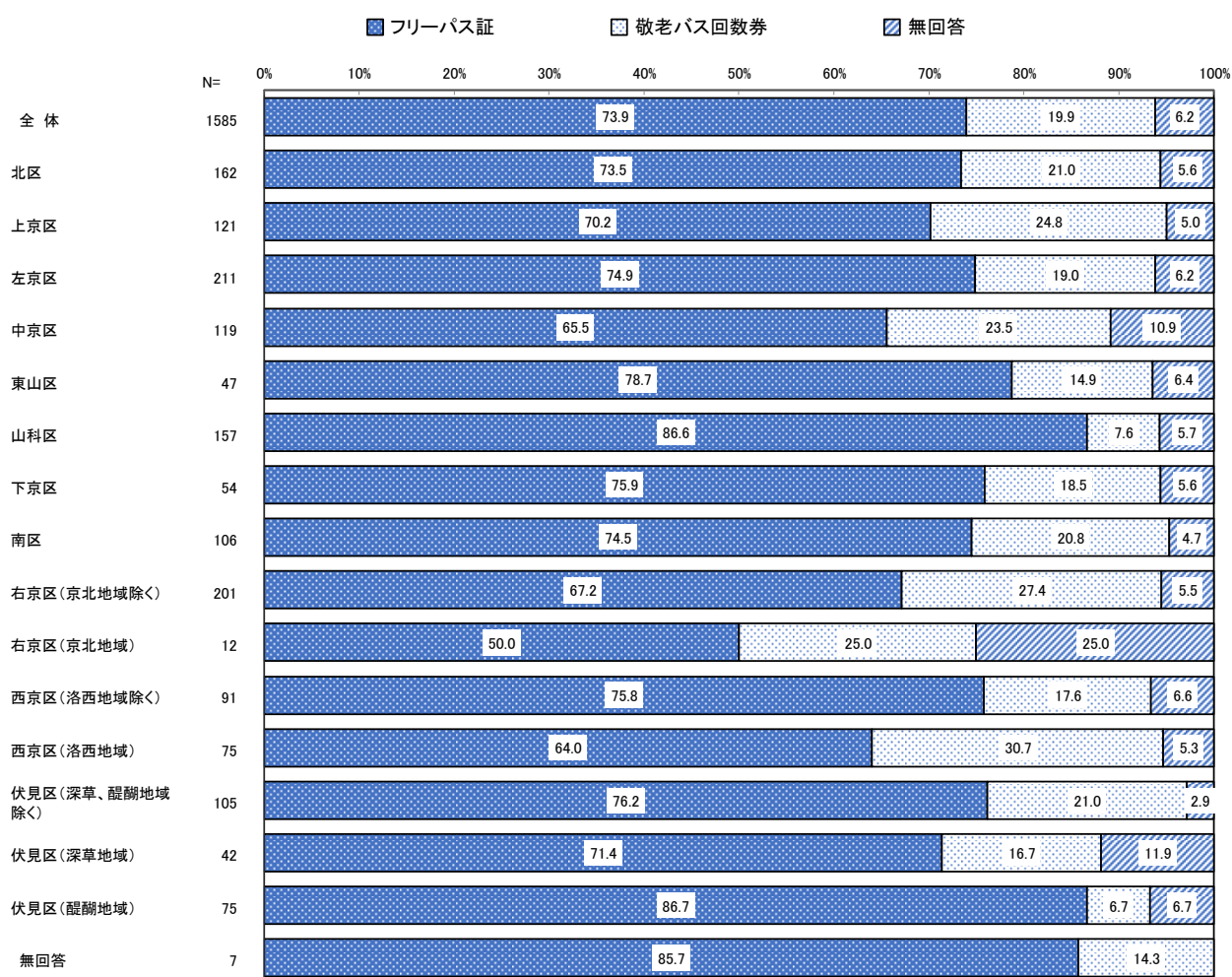
(2) 交付を受けている敬老乗車証の種類

「フリーパス証」が73.9%と、「敬老バス回数券」が19.9%となっています。

年齢別でみると、「90歳以上」では「フリーパス証」が63.8%と他の年齢層よりも低く、「敬老バス回数券」が27.6%と高くなっています。



居住地でみると、「フリーパス証」は「伏見区（醍醐地域）」が86.7%、「山科区」が86.6%、「東山区」が78.7%と高くなっています。

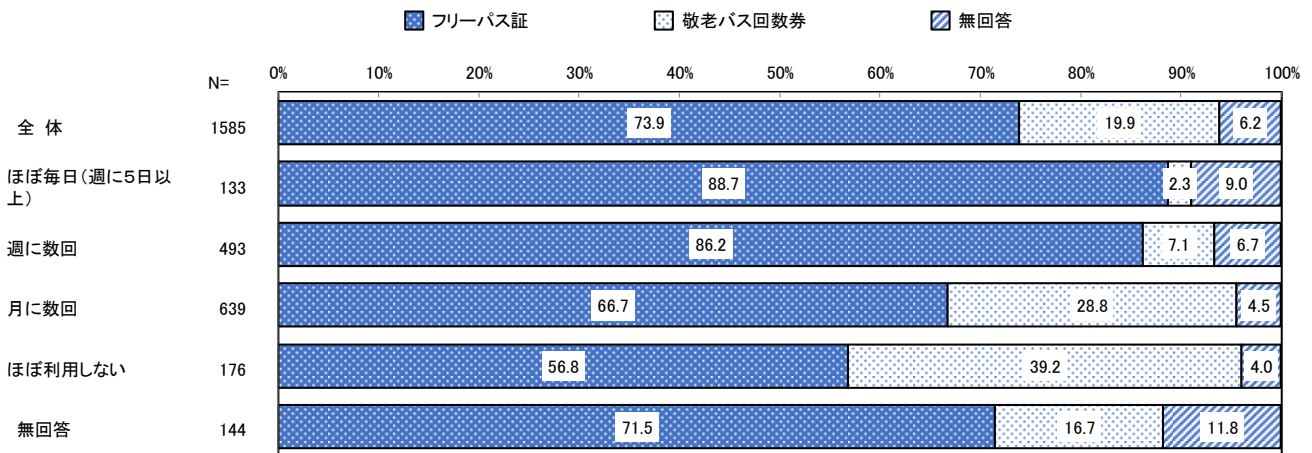


【詳細分析】

○ 交通手段の利用頻度

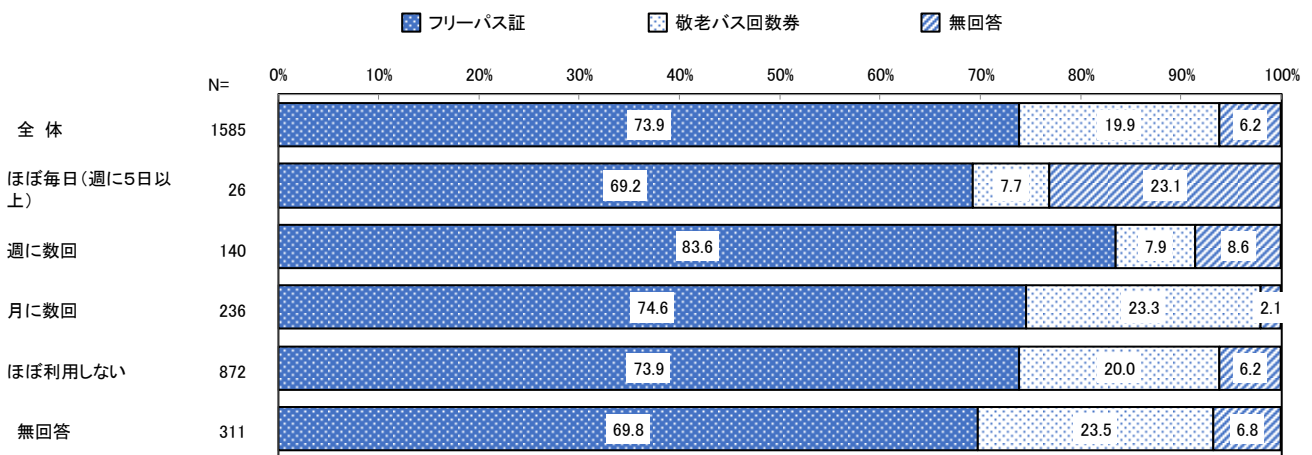
・市バス

利用頻度が高い方ほど、「フリーパス証」が高くなっています。



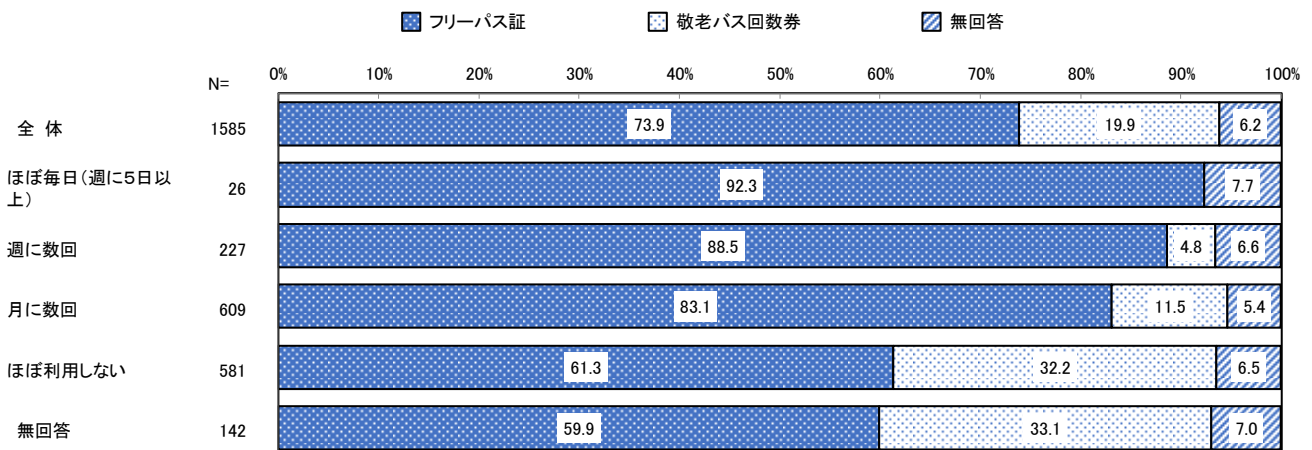
・民営バス

利用頻度と交付を受けている証の種別との間に、大きな傾向はみられません。



・地下鉄

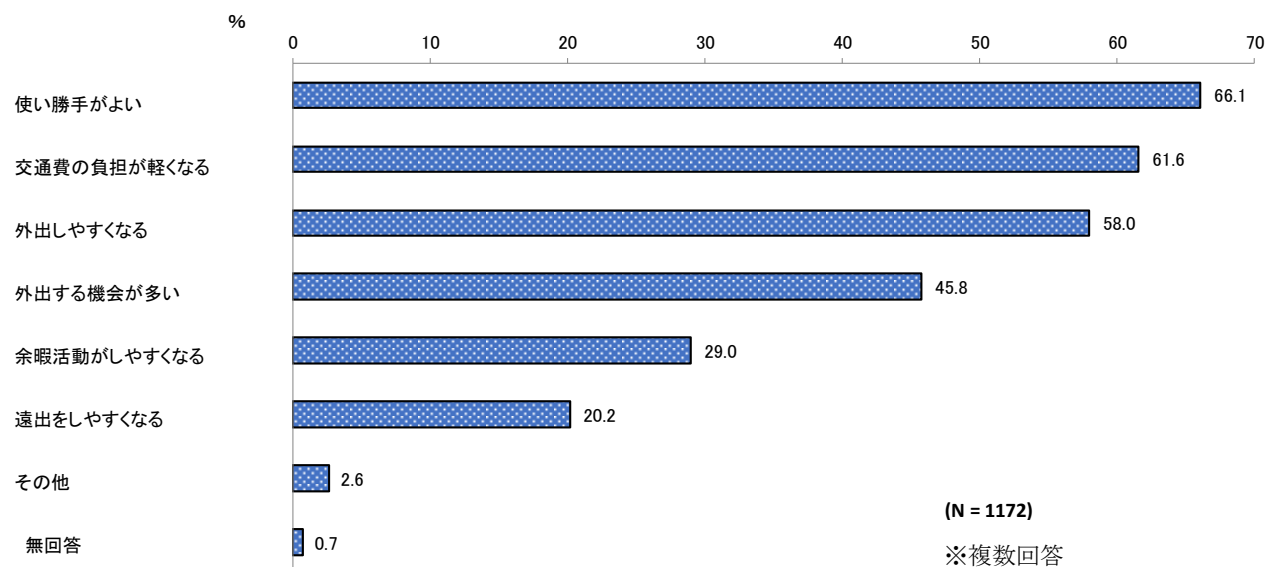
利用頻度が高い方ほど、「フリーパス証」が高くなっています。



(3) フリーパス証を選んだ理由・目的・利用回数

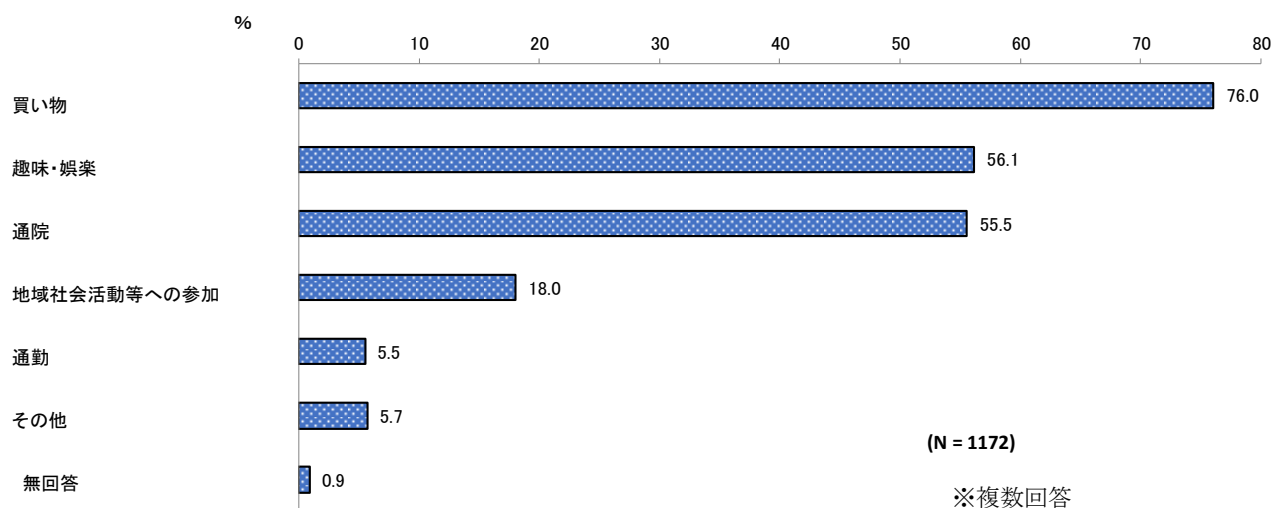
① 選んだ理由

「使い勝手がよい」が66.1%と最も高く、次いで「交通費の負担が軽くなる」が61.6%、「外出しやすくなる」が58.0%となっています。



② 利用目的

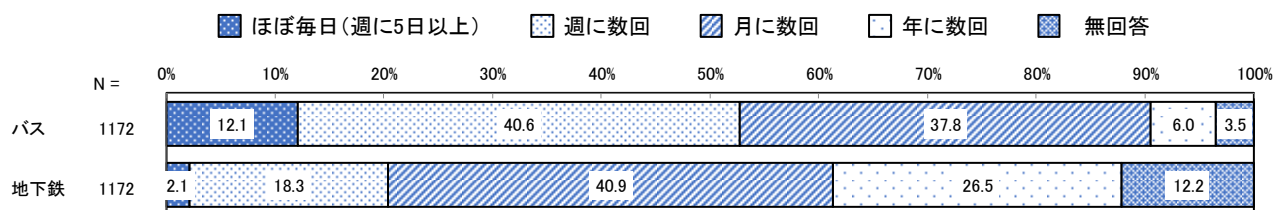
「買い物」が76.0%と最も高く、次いで「趣味・娯楽」が56.1%、「通院」が55.5%となっています。



③ 利用回数

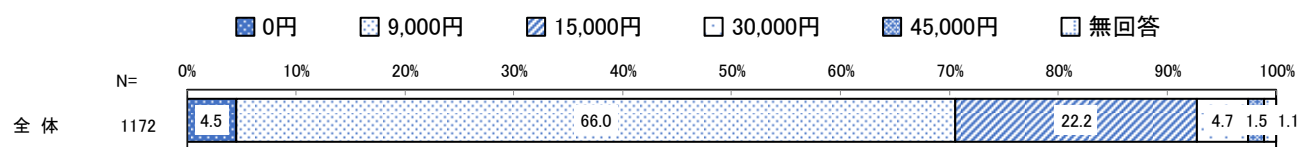
「ほぼ毎日（週に5日以上）」及び「週に数回」の合計は、「バス」が52.7%となっているのに対し、「地下鉄」は20.4%となっています。

一方で「年に数回」は「地下鉄」が26.5%となっているのに対し、「バス」は6.0%となっています。



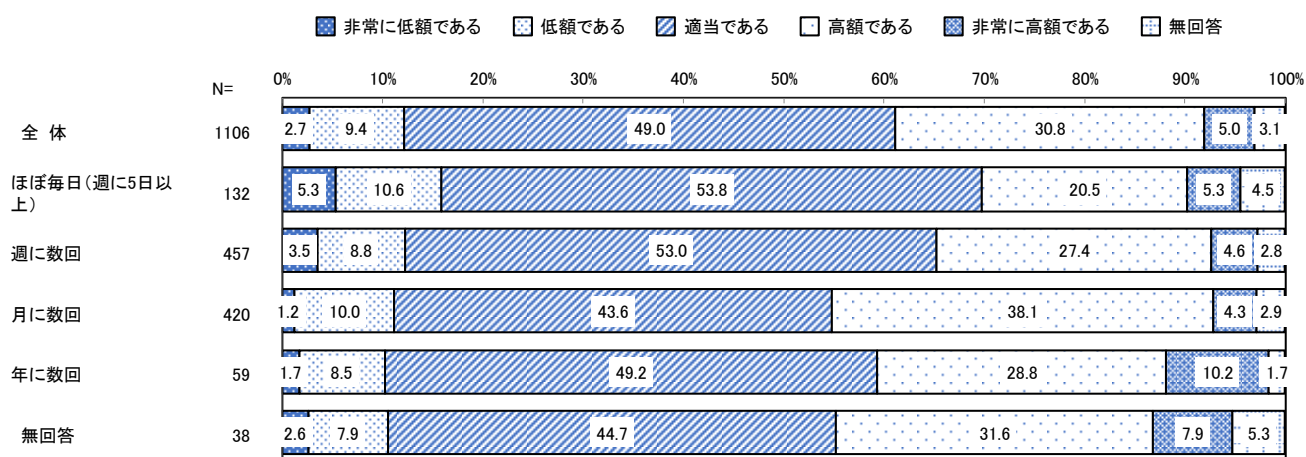
(4) フリーパス証の負担金額

「9,000 円」が66.0%と最も高く、次いで「15,000 円」が22.2%、「30,000 円」が4.7%となっています。

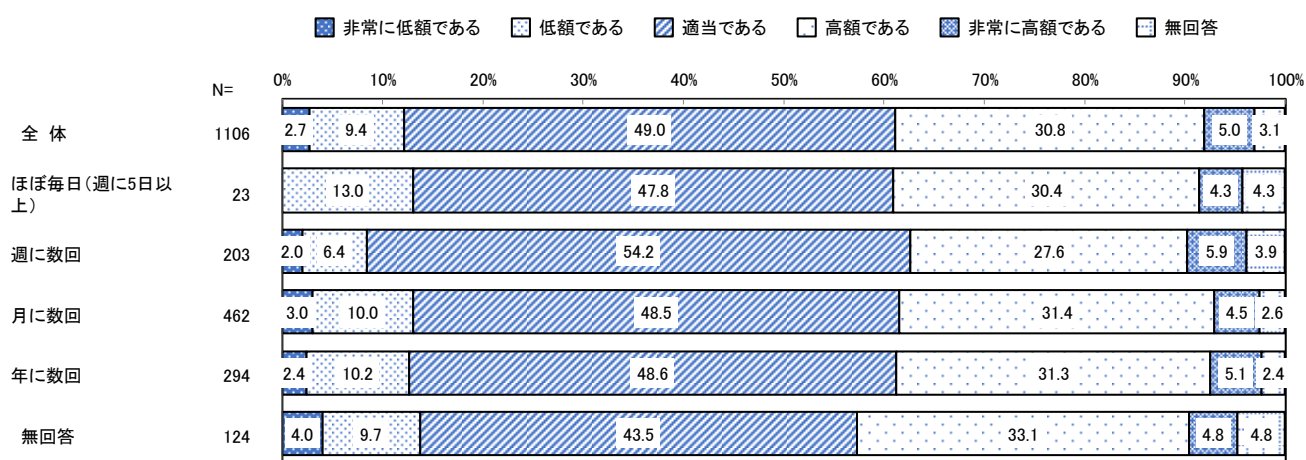


(5) フリーパス証の負担金に対する考え

「非常に低額である」、「低額である」及び「適当である」の合計は、全体で61.1%を占めています。
バスの利用回数別にみると、利用回数が多いほど「非常に低額である」、「低額である」及び「適当である」の合計が概ね高くなる傾向にあり、「ほぼ毎日（週に5日以上）」においては、69.7%を占めています。

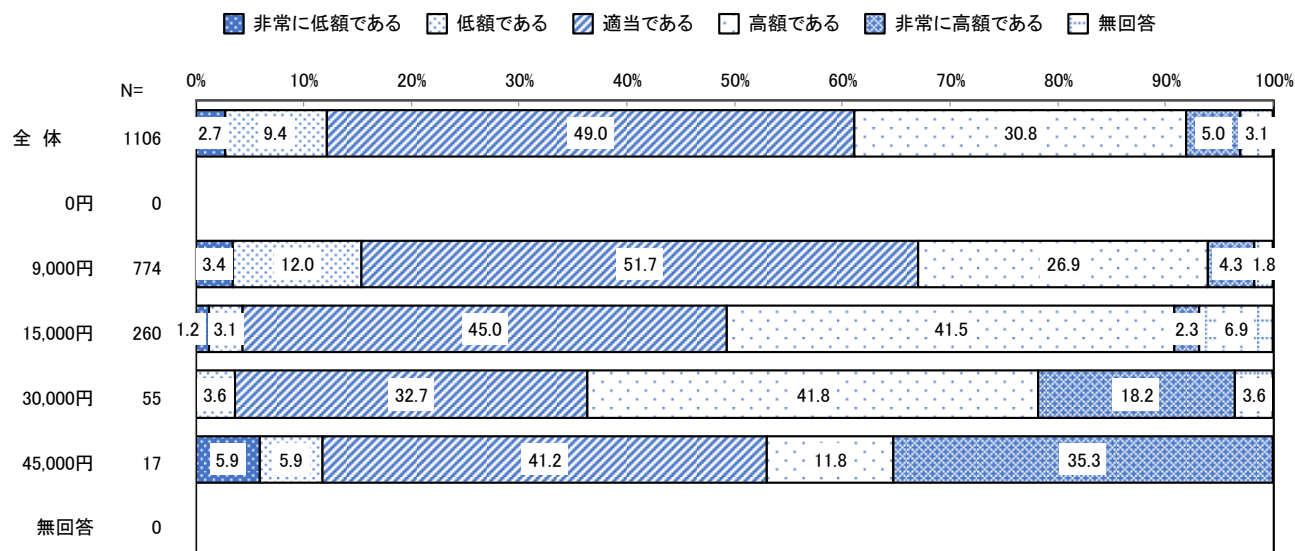


地下鉄の利用回数別にみると、大きな傾向はみられません。



○ フリーパス証の負担金額別

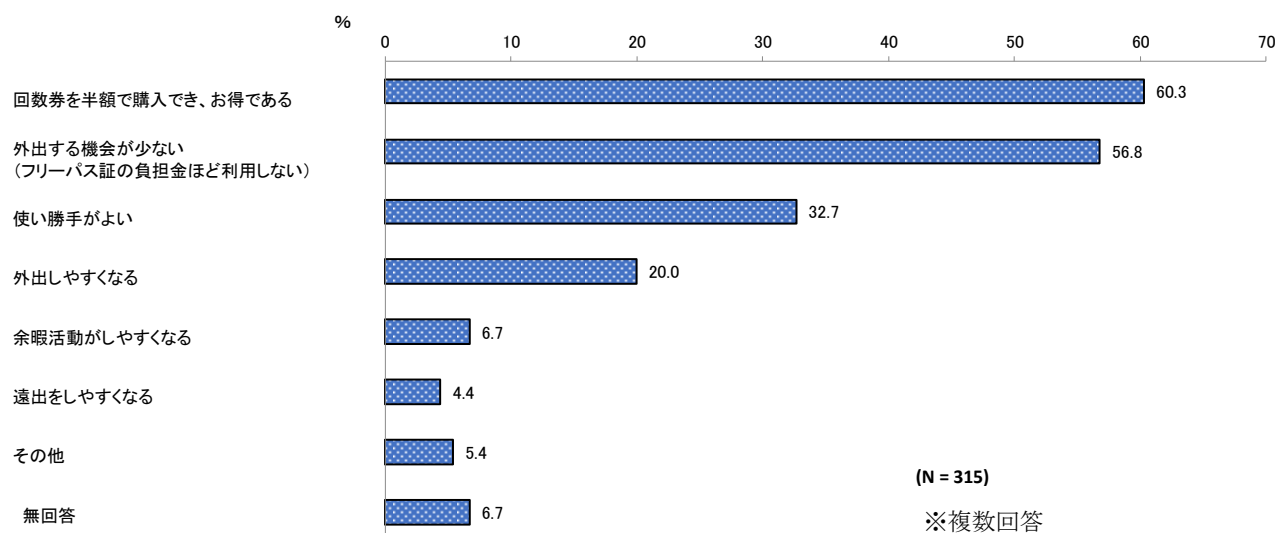
負担金額別にみると、負担金額が高いほど「適当である」が概ね低くなる傾向がありますが、「45,000円」では、「適当である」が41.2%と高くなっています。



(6) 敬老バス回数券を選んだ理由・利用目的・利用回数・制度に対する考えについて

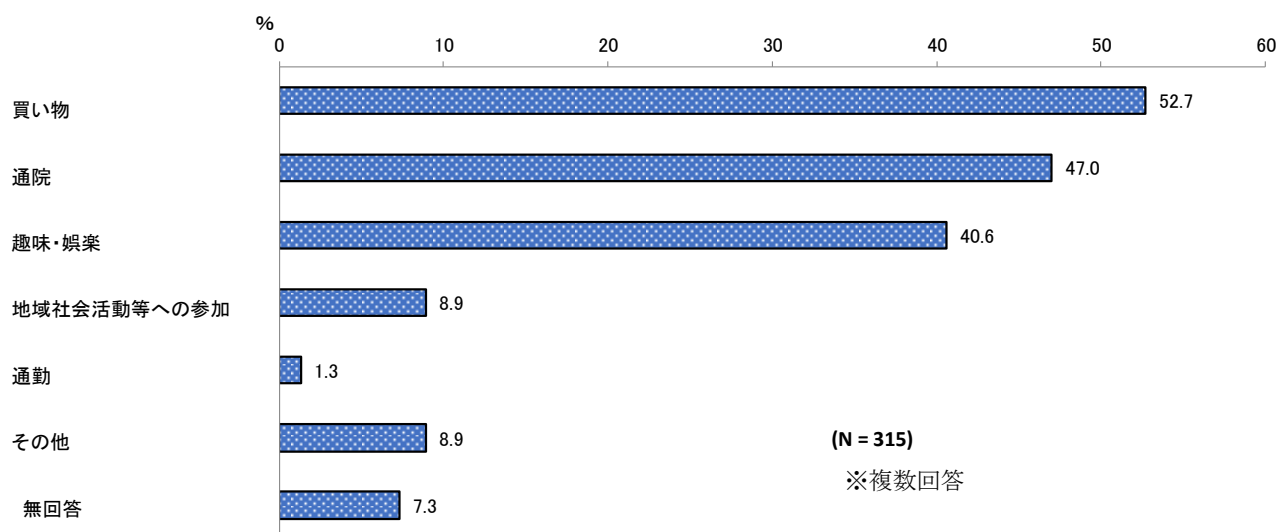
① 選んだ理由

「回数券を半額で購入でき、お得である」が60.3%と最も高く、次いで「外出する機会が少ない（フリーパス証の負担金ほど利用しない）」が56.8%、「使い勝手がよい」が32.7%となっています。



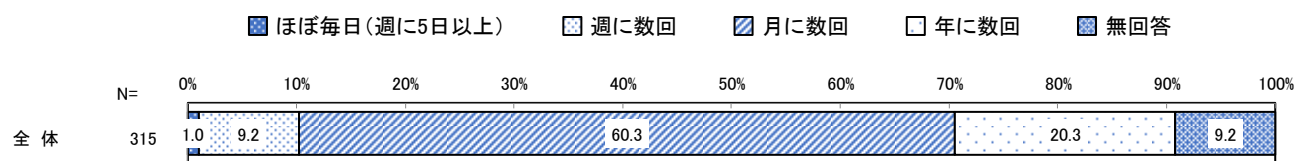
② 利用目的

「買い物」が52.7%と最も高く、次いで「通院」が47.0%、「趣味・娯楽」が40.6%となっています。



③ 利用回数

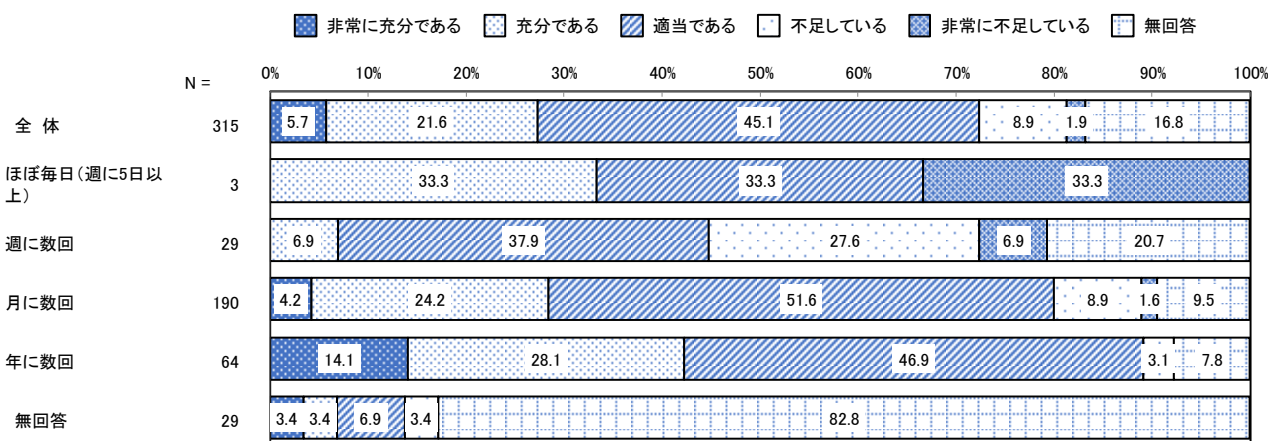
「月に数回」が60.3%と最も高く、次いで「年に数回」が20.3%、「週に数回」が9.2%となっています。



④ 交付上限額（1万円）に対する考え

「非常に充分である」、「充分である」及び「適当である」の合計は、全体で72.4%を占めています。

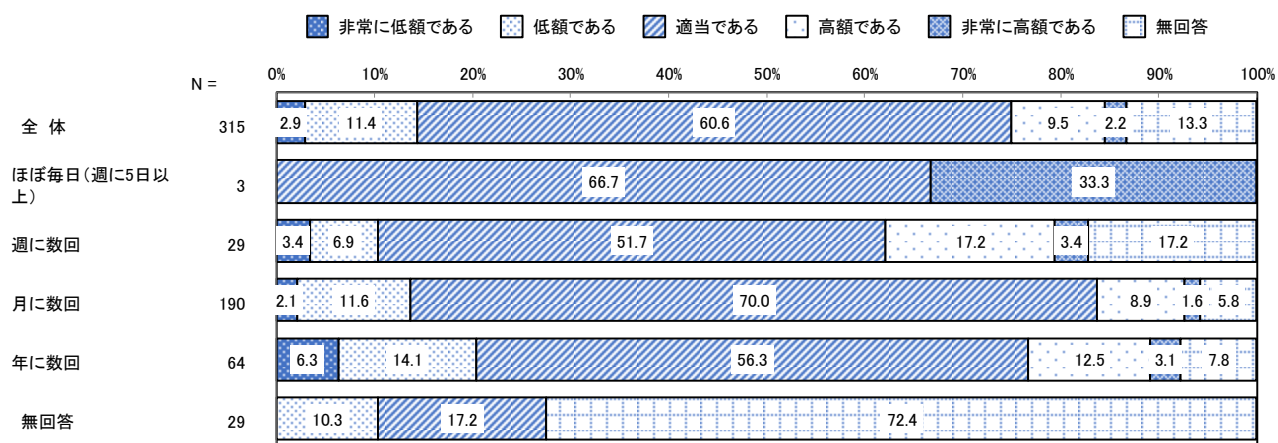
敬老バス回数券の利用回数別にみると、利用回数が少ないほど、「非常に充分である」、「充分である」及び「適当である」の合計が高くなる傾向にあり、「年に数回」においては89.1%となっています。



⑤ 負担金額（半額負担）に対する考え

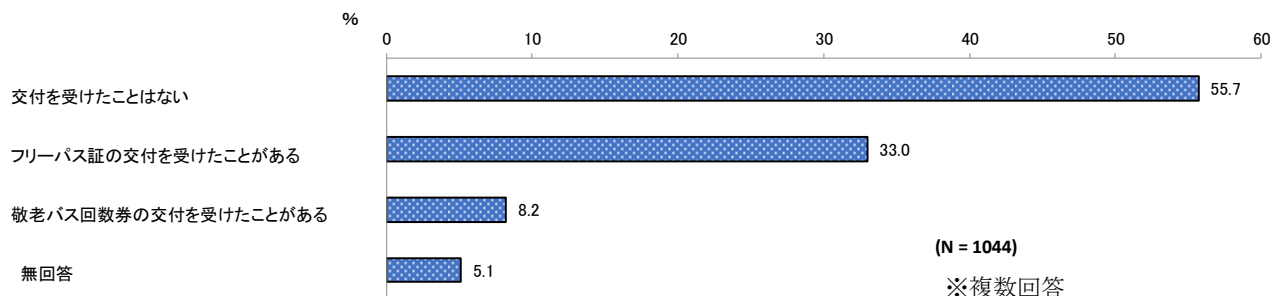
「非常に低額である」、「低額である」及び「適当である」の合計は74.9%を占めています。

敬老バス回数券の利用回数との間には、大きな傾向はみられません。



(7) 過去における敬老乗車証の交付の有無

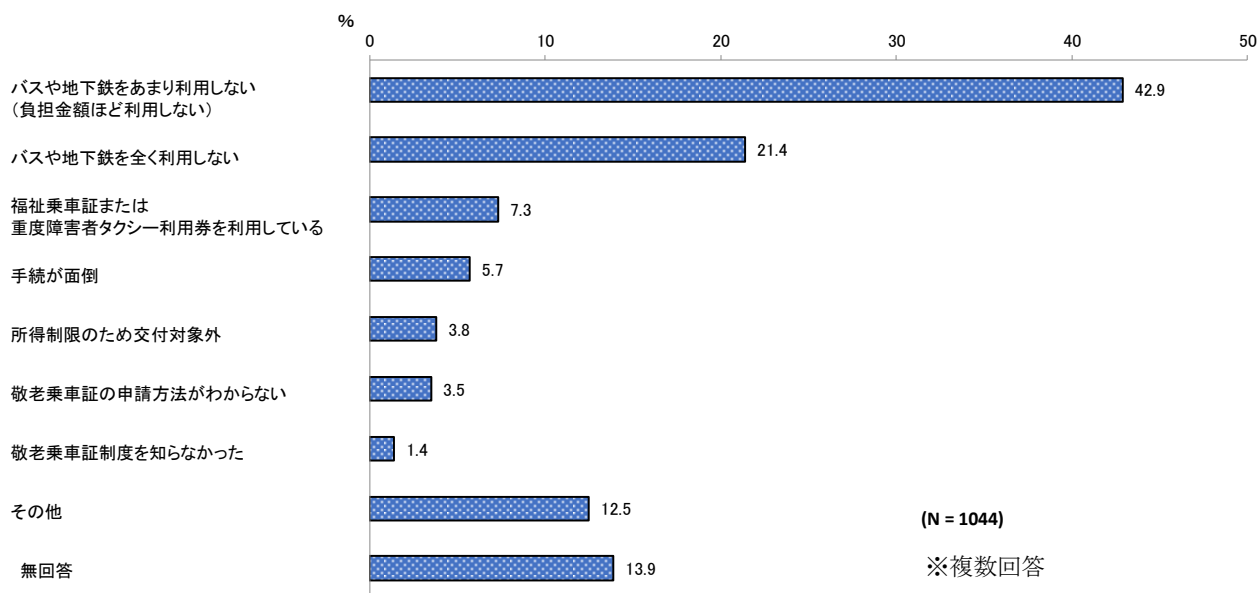
「交付を受けたことはない」が55.7%と最も高く、次いで「フリーパス証の交付を受けたことがある」が33.0%、「敬老バス回数券の交付を受けたことがある」が8.2%となっています。



(8) フリーパス証・敬老バス回数券の交付を受けていない理由

① フリーパス証

「バスや地下鉄をあまり利用しない（負担金額ほど利用しない）」が42.9%と最も高く、次いで「バスや地下鉄を全く利用しない」が21.4%となっています。また、「手続きが面倒(5.7%)」「敬老乗車証の申請方法がわからない(3.5%)」「敬老乗車証制度を知らなかった（1.4%）」という方も一定数います。



【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・ 健康状態がよくない。
- ・ 外出は自家用車を運転している。
- ・ 負担金額が高い。

【詳細分析】

個人の自動車運転免許の状況でみると、「免許がある」では「バスや地下鉄をあまり利用しない（負担金額ほど利用しない）」が53.3%と全体値よりも高くなっています。

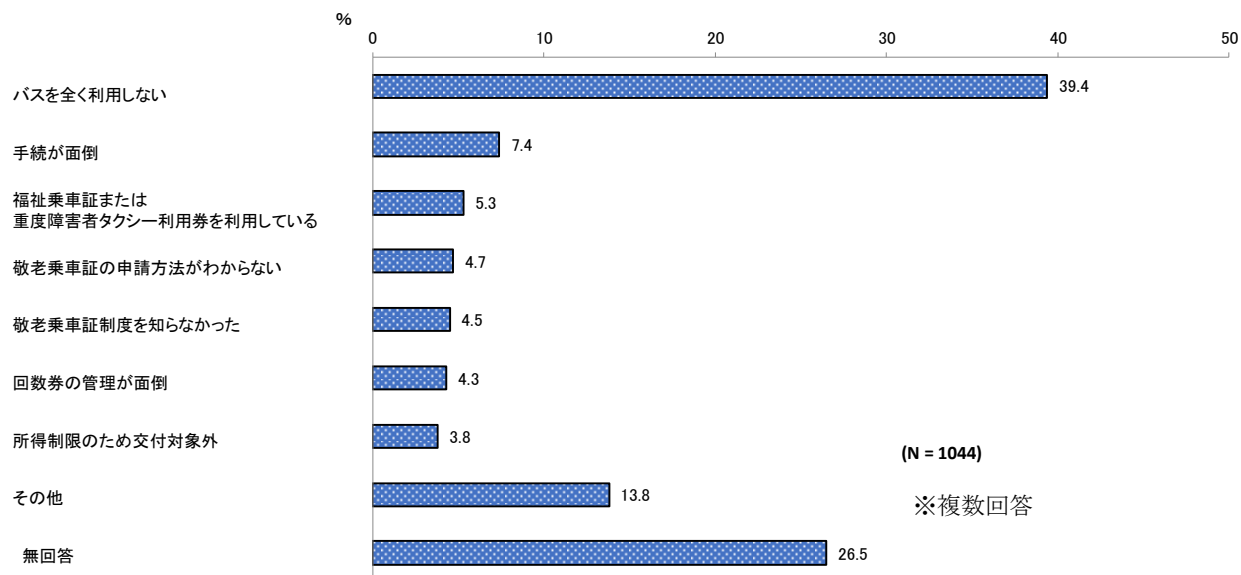
交通機関の利用頻度をみると、「自家用車」及び「自転車」では、「ほぼ毎日（週に5日以上）」において「バスや地下鉄をあまり利用しない（負担金額ほど利用しない）」が高くなっています。なお、「自転車」では「週に数回」でも「バスや地下鉄をあまり利用しない（負担金額ほど利用しない）」が高くなっています。

要介護認定区分別でみると、要介護認定区分が高い方ほど、「バスや地下鉄を全く利用しない」や「福祉乗車証または重度障害者タクシー利用券を利用している」が高くなる傾向がみられます。

	全 体	バスや地下鉄を あまり利用しない (負担金額ほど 利用しない)	バスや地下鉄を 全く利用 しない	福祉乗車証ま たは重度障害 者タクシー利用 券を利用してい る	手続が面倒	所得制限のた め交付対象外	敬老乗車証の 申請方法がわ からない	敬老乗車証制 度を知らなかつ た	その他	無回答
全 体	1044	448	223	76	60	40	37	15	131	145
	100.0	42.9	21.4	7.3	5.7	3.8	3.5	1.4	12.5	13.9
個 人 の 自 動 車 運 転 免 許	免許がある	428	228	85	13	34	25	18	7	41
		100.0	53.3	19.9	3.0	7.9	5.8	4.2	1.6	9.6
	免許はあるが、運転していない	50	19	5	8	1	—	1	—	9
		100.0	38.0	10.0	16.0	2.0	—	2.0	—	18.0
	返納した	249	94	55	22	15	9	9	3	42
		100.0	37.8	22.1	8.8	6.0	3.6	3.6	1.2	16.9
	免許をもったことがない	299	104	74	32	9	6	7	4	36
		100.0	34.8	24.7	10.7	3.0	2.0	2.3	1.3	12.0
	無回答	18	3	4	1	1	—	2	1	3
		100.0	16.7	22.2	5.6	5.6	—	11.1	5.6	16.7
自 家 用 車 ／ 利 用 頻 度	ほぼ毎日（週に5日以上）	239	129	46	5	20	17	10	5	21
		100.0	54.0	19.2	2.1	8.4	7.1	4.2	2.1	8.8
	週に数回	178	90	43	3	10	7	7	—	21
		100.0	50.6	24.2	1.7	5.6	3.9	3.9	—	11.8
	月に数回	147	61	31	17	8	5	4	5	18
		100.0	41.5	21.1	11.6	5.4	3.4	2.7	3.4	12.2
	ほぼ利用しない	343	116	81	39	19	6	8	2	58
		100.0	33.8	23.6	11.4	5.5	1.7	2.3	0.6	16.9
自 転 車 ／ 利 用 頻 度	ほぼ毎日（週に5日以上）	171	91	29	7	5	5	4	2	23
		100.0	53.2	17.0	4.1	2.9	2.9	2.3	1.2	13.5
	週に数回	116	66	14	4	7	3	1	—	19
		100.0	56.9	12.1	3.4	6.0	2.6	0.9	—	16.4
	月に数回	81	42	9	4	6	6	2	1	7
		100.0	51.9	11.1	4.9	7.4	7.4	2.5	1.2	8.6
	ほぼ利用しない	575	212	156	54	37	19	23	9	72
		100.0	36.9	27.1	9.4	6.4	3.3	4.0	1.6	12.5
要 介 護 認 定 区 分	無回答	101	37	15	7	5	7	7	3	10
		100.0	36.6	14.9	6.9	5.0	6.9	6.9	3.0	9.9
	要支援1	69	26	11	10	6	—	3	2	9
		100.0	37.7	15.9	14.5	8.7	—	4.3	2.9	13.0
	要支援2	68	14	17	9	4	3	2	2	7
		100.0	20.6	25.0	13.2	5.9	4.4	2.9	2.9	10.3
	要介護1	40	7	16	5	4	2	2	—	7
		100.0	17.5	40.0	12.5	10.0	5.0	5.0	—	17.5
	要介護2	57	16	20	10	3	—	2	2	6
		100.0	28.1	35.1	17.5	5.3	—	3.5	3.5	10.5
	要介護3	40	3	12	8	1	—	1	—	9
		100.0	7.5	30.0	20.0	2.5	—	2.5	—	22.5
	要介護4	31	4	13	2	2	—	3	—	6
		100.0	12.9	41.9	6.5	6.5	—	9.7	—	19.4
	要介護5	26	2	7	5	—	—	—	1	8
		100.0	7.7	26.9	19.2	—	—	—	3.8	30.8
	該当なし	683	363	124	23	39	33	23	7	76
		100.0	53.1	18.2	3.4	5.7	4.8	3.4	1.0	11.1
	無回答	30	13	3	4	1	2	1	1	3
		100.0	43.3	10.0	13.3	3.3	6.7	3.3	3.3	10.0

② 敬老バス回数券

「バスを全く利用しない」が39.4%と最も高くなっています。また、「手続きが面倒(7.4%)」「敬老乗車証の申請方法がわからない(4.7%)」「敬老乗車証制度を知らなかった(4.5%)」という方も一定数おり、その割合はフリーパス証よりも高くなっています。



【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・バスをあまり利用しない。
- ・外出は自家用車を運転している。

【詳細分析】

個人年収でみると、年収が高い方ほど、「手続が面倒」が高くなる傾向がみられます。

交通機関の利用頻度でみると、「市バス」や「民営バス」を「月に数回」利用する方は、「手続が面倒」が高くなる傾向がみられます。

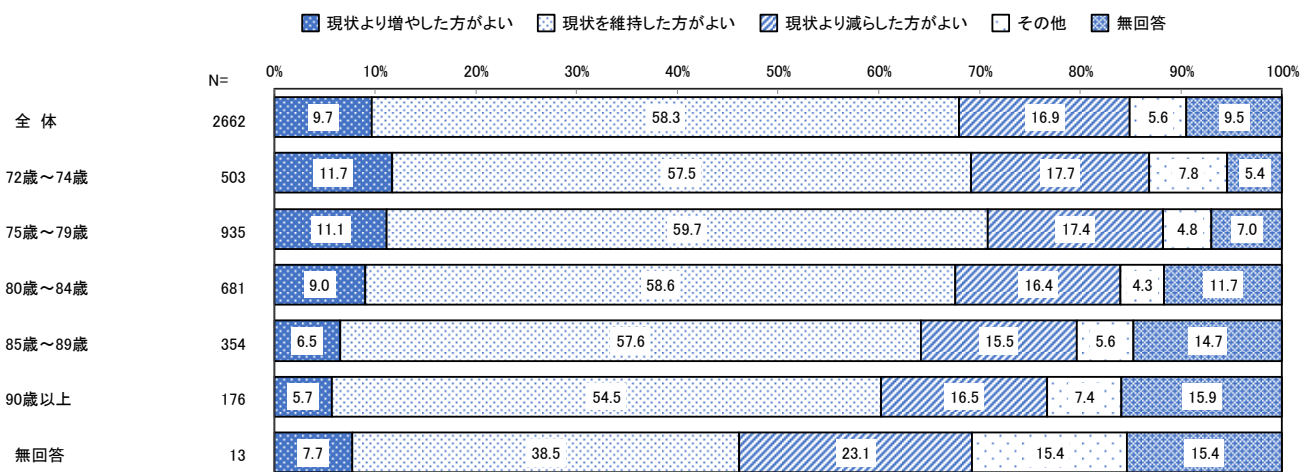
		全 体	バスを全く利用 しない	手続が面倒	福祉乗車証ま たは重度障害 者タクシー利用 券を利用してい る	敬老乗車証の 申請方法がわ からない	敬老乗車証制 度を知らなかつ た	回数券の管理 が面倒	所得制限のため 交付対象外	その他	無回答
全 体		1044 100.0	411 39.4	77 7.4	55 5.3	49 4.7	47 4.5	45 4.3	40 3.8	144 13.8	277 26.5
個 人 年 収	100万円未満	296 100.0	120 40.5	18 6.1	13 4.4	12 4.1	14 4.7	10 3.4	4 1.4	44 14.9	84 28.4
	100～300万円未満	487 100.0	205 42.1	30 6.2	32 6.6	21 4.3	22 4.5	21 4.3	5 1.0	70 14.4	128 26.3
	300～500万円未満	109 100.0	41 37.6	14 12.8	6 5.5	5 4.6	3 2.8	5 4.6	4 3.7	19 17.4	20 18.3
	500～700万円未満	34 100.0	11 32.4	6 17.6	—	2 5.9	2 5.9	4 11.8	6 17.6	4 11.8	5 14.7
	700～900万円未満	11 100.0	4 36.4	2 18.2	—	1 9.1	—	1 9.1	3 27.3	—	2 18.2
	900万円以上	30 100.0	6 20.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3	15 50.0	3 10.0	4 13.3
	無回答	77 100.0	24 31.2	6 7.8	3 3.9	6 7.8	3 3.9	3 3.9	3 3.9	4 5.2	34 44.2
	ほぼ毎日(週に5日以上)	7 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 14.3	—	6 85.7
	週に数回	37 100.0	2 5.4	1 2.7	9 24.3	1 2.7	1 2.7	1 2.7	5 13.5	4 10.8	13 35.1
市 バ ス / 利 用 頻 度	月に数回	161 100.0	16 9.9	22 13.7	14 8.7	7 4.3	8 5.0	12 7.5	8 5.0	26 16.1	58 36.0
	ほぼ利用しない	753 100.0	375 49.8	50 6.6	24 3.2	35 4.6	32 4.2	32 4.2	21 2.8	104 13.8	165 21.9
	無回答	86 100.0	18 20.9	4 4.7	8 9.3	6 7.0	6 7.0	—	5 5.8	10 11.6	35 40.7
	ほぼ毎日(週に5日以上)	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 100.0
	週に数回	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	1 11.1	—	—	—	—	2 22.2
民 営 バ ス / 利 用 頻 度	月に数回	61 100.0	7 11.5	7 11.5	7 11.5	5 8.2	2 3.3	1 1.6	4 6.6	12 19.7	20 32.8
	ほぼ利用しない	820 100.0	361 44.0	62 7.6	35 4.3	34 4.1	36 4.4	40 4.9	31 3.8	108 13.2	201 24.5
	無回答	152 100.0	41 27.0	7 4.6	10 6.6	9 5.9	9 5.9	4 2.6	5 3.3	24 15.8	52 34.2

3. 敬老乗車制度について

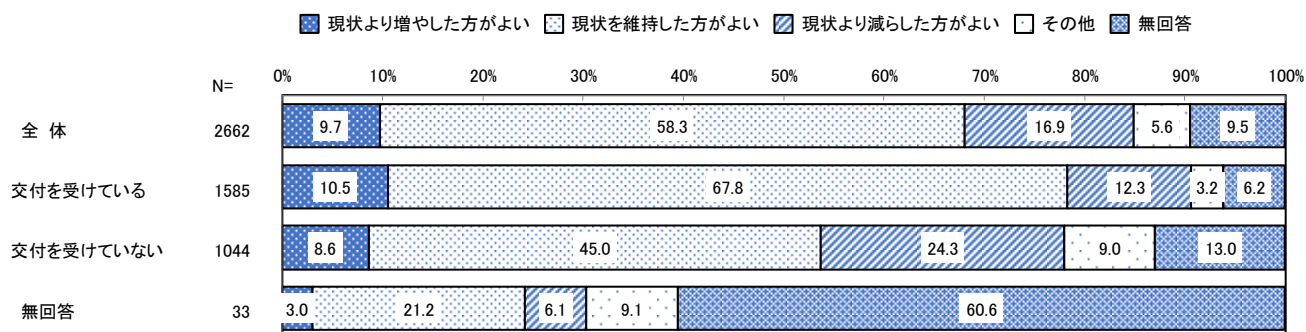
(1) 敬老乗車制度の税金による負担について

「現状を維持した方がよい」が 58.3%と最も高く、次いで「現状より減らした方がよい」が 16.9%、「現状より増やした方がよい」が 9.7%となっています。

年齢別にみると、「現状より増やした方がよい」及び「現状を維持した方がよい」の合計は「75 歳～79 歳」をピークに高齢になるほど減少傾向となっています。

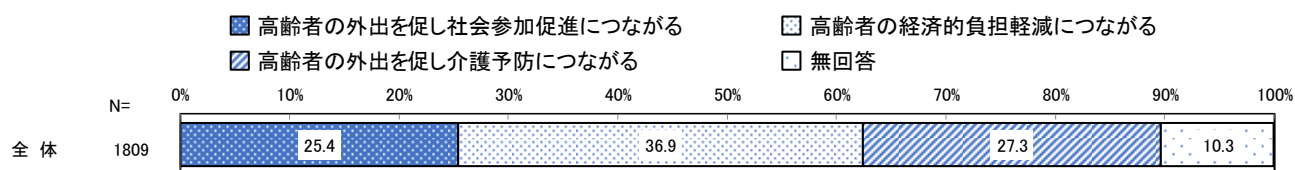


敬老乗車証交付状況でみると、「交付を受けていない」では「現状を維持した方がよい」が 45.0%と全体値よりも低く、「現状より減らした方がよい」が 24.3%と高くなっています。



(2) 税金負担を増やすまたは維持した方がよい理由

「高齢者の経済的負担軽減につながる」が 36.9%と最も高く、次いで「高齢者の外出を促し介護予防につながる」が 27.3%、「高齢者の外出を促し社会参加促進につながる」が 25.4%となっています。

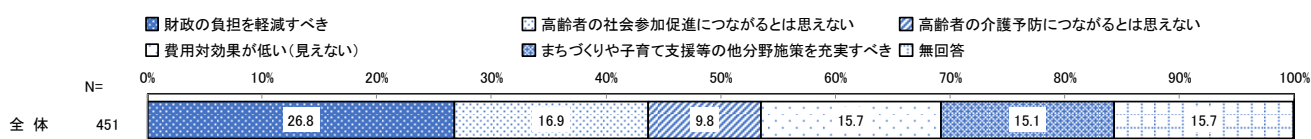


【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・敬老パスをもらう前は、用事をまとめて済ませられるよう、1日乗車券を利用するよう心掛けていました。3,000 から 9,000 円になった時はショックが大きかったが、やむを得ないと納得せざるを得ませんでした。これ以上増やさないで下さい。元気で利用出来るようにいたいものです。
- ・国民年金だけでは、生活出来ない。生活保護より少なくコツコツ貯金したものを引き出している。出来れば無料に戻して欲しい。

(3) 税金負担を減らした方がよい理由

「財政の負担を軽減すべき」が 26.8%と最も高く、次いで「高齢者の社会参加促進につながるとは思えない」が 16.9%、「費用対効果が低い（見えない）」が 15.7%となっています。



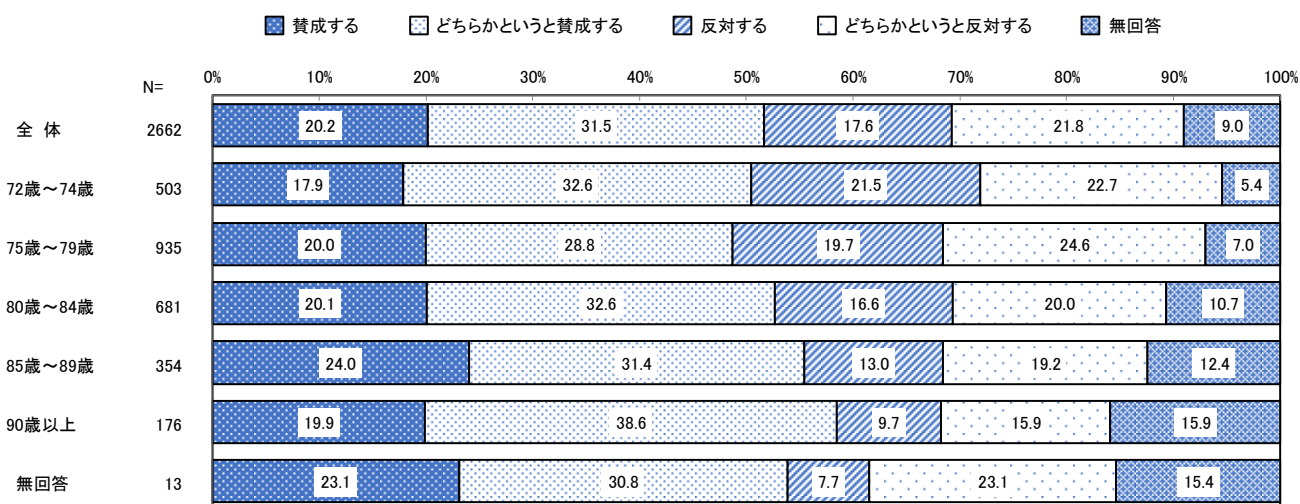
【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・居住地により、便益差が大きすぎる。市の周辺地域に住む者は、恩恵を十分受けていない。「応益負担化」は理にかなっていると思う。
- ・サービスが地域により差がある。もっと平等な高齢者の社会参加促進事業の推進を望む。現在の居住地にバスは走っていない。

(4) IC化による応益負担について

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計が51.7%を占めています。

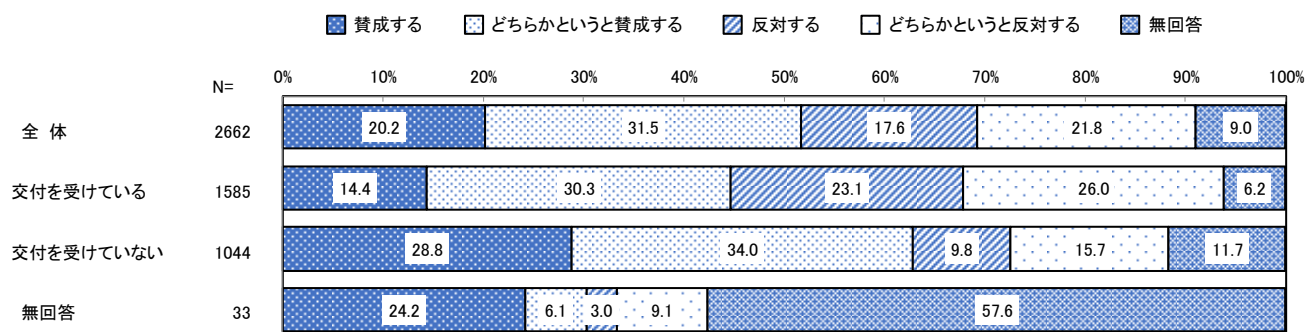
年齢別でみると、高齢の方ほど「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計が概ね高くなる傾向がみられ、「90歳以上」では58.5%と最も高くなっています。



【詳細分析】

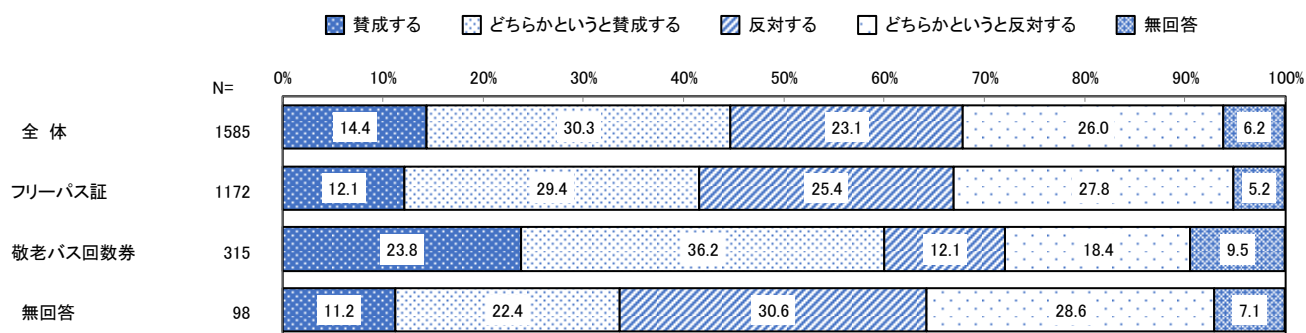
○ 敬老乗車証の交付の有無

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計は、敬老乗車証の「交付を受けていない」方が62.8%と高くなっています。



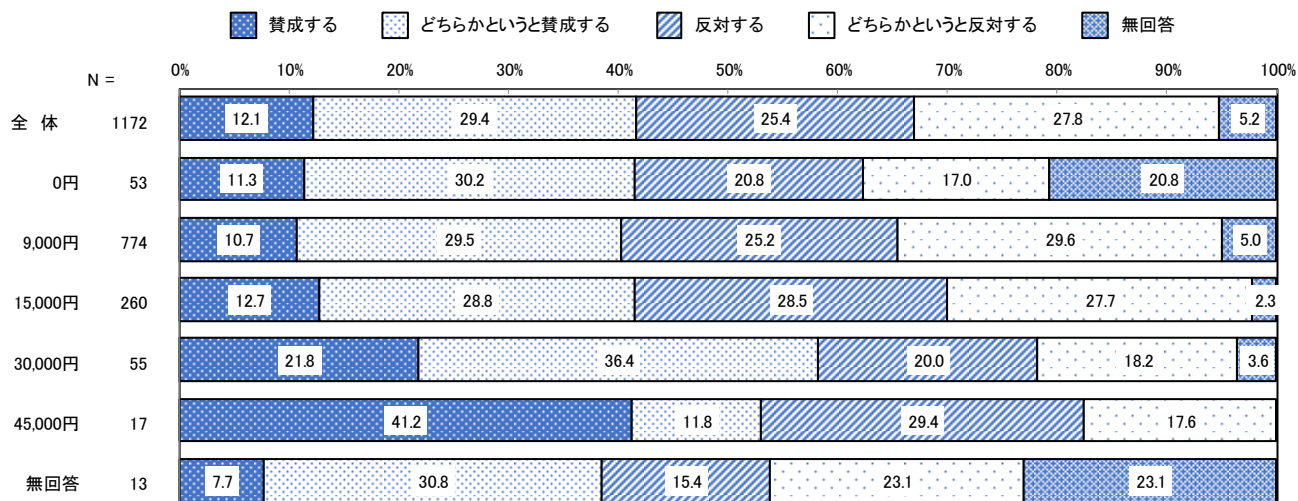
○ 交付を受けている敬老乗車証の種類

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計は、「敬老バス回数券」方が 60.0%と高くなっています。



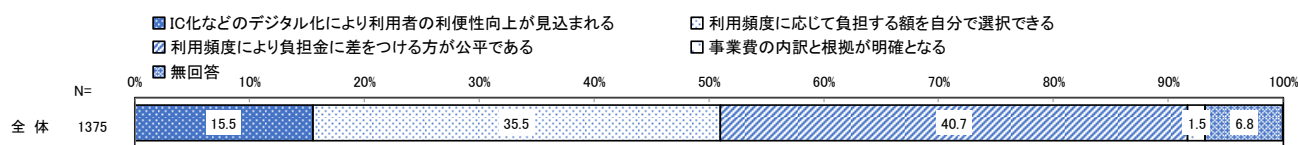
○ フリーパス証の負担金額別

負担金額別にみると、負担金額が高いほど「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計が概ね高くなる傾向がみられます。



(5) IC化による応益負担について賛成する理由

「利用頻度により負担金に差をつける方が公平である」が40.7%と最も高く、次いで「利用頻度に応じて負担する額を自分で選択できる」が35.5%、「IC化などのデジタル化により利用者の利便性向上が見込まれる」が15.5%となっています。

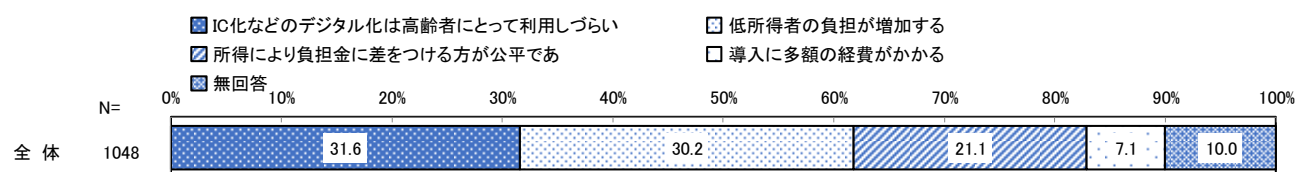


【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・近くは車を利用するので、バスに乗るのは月に1、2回です。頻度に応じて選択できるなら、その方が賛成です。私にとって年9,000円は微妙なラインです。
- ・大阪の様に、乗る度に敬老パス提示と50円投入など方法で、利用回数に応じた応分負担に。

(6) IC化による応益負担について反対する理由

「IC化などのデジタル化は高齢者にとって利用しづらい」が31.6%と最も高く、次いで「低所得者の負担が増加する」が30.2%、「所得により負担金に差をつける方が公平である」が21.1%となっています。



【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・アナログ人間にとって今の制度の方が利用しやすい。
- ・敬老乗車証明制度は、高齢者となり心筋梗塞など持病をもち、運転免許返納したものにとってありがたい制度です。高齢者の外出を促し社会参加を促進するものと思いますが、利用頻度による応益負担はこの制度の趣旨からしていかなものかと思います。
- ・利用する者は高齢者なので、複雑なことは避けたい。理解出来ないことが多いと、利用することに躊躇してしまう。

4. 自由意見等（一部抜粋）

【制度の継続について】

- ・地下鉄の料金表を見て、切符を買ったり、バスに乗る時に小銭を用意したり、年寄りには面倒なものです。外出の気持ちを削がれます。どういう形になるのかはわかりませんが、是非とも残してほしいと思っています。
- ・敬老乗車証は高齢者の外出を促し、社会参加に促進し、経済的負担軽減につながり、介護予防、認知症予防にもつながる。財源も大事なことから、医療、介護の財源が増えるよりも大事なことだと思います。
- ・とても便利に利用しています。便利な場所に住んでいるため、緑の多い所まで敬老乗車証を使って出かけ、歩いています（植物園・御所・宝ヶ池公園など）。ありがたく思っています。
- ・大変有難い制度だと感謝しています。現状維持を願っていますが、市の財政とのバランスから変化も止むを得ないかなと思っています。
- ・今後も高齢者が増える事が予想され、京都市の財政負担が増えるので、将来的には廃止もやむをえないのでは！！
- ・制度そのものを廃止すべきだと思います。お金の無い京都市はもっと将来に向けて子供達やインフラ整備等の施策にお金を使うべきで、現状はあまりにも老人を優遇し過ぎと考えます。

【負担金について】

- ・毎月1回は病院へ行くので、敬老乗車証でとても助かっています。でも、年間9,000円は少し高いです。
- ・高齢者の応分の負担は、避けられぬものと理解するが、極端な負担増は避けたい。
- ・若い世代の方が減少していて高齢者が多くなり運営費も大変だと思います。敬老乗車証制度はとても助かります。これからも利用したいと願っていますので、負担金10%位の値上げは必要なのかなと思います。
- ・所得が900万超でも、交付すべきと考える。もちろん、負担は5万以上にはなると思うが。
- ・年収が100～300万円未満、150～200万未満を作るべきである。敬老乗車証の負担金額別に色わけする。
- ・負担金の決定について、生活保護受給者より収入が低い者もいるので生活保護受給者等の無料は不公平である。

【IC化・応益負担化について】

- ・敬老乗車証はこれから利用することが増えそうなので、普通料金より割引料金で乗れるといいと思う。敬老乗車証を持っていたても、利用しない事が多くなることもあるので。
- ・一度に金額負担するのでなく、利用する時に100円で乗車できるようにしてほしい。100円なら出かけやすい。公共交通機関を使用しやすい。出かけられるうちに（年齢的に）早急に実施してほしい。
- ・IC化は良いが、負担金が増加しそうで、それが心配です。IC化した時の負担金を示して欲しい。
- ・IC化になれば高齢者は利用しづらくなり大変になる。高齢者の使いやすい方がたすかります。介護予防のためにも、出かけられる様をお願いします。

【税金負担について】

- ・高齢者は一般的に収入が少なく、支出余力が小さい。このため敬老乗車制度は、高齢者の社会活動（病院通い、買物等）にとって経済的負担の軽減となり、少しでも生活環境が改善されることにつながると期待できる。財源の問題も理解でき、むやみに拡大するのは望ましいとは思わない。経済的余裕度や利用頻度（受益）に応じて、負担の違いが生じることは、当然と思う。個人の活動を阻害しない様配慮し決めて欲しい。
- ・38億円も税金から負担してもらってるとは知りませんでした。この制度だけで高齢者の行動がそんなに変わるとは思いません。違った形の制度、参加すればポイント、参加賞がもらえるとか…にすれば。
- ・高齢者への援助となり、地域活性にもつながると思います。市バス・地下鉄、利用者も増え、市バス運営において赤字減少となっていると思います。他の節約方法も色々有るのではないのでしょうか。過去に市は、市税を無駄使いしている事が多くありました。現在市は増収増益となり、黒字化となり、多少の余裕が出来たと思います。今後もこの制度も現行のまま続けて下さい。

【敬老バス回数券について】

- ・長い間敬老乗車証の利用していました。24年は回数券の利用をしています。1年間と限りが無いので、回数券にしようと思います。
- ・フリーパス証ほども乗らないし、敬老バス回数券をもらっているけど地下鉄に乗る時もあるので、どちらもつかえる券があれば良い。
- ・回数券が出来て以前よりバスに乗る機会が増えたが、河原町まで行こうと思うと乗り替えが必要となり回数券を2枚使用することになる。その場合、時間も料金も阪急の方が安くて早いので利便性が悪くなる。バスに乗って感じるのは敬老乗車証の人ばかりが乗っていると思うので（観光客を除くと）税金で走っているようにも思う。

【対象交通機関について】

- ・ 民営バス（京都バス）は乗れず、市バスのみのため、行き先によっては歩いて、バス停まで行かなくてはならない。バスを全部利用出来たら助かります。値段は上がってもよろしいのです…
- ・ 向島住民は長年、バスで竹田まで行き、そこから市営地下鉄に乗らないと敬老乗車証の恩恵に与れない状況が続いている。大変不便で不公平。そこをまず是正すべき。使い勝手が悪い乗車証のために一部負担金を払ってまで使う人は少ない。居住地にかかわらず、誰にでも公平な制度にして欲しい。
- ・ 私の乗車証利用区間は、市バスは1時間に1本、民営バスは1時間に2本以上と、市バスが非常に利用しにくかった。昨年度からは民営バスが利用出来るようになり大変助かっています。（感謝！）これで時間のロスも無くなり外出もしやすくなりありがたいです。健康長寿に向けて頑張れます！

【申請等手続について】

- ・ 郵便局で乗車証を受け取れる日をもっと早めにしてほしい。郵便局での更新の手続きをもっと早くにできるように郵送していただきたいです。
- ・ 所得制限しているなら該当者に自動的に送付するほうが、利用が増えると思う。それで手間も省けることにならないでしょうか。
- ・ とても良い制度だと思います。ただ、更新や申請については、自分では出来ない、わからないという方がおられます。家族等の助けが必要になります。なので、その家族の方達にもこの制度の事を知っておいてもらう必要があると思います。家族の方達からの助けをしてもらえない方もおられると思うので…

【その他】

- ・ 敬老乗車証を使っていてありがたいですが、オーバーツーリズムですごく混んでいて（中心部に住んでいるので）出かけるのをやめたりしてます。乗車証をもらっても使いきれてなく、何とかしてほしいです。
- ・ 運転免許証を返還してバス乗車券を使いたいのですが、バスの本数が少なく行先もかぎられていて、使い物にならない。もっとバスを増やしてほしい。
- ・ 本人確認がないので本人以外でも使えるのではないのでしょうか。
- ・ 安心して利用している現在ですが、家族（夫）は介護認定を受けており、バス利用は出来ません。病院へ通ったりする場合はタクシーに頼るのですが、負担が大きいので辛いです。何とか補助制度のような方法が欲しいです。

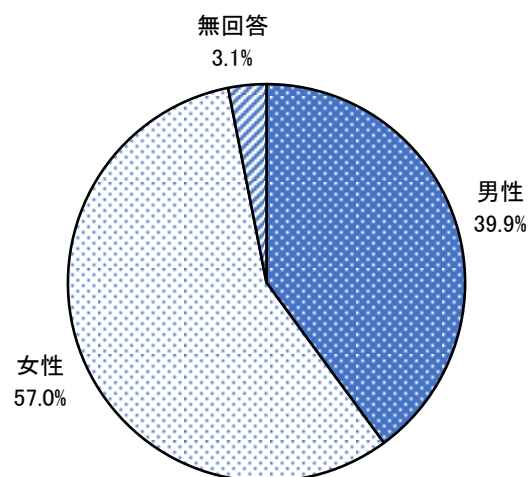
Ⅲ 若年層（20 歳～64 歳） 向けアンケート調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

「女性」が 57.0%、「男性」が 39.9%となっています。

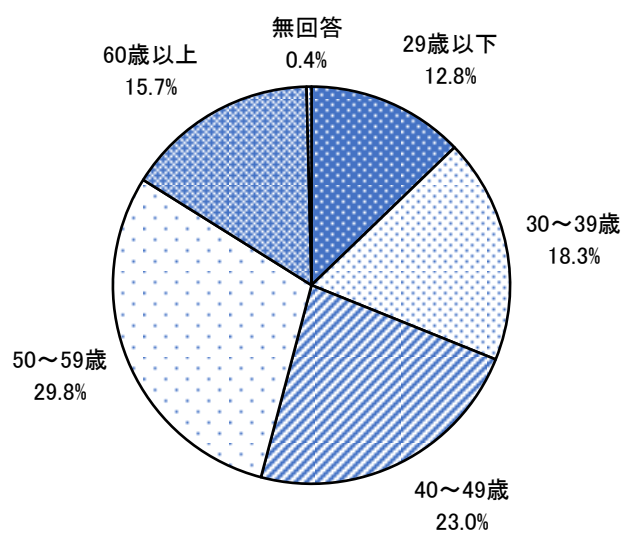
(N = 1145)



(2) 年齢

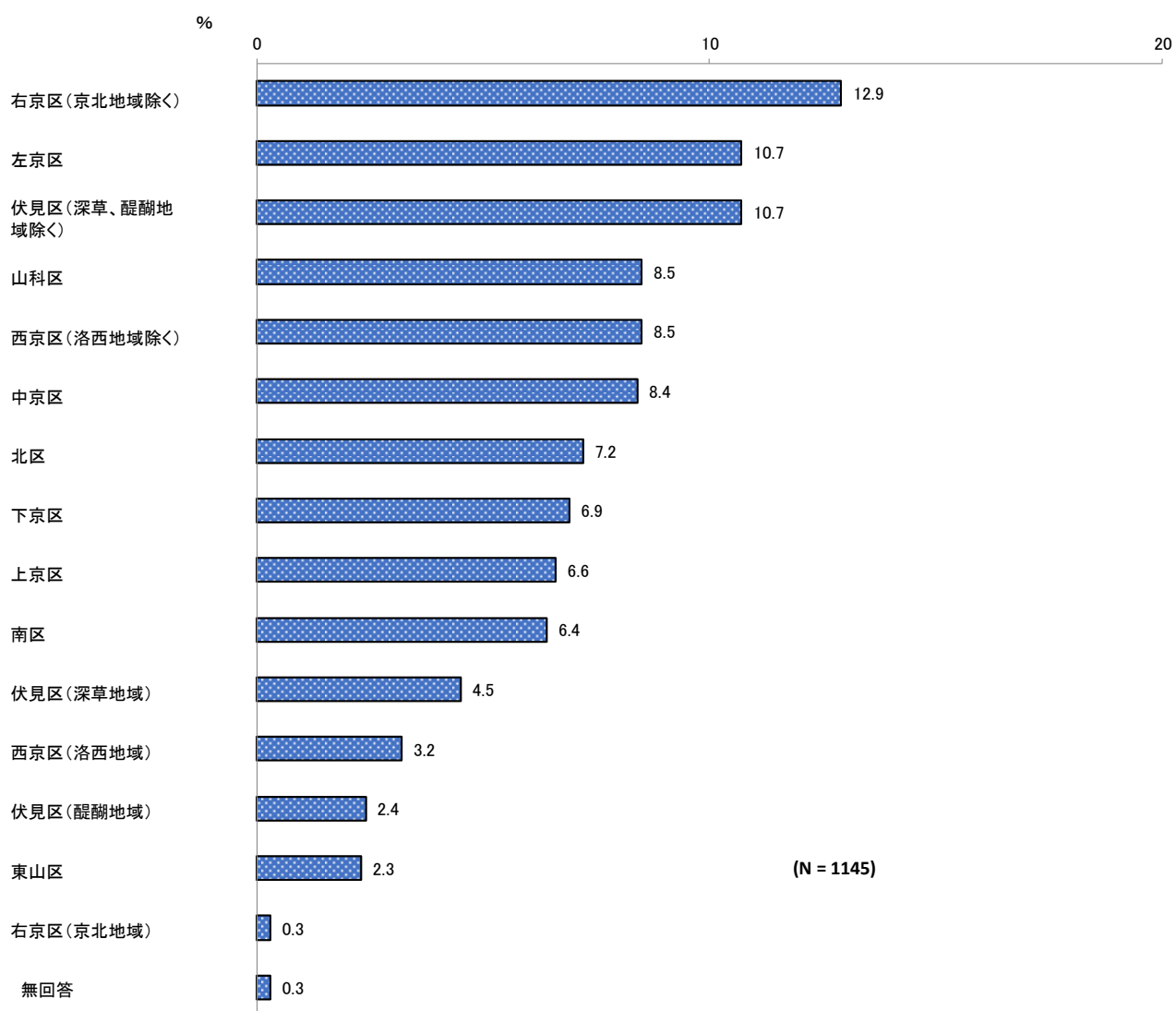
「50～59 歳」が 29.8%と最も高く、次いで「40～49 歳」が 23.0%、「30～39 歳」が 18.3%となっています。

(N = 1145)



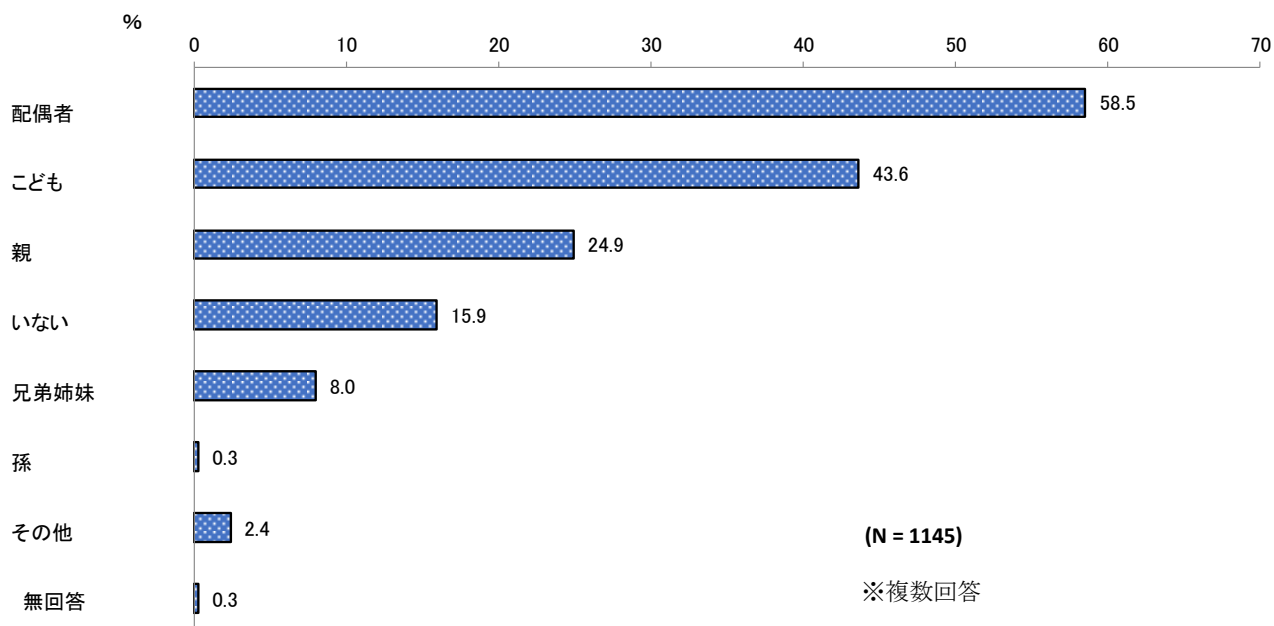
(3) 居住区

「右京区（京北地域除く）」が12.9%と最も高く、次いで「左京区」及び「伏見区（深草、醍醐地域除く）」が10.7%となっています。



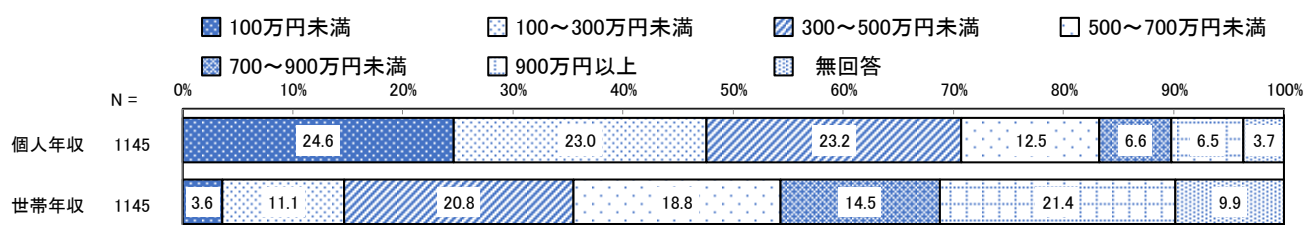
(4) 同居家族

「配偶者」が58.5%と最も高く、次いで「子ども」が43.6%、「親」が24.9%となっています。



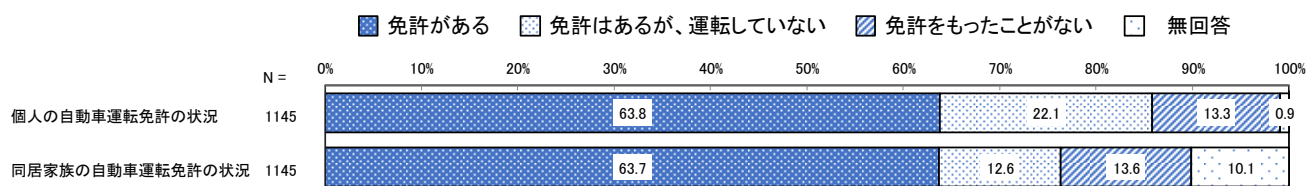
(5) 年収

個人年収は「100万円未満」及び「100～300万円未満」の合計が47.6%を占めているのに対し、世帯年収では14.7%となっており、「900万円以上」が21.4%と最も高くなっています。



(6) 自動車運転免許の状況

個人及び同居家族ともに「免許がある」が60%以上を占めています。個人では「免許はあるが、運転していない」を含め85.9%が免許を取得、同居家族では76.3%が免許を取得しています。

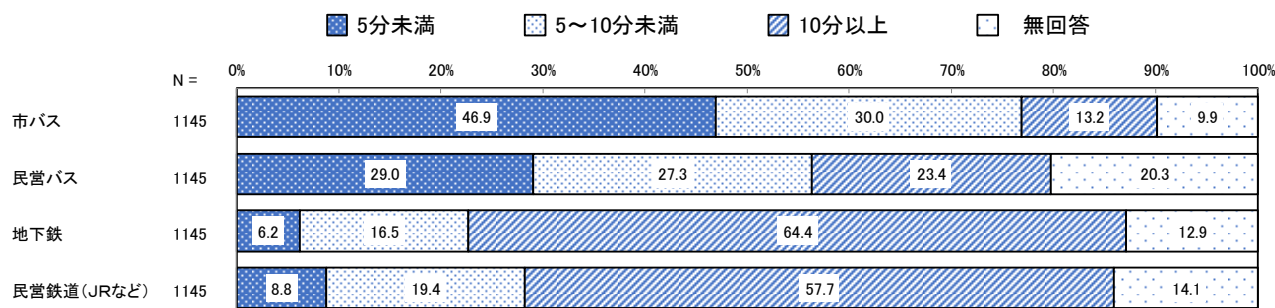


※「免許をもったことがない」の選択肢は、同居家族では「誰も免許をもっていない」となります。

(7) 最寄りバス停・駅までの時間及び利用頻度

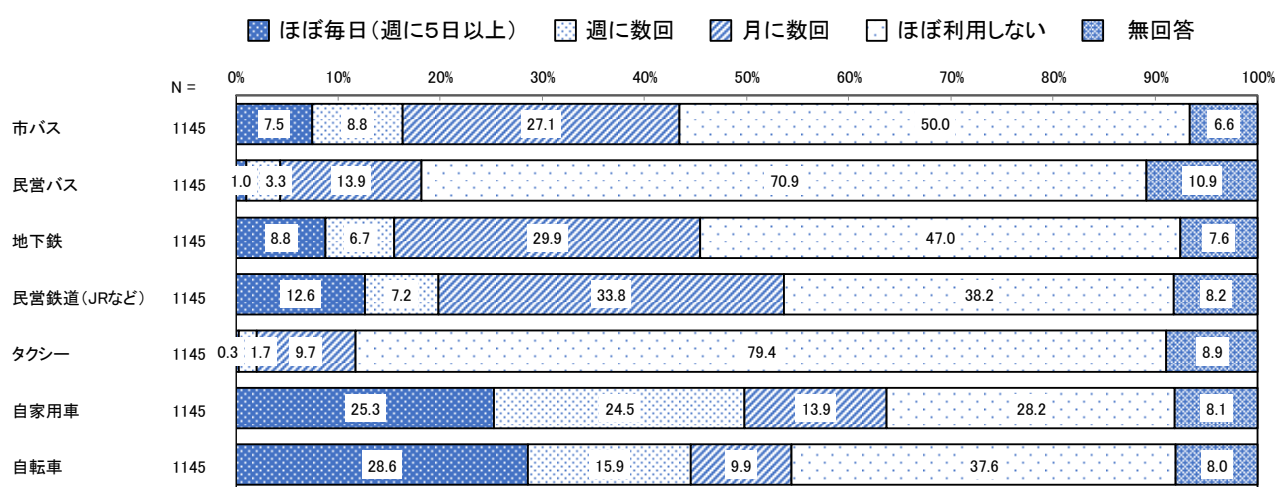
① 最寄りのバス停・駅までの時間（徒歩）

「5分未満」及び「5～10分未満」の合計は「市バス」が76.9%と最も高く、次いで「民営バス」が56.3%、「民営鉄道（JRなど）」が28.2%となっています。



② 利用頻度

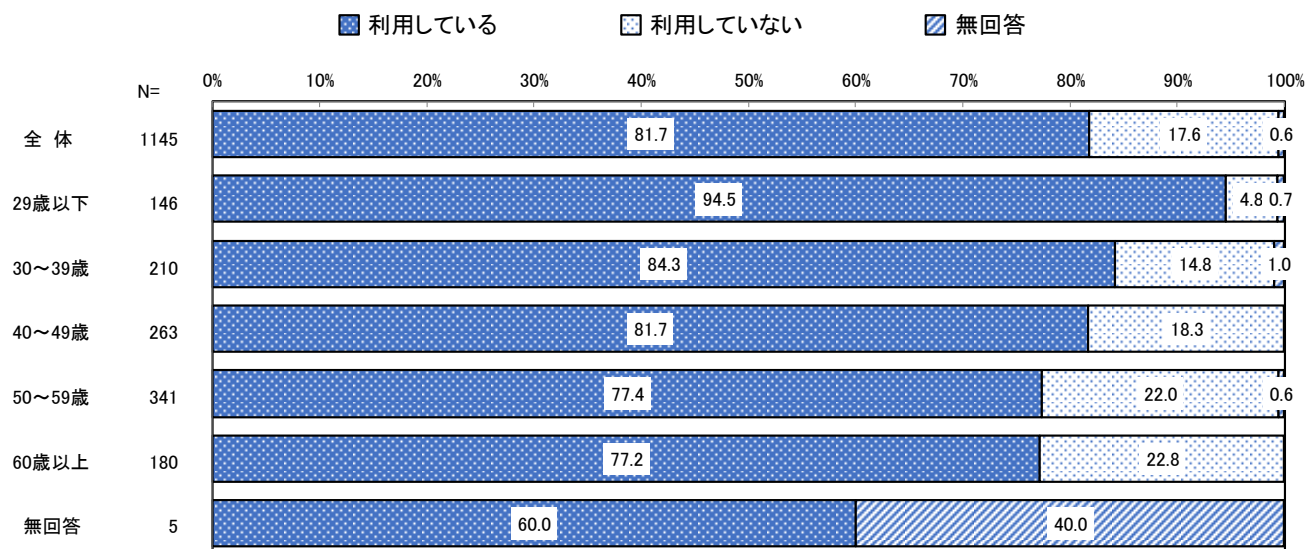
「ほぼ毎日（週に5日以上）」、「週に数回」及び「月に数回」の合計は「自家用車」の63.7%が最も高く、次いで「自転車」の54.4%、「民営鉄道（JRなど）」が53.6%となっています。「ほぼ毎日（週5日以上）」及び「週に数回」の合計でも「自家用車」が49.8%、次いで「自転車」が44.5%、「民営鉄道（JRなど）」19.8%の順となっています。



(8) 交通系 IC カードの利用

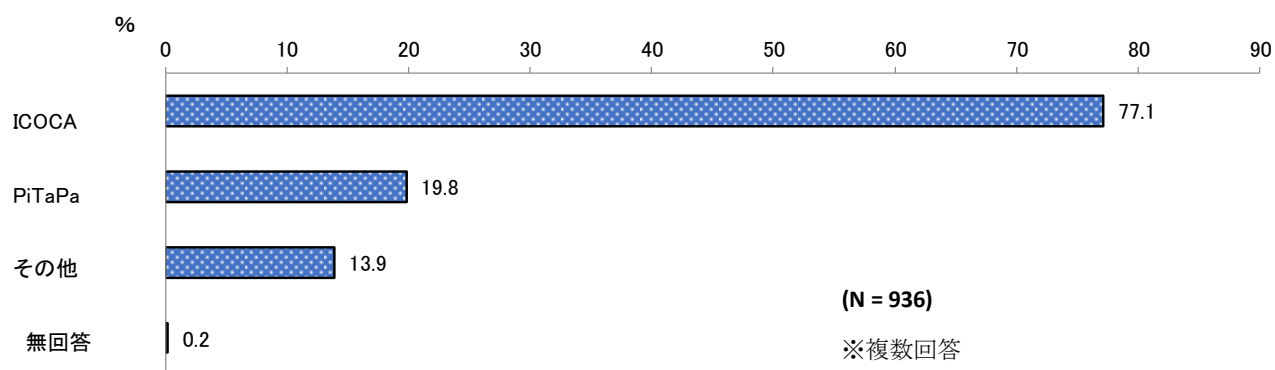
「利用している」が 81.7%と高く、「利用していない」が 17.6%となっています。

年齢別でみると、いずれの年代でも「利用している」が最も高く、「29 歳以下」では「利用している」が 94.5%を占めています。



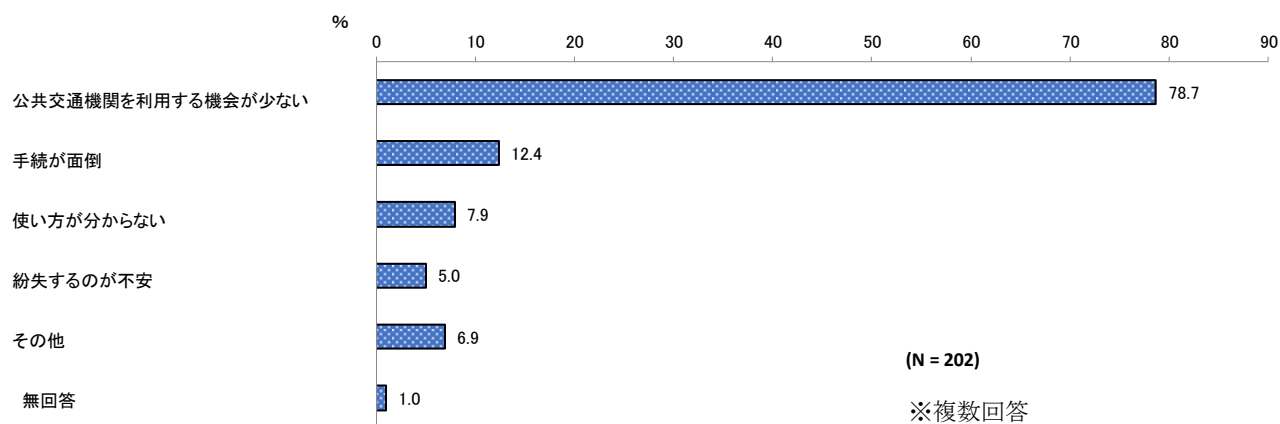
(9) 利用している交通系 IC カードの種類

「ICOCA」が 77.1%と最も高く、次いで「PiTaPa」が 19.8%となっています。



(10) 交通系 IC カードを利用していない理由

「公共交通機関を利用する機会が少ない」が 78.7%と最も高く、次いで「手続きが面倒」が 12.4%、「使い方が分からない」が 7.9%となっています。

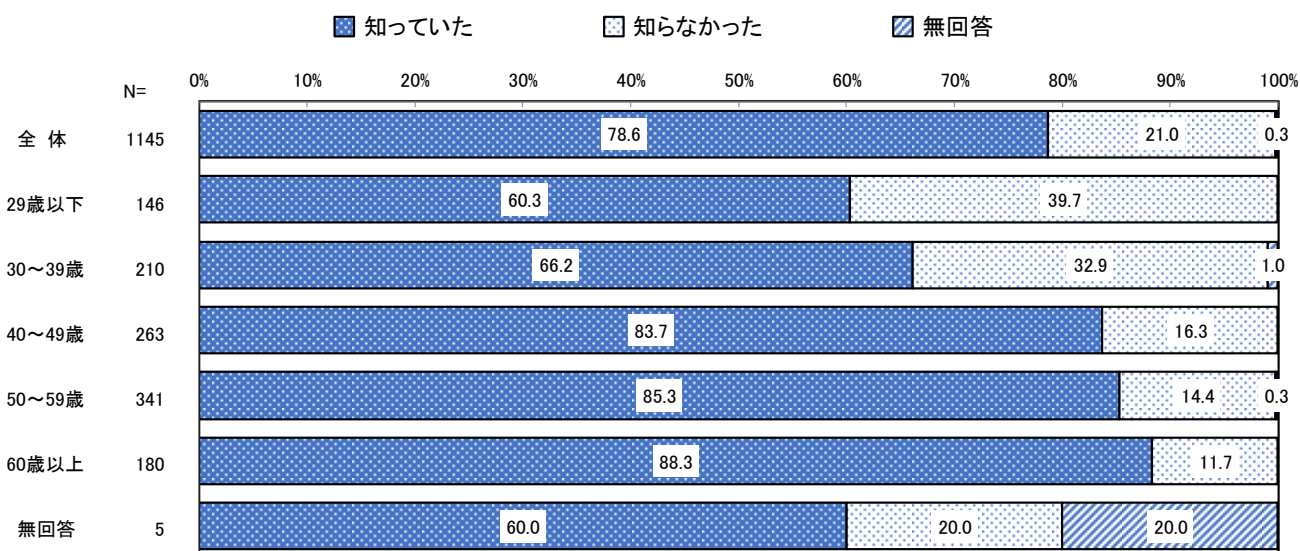


2. 敬老乗車制度について

(1) 敬老乗車制度の認知度

「知っていた」が78.6%、「知らなかった」が21.0%となっています。

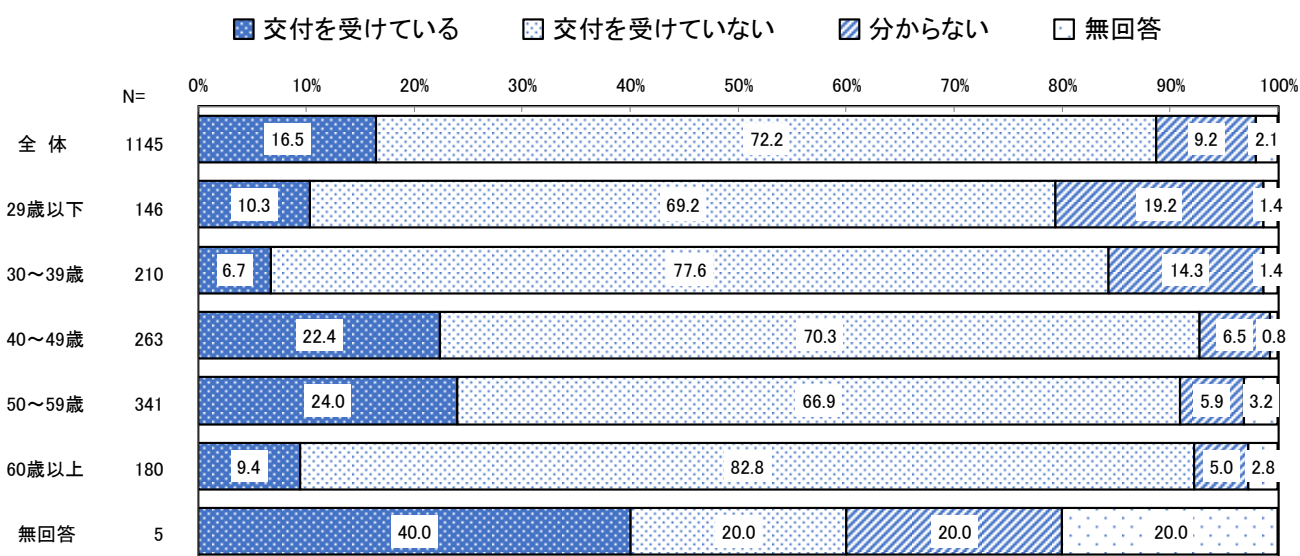
年齢別でみると、高齢の方ほど「知っていた」が高くなる傾向があり、「60歳以上」が最も高く88.3%となっています。



(2) 家族の敬老乗車証の交付の有無

「交付を受けていない」が72.2%と最も高く、次いで「交付を受けている」が16.5%、「分からない」が9.2%となっています。

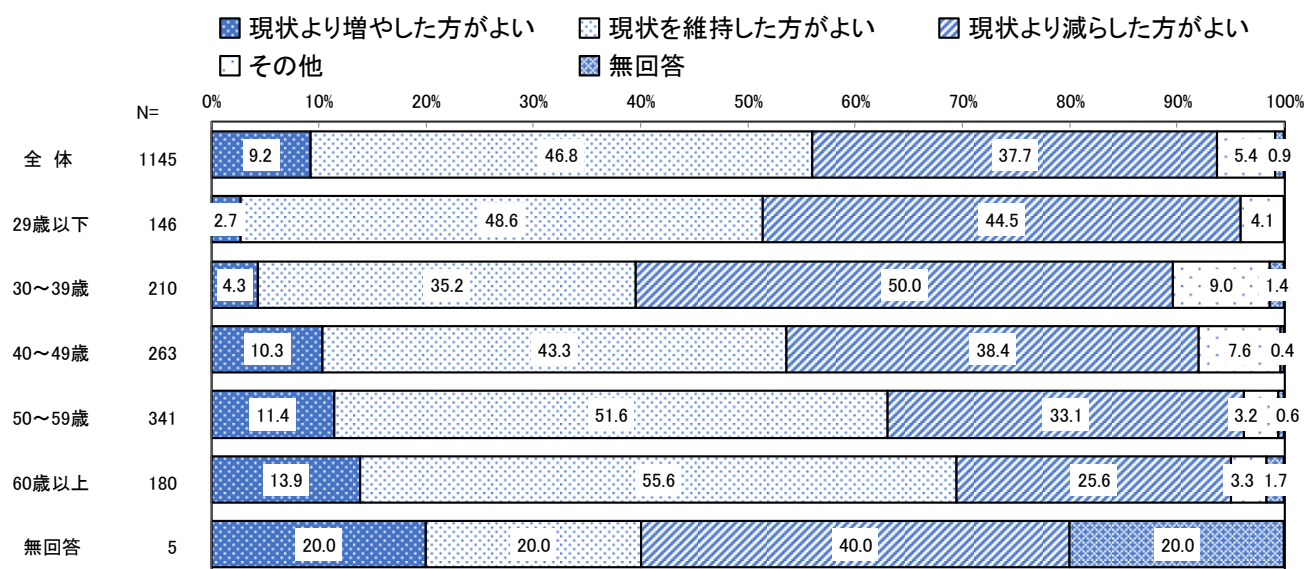
年齢別でみると、「交付を受けている」が最も高いのは「50～59歳」の24.0%、次いで「40～49歳」の22.4%、「29歳以下」の10.3%となっています。



(3) 敬老乗車制度の税金による負担について

「現状を維持した方がよい」が46.8%と最も高く、次いで「現状より減らした方がよい」が37.7%、「現状より増やした方がよい」が9.2%となっています。

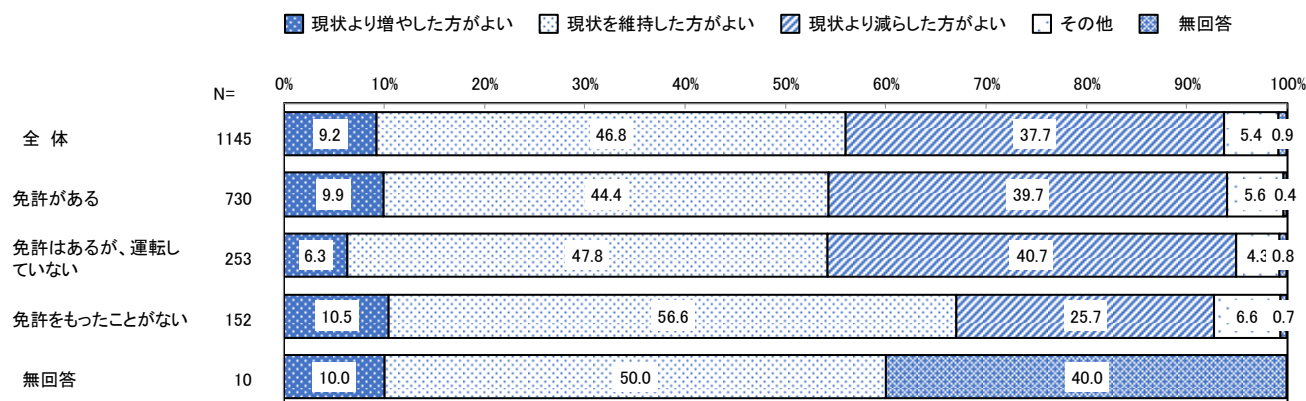
年齢別にみると、「現状より増やした方がよい」及び「現状を維持した方がよい」は高齢の方ほど概ね高くなり、「現状より減らした方がよい」は概ね低くなる傾向がみられます。



【詳細分析】

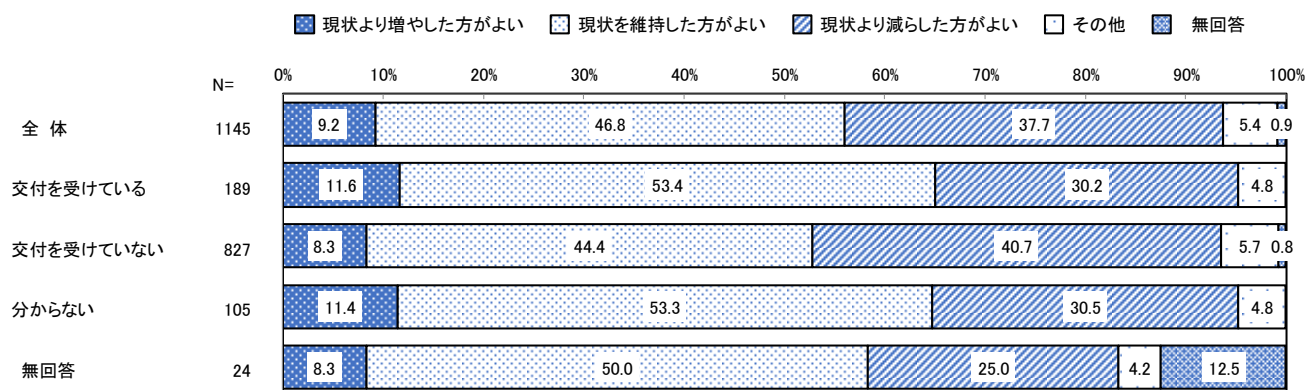
○個人の自動車運転免許状況

「免許をもったことがない」では「現状を維持した方がよい」が56.6%と最も高くなっています。



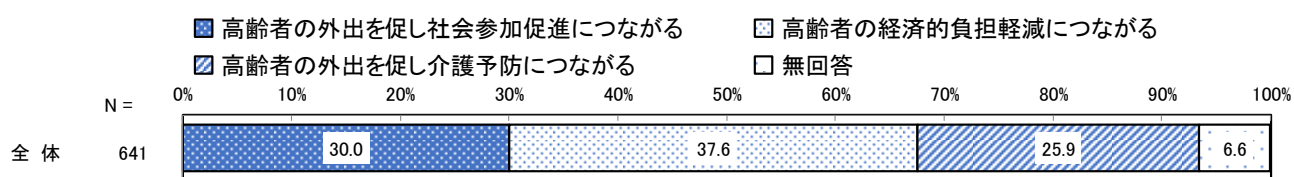
○家族の敬老乗車証交付の有無

「交付を受けている」では「現状を維持した方がよい」が 53.4%と最も高く、「現状より減らした方がよい」は 30.2%と最も低くなっています。



(4) 税金負担を増やすまたは維持した方がよい理由

「高齢者の経済的負担軽減につながる」が 37.6%と最も高く、次いで「高齢者の外出を促し社会参加促進につながる」が 30.0%、「高齢者の外出を促し介護予防につながる」が 25.9%となっています。

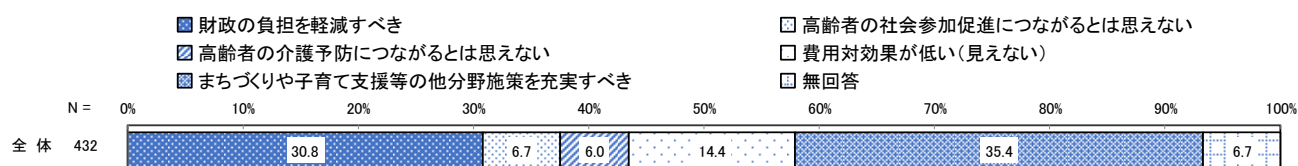


【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・今後、高齢化は進む一方です。そのため、高齢者に優しい日本、また、高齢者が働くことのできる社会を作るべきです。そのためには、税金での負担が増えても良いと思います。
- ・今後、ますます少子高齢化がすすむと、税金からの運用額も必ず増えると思う。税金を使いすぎないために、現状維持が必要だと思う。利用上限などをもう少し設けても良いのでは…
- ・私も含め、そのうち車を手離すことになった時交通費のことを考えると外出しにくくなると思うので。

(5) 税金負担を減らした方がよい理由

「まちづくりや子育て支援等の他分野施策を充実すべき」が 35.4%と最も高く、次いで「財政の負担を軽減すべき」が 30.8%、「費用対効果が低い（見えない）」が 14.4%となっています。



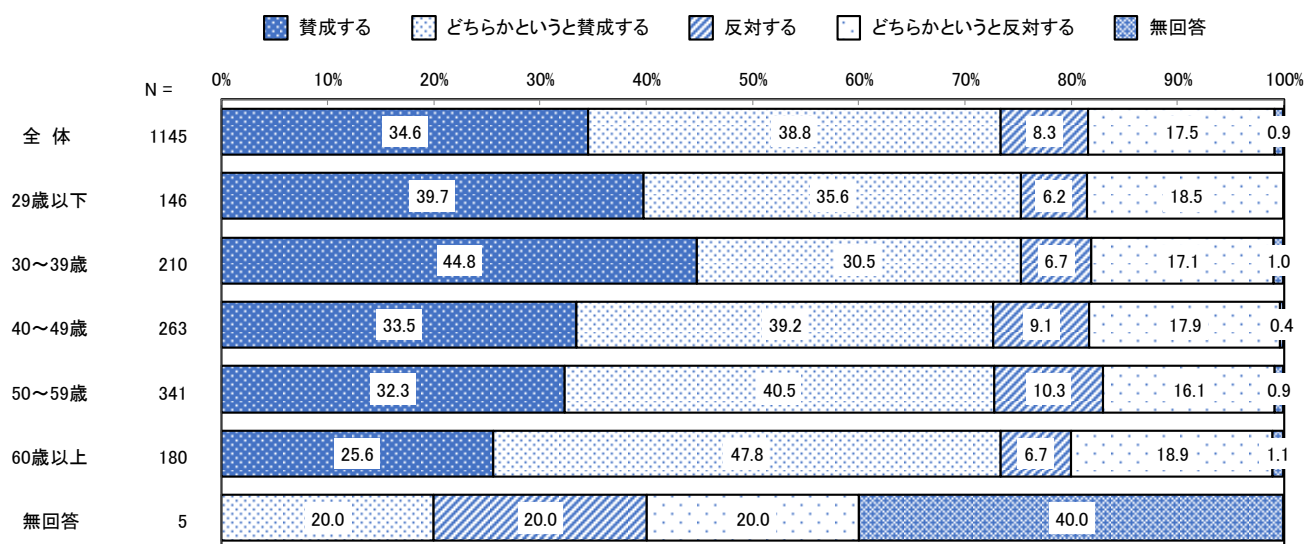
【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・ 乗り放題のフリーパスは、年金生活者にとってはほぼ無料パス状態になっている。たった 1km 程度の移動に多数の高齢者が乗車し、現役世代や観光の邪魔になっている。せめて都度 100 円でも良いので取るべき。混雑しているのは高齢者を乗り放題にしているからです。1km の移動なら歩いた方が健康だと思うんですが。
- ・ 高齢者の一人での外出は危険が伴う。介添してくれる人や付き添人に費用を出すべき。
- ・ 将来の納税者となる若者や子どもの教育、経済事情で大学に行けない京都の若者の学資支援に使ってほしい。老人の交通費に 58 億円も使うくらいなら、母子家庭や奨学金で大学に行かざるを得ない若者の大学費用を負担してあげてほしい。

(6) IC 化による応益負担について

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計が 73.4%となっています。

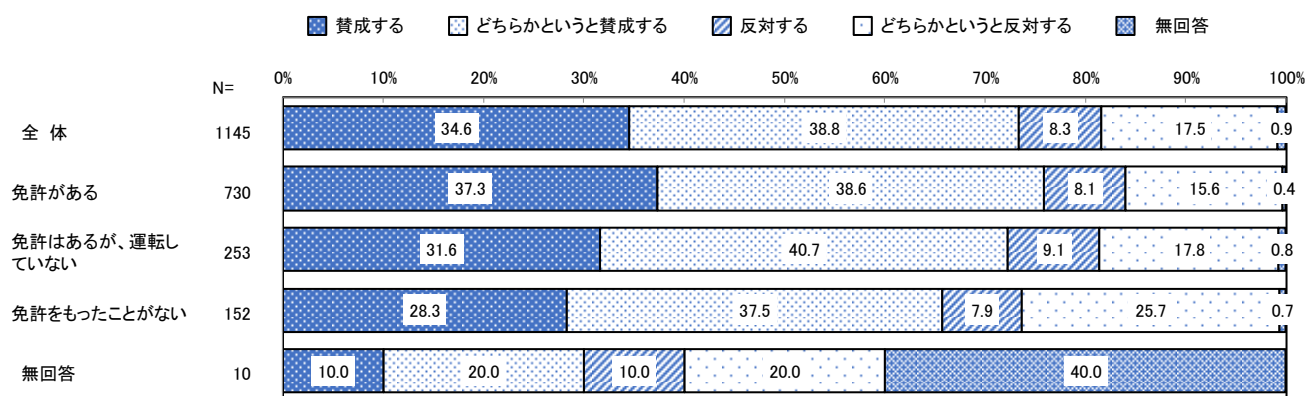
年齢別にみると、「賛成する」は「29 歳以下」及び「30～39 歳以下」において高くなり、以降の年代ではやや低くなる傾向がみられますが、「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計はいずれの年代でも大きな差はありません。



【詳細分析】

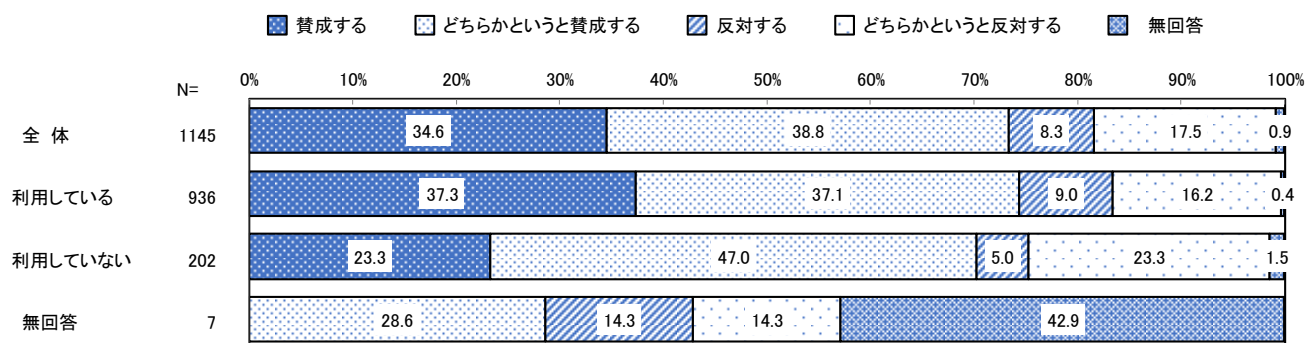
○ 個人の自動車運転免許

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計は、「免許がある」が 75.9%と最も高く、次いで「免許はあるが、運転していない」が 72.3%、「免許をもったことがない」が 65.8%となっています。



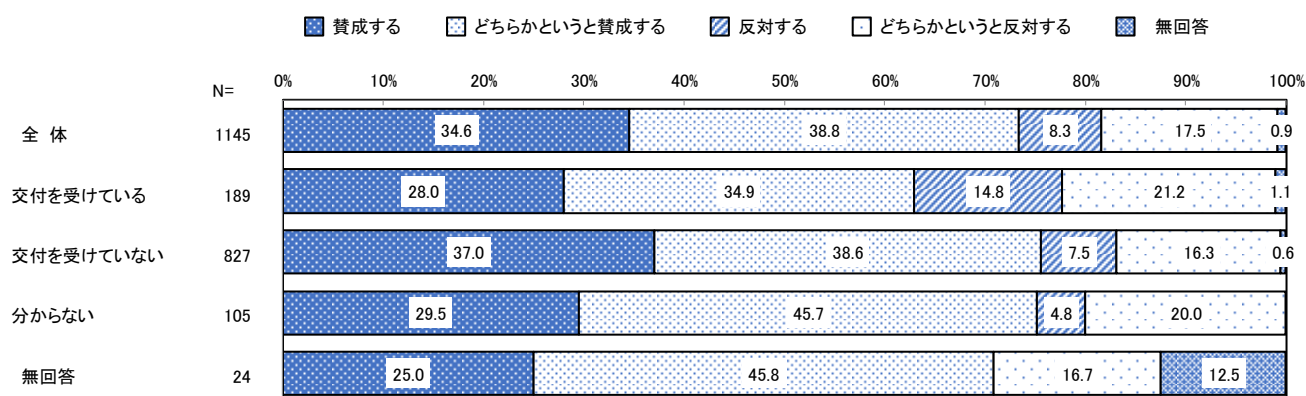
○ 交通系 IC カードの利用

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計は、「利用している」の方が 74.4%と高くなっています。



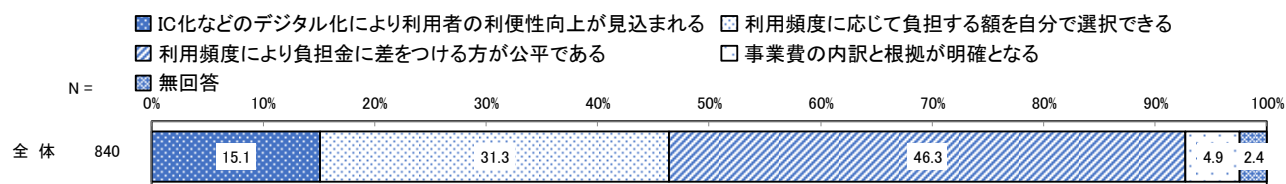
○ 家族の敬老乗車証の交付

「賛成する」及び「どちらかという賛成する」の合計は、「交付を受けていない」の方が 75.6%と高くなっています。



(7) IC化による応益負担について賛成する理由

「利用頻度により負担金に差をつける方が公平である」が46.3%と最も高く、次いで「利用頻度に応じて負担する額を自分で選択できる」が31.3%、「IC化などのデジタル化により利用者の利便性向上が見込まれる」が15.1%となっています。

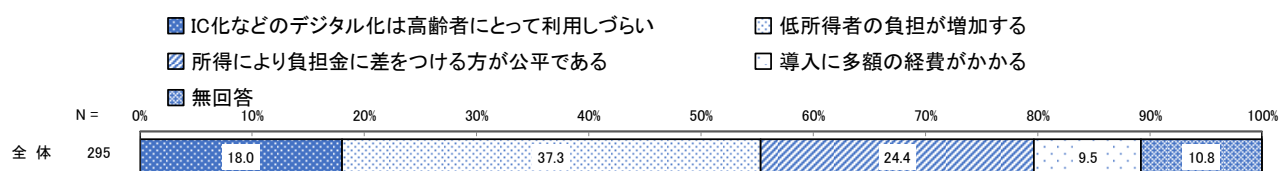


【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・使わない人も同じ負担だと公平でないから。
- ・利用頻度による負担金には賛成だが、多額の経費をかけてまで導入する必要があるのかはわからない。

(8) IC 化による応益負担について反対する理由

「低所得者の負担が増加する」が 37.3%と最も高く、次いで「所得により負担金に差をつける方が公平である」が 24.4%、「IC 化などのデジタル化は高齢者にとって利用しづらい」が 18.0%となっています。



【その他具体的な理由（一部抜粋）】

- ・市から交付される IC カードであればよいと思うが、スマホアプリとかだと色々と不安だから、所得によって負担金に差をつける方がよい。
- ・経費の面では、利用頻度で差をつけるのは公平であると思うが、だったら乗らない（高齢者が家から出ない、車で外出する）という人もでてくるだろうから。
- ・IC 化した場合の「応益負担」の具体的な方法が示されていないため、賛成も反対もできない。（「利用頻度」とは例えば前年の利用状況を見るのか、今現在利用している途中、利用回数が増えたら、急に負担額が増えるのか…など、明確なビジョンが見えません）。

3. 自由意見等（一部抜粋）

【制度の継続について】

- ・実際に自分が対象になる頃には制度がなくなっていないか心配です。生前母は60代の頃よく利用し外出の機会が増えいきいきと過ごしていたので、良い制度だと思っています。
- ・母親が最近敬老乗車証を持ち始めました。出掛けるときの交通費を気にしないでいいことはもちろんですが、今まで乗ってなかった市バスや京阪バスの乗り方も調べて乗り始めたりなど、生活に少し変化があり、頭を使ったりして介護予防にも繋がっていると感じました。実際に、自分がと言われると、少し使い勝手がよくない場所に家があり、使えるかどうかは今のところわかりませんが、使えたら便利だし、免許返納のきっかけにもなると思います。
- ・フリーパス証を導入して市全体の介護費用の削減があったのかなどの検証が必要。「あれば助かる」という意見はもっともだが、費用対効果が乏しい施策は廃止すべき。

【負担金について】

- ・もう少し値上げしてもよいのではないのでしょうか？また、違う話となりますが。外国人観光客の乗車運賃は値上げしていいと思います。毎日通勤で利用していますが、運転手の方々には日々感謝しております。ありがとうございます。
- ・バス、地下鉄の駅が近い方は利用しやすい制度だと思うが遠い方は不公平に思う。不便な地域の方は負担金軽減があってもいいのでは？
- ・たくさんの負担があれば、出かける事を躊躇してしまうのではないかと思います。気軽に外に出掛けられるように高齢者の方々にどうしてあげればいいのか、しっかり取り組んでいかないといけない問題だと思いました。

【IC化・応益負担化について】

- ・現状、バスで敬老乗車証を使用した場合は、運転手に見せるだけで降車できてしまい、いつ・どこから・どこまで乗ったのかがデータ化しづらい。ICカード化して応益負担になれば、今まで見えてこなかった乗客の流れが可視化され、営業係数改善の材料の一つにもなり得るので是非ともICカード化と応益負担を早く導入していただきたい。
- ・必要な人にはちゃんと必要な回数使えるようにしてほしい。無駄に多く使わせる必要はない。
- ・家の近くにはスーパーがなく、歩くには遠いスーパーなどに行くために敬老乗車証を利用している方が近所には多くいます。この制度は必要だと思いますが京都市の財政もまだまだ厳しいので皆が少しずつ負担し合えば財政負担も減り高齢者の外出も促せると思います。また、わざわざ多額の経費をかけてまでICカードにする必要はないと思います。

【税金負担について】

- ・医療費や介護保険費などの負担が現役世代に偏る中、かつ厳しい京都市の財政の中、高齢者の敬老乗車証の税金負担を減らしていくべき。子どもですら、乗った分の乗車料金を支払っているのに、公共交通機関の料金を高齢者だけ優遇するのはおかしい。乗らないなら払わない、乗るなら払う、という当たり前のシステムであり、そもそも高齢者の乗車料金を財政破綻寸前の京都市の税金で拠出することが理解できない。高齢者を一律に優遇できるほど、京都市の財政は豊かなのか。今は仕事の都合で仕方なく中京区にいるが、本当は子育て支援が充実している大阪や、長岡京市に住みたい。高齢者ばかり優遇し、将来世代へのツケばかりを残し、自分の子どもには絶対に京都市では住ませたくない。
- ・基本的には良い制度だと思っています。が、やはり社会情勢を考えると、見直しは必至だと思います。なくなっても、現状維持でも、明るい未来が見えず、なんともやるせない気持ちになります。良い方向へ見直してください。
- ・この制度だけでなく税金の無駄遣いがないか徹底的にクリアにすべき。

【交付開始年齢について】

- ・75歳からというのは、利用できる人が減るので、もう少し早めた方が有効な気がします。
- ・開始当初の全人口に対する対象の割合を出して、その年齢の人にまで現在の交付年齢を引き上げたらどうですか？市長が未来の子、孫に負の遺産を残さないために協力して下さいと京都市民に頭を下げて。

【その他】

- ・高齢者の自動車免許返納率UPにつながる内容を検討していただきたい。
- ・市バスの運転手は利用者が減少する中で、この制度を設けてもうまく回らない気がする。高齢の方は、市バスの運賃よりも、市バスまでの移動手段等を気にするのではと思う。歩いた歩数等によって特典がもらえる等の方が高齢者の健康につながるのではと思う
- ・今まで頑張ってこられた対象者の方には頭が下がる思いですが、増税等世の中が疲れている中、ずっと同じ内容の制度はキツイと思います。そして新しいIC等のシステムをすすめていくにも予算がかかるし、本当にどちらが良いのかもっと考える事が必要だと思います。外国人観光の方が多い中、先日バスを3台くらいやりすごしてやっと乗車できるという事もあり、いろいろともちろん考えておられると思うが、1つの側面で考えることでないと思います。
- ・敬老バス回数券というのがあるのが知らなかったが、いちいち買わないといけない。敬老料金を設定して乗車出来るようにしたら、制度の簡素化、制度費用の節約にもなるのでは。

IV 調査票

1. 制度対象者（72 歳以上）向けアンケート調査票

京都市敬老乗車証制度に関するアンケート調査票

<ご記入上のお願い>

- 1 回答に先立ち、同封している依頼文及び案内チラシをご覧ください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1 つのみ回答いただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。
- 3 一部の質問には、具体的な内容をご記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはっきりとご記入ください。

1. あなた自身のことについて

問 1. あなたの性別についてご回答ください。【○は 1 つ】

- ① 男性 ② 女性 ※ 答えたくない方は、無回答でも差支えありません。

問 2. あなたの年齢についてご回答ください。【○は 1 つ】

- ① 72 歳～74 歳 ② 75 歳～79 歳 ③ 80 歳～84 歳 ④ 85 歳～89 歳
⑤ 90 歳以上

問 3. あなたの居住区についてご回答ください。【○は 1 つ】

- ① 北区 ② 上京区 ③ 左京区 ④ 中京区 ⑤ 東山区 ⑥ 山科区
⑦ 下京区 ⑧ 南区 ⑨ 右京区（京北地域除く） ⑩ 右京区（京北地域）
⑪ 西京区（洛西地域除く） ⑫ 西京区（洛西地域）
⑬ 伏見区（深草、醍醐地域除く） ⑭ 伏見区（深草地域）
⑮ 伏見区（醍醐地域）

問 4．同居しているご家族についてご回答ください。【あてはまるすべてに○】

① 配偶者 ② こども ③ 孫 ④ 兄弟姉妹 ⑤ いない ⑥ その他（ ）

問 5．あなたやあなたの世帯の年収についてご回答ください。

あなた自身 【○は1つ】	① 100 万円未満 ② 100～300 万円未満 ③ 300～500 万円未満 ④ 500～700 万円未満 ⑤ 700～900 万円未満 ⑥ 900 万円以上
世帯全体 【○は1つ】	① 100 万円未満 ② 100～300 万円未満 ③ 300～500 万円未満 ④ 500～700 万円未満 ⑤ 700～900 万円未満 ⑥ 900 万円以上

問 6．あなたや同居家族の自動車運転免許の状況についてご回答ください。

あなた自身 【○は1つ】	① 免許がある ② 免許はあるが、運転していない ③ 返納した ④ 免許をもったことがない
同居家族 【○は1つ】	① 免許がある ② 免許はあるが、運転していない ③ 誰も免許をもっていない

問 7. それぞれの交通手段について、最寄りのバス停・駅までの時間や利用頻度について
ご回答ください。

	最寄りのバス停・駅 までの時間（徒歩）	利用頻度
市バス 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
民営バス 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
地下鉄 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
民営鉄道 （JRなど） 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
タクシー 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
自家用車 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
自転車 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない

問 8. あなたの身体状況や、施設への入所状況についてご回答ください。

身体状況 【○は1つ】	① 要支援1 ② 要支援2 ③ 要介護1 ④ 要介護2 ⑤ 要介護3 ⑥ 要介護4 ⑦ 要介護5 ⑧ 該当なし
施設への 入所状況 【○は1つ】	① 入所していない ② 特別養護老人ホーム ③ 介護老人保健施設 ④ 介護医療院 ⑤ グループホーム ⑥ 養護老人ホーム ⑦ ケアハウス ⑧ 有料老人ホーム ⑨ サービス付き高齢者向け住宅 ⑩ その他（ ）

問 13. あなた自身の社会への関わり方や生きがいなどについて教えてください。

【あてはまるすべてに○】

- ① 正社員などとして企業に勤務し、社会活動に携わりたい
- ② 雇用形態に関わらず企業に勤務し、社会活動に携わりたい
- ③ ボランティア活動などを通じて社会活動に携わりたい
- ④ 培った経験や知識を、若い世代へ伝えていきたい
- ⑤ 趣味などの生きがいを持ち、自分らしく過ごしていきたい
- ⑥ 健康な状態で長生きしたい
- ⑦ 家族や周囲の人たちと楽しく過ごしたい
- ⑧ 特にない
- ⑨ その他 ()

2. 敬老乗車証の交付状況について

問 14. あなたは、敬老乗車証の交付を受けていますか。【○は1つ】

- ① 交付を受けている ② 交付を受けていない

⇒①の方は問 15 へ ⇒②の方は問 20 へ

＜問 14 で①交付を受けていると回答した方にお尋ねします＞

問 15. 交付を受けている敬老乗車証の種類についてご回答ください。【○は1つ】

- ① フリーパス証 ② 敬老バス回数券

⇒①の方は問 16 へ ⇒②の方は問 19 へ

<問 15 で①フリーパス証と回答した方にお尋ねします>

問 16.フリーパス証を選んだ理由や利用目的、利用回数についてご回答ください。

選んだ理由 【あてはまるすべてに○】		① 外出する機会が多い ② 交通費の負担が軽くなる ③ 使い勝手がよい ④ 外出しやすくなる ⑤ 遠出をしやすくなる ⑥ 余暇活動がしやすくなる ⑦ その他 ()
利用目的 【あてはまるすべてに○】		① 買い物 ② 通院 ③ 地域社会活動等への参加 ④ 趣味・娯楽 ⑤ 通勤 ⑥ その他 ()
利 用 回 数	バス 【○は1つ】	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ 年に数回
	地下鉄 【○は1つ】	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ 年に数回

問 17.負担金についてご回答ください。【○は1つ】

① 0円 ② 9,000円 ③ 15,000円 ④ 30,000円 ⑤ 45,000円

<問 17 で ② 9,000円～⑤ 45,000円と回答した方にお尋ねします>

問 18.フリーパス証の負担金額（9,000円～45,000円）は、市バス地下鉄
共通全線定期券（年額20万円）の5～20%、中学生・高校生の
市バス・地下鉄定期券（年額9万円）の10%～50%としています。こ
のことにについて、あなたのお考えをお教えてください。【○は1つ】

① 非常に低額である ② 低額である ③ 適当である ④ 高額である ⑤ 非常に高額である
--

＜問 15 で②敬老バス回数券と回答した方にお尋ねいたします＞

問 19. 敬老バス回数券を選んだ理由や券種、利用目的、利用回数、制度に対するお考えについてご回答ください。

選んだ理由 【あてはまるすべてに○】	① 外出する機会が少ない (フリーパス証の負担金ほど利用しない) ② 回数券を半額で購入でき、お得である ③ 使い勝手がよい ④ 外出しやすくなる ⑤ 遠出をしやすくなる ⑥ 余暇活動がしやすくなる ⑦ その他 ()
利用目的 【あてはまるすべてに○】	① 買い物 ② 通院 ③ 地域社会活動等への参加 ④ 趣味・娯楽 ⑤ 通勤 ⑥ その他 ()
利用回数 (バス) 【○は1つ】	① ほぼ毎日 (週に5日以上) ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ 年に数回
交付上限額 (1 万円) に対するお考え 【○は1つ】	① 非常に充分である ② 充分である ③ 適当である ④ 不足している ⑤ 非常に不足している
負担金額 (半額負担) に対するお考え 【○は1つ】	① 非常に低額である ② 低額である ③ 適当である ④ 高額である ⑤ 非常に高額である

<問 14で②交付を受けていないと回答した方にお尋ねします>

問 20. あなたは、過去に敬老乗車証の交付を受けたことがありますか。

【あてはまるすべてに○】

① フリーパス証の交付を受けたことがある ② 敬老バス回数券の交付を受けたことがある
③ 交付を受けたことはない

問 21. フリーパス証、敬老バス回数券それぞれについて、交付を受けていない理由をご回答ください。【あてはまるすべてに○】

1. フリーパス証	① 敬老乗車証制度を知らなかった ② 敬老乗車証の申請方法がわからない ③ 手続きが面倒 ④ バスや地下鉄を全く利用しない ⑤ バスや地下鉄をあまり利用しない（負担金額ほど利用しない） ⑥ 所得制限のため交付対象外 ⑦ 福祉乗車証または重度障害者タクシー利用券を利用している ⑧ その他（ ）
2. 敬老バス回数券	① 敬老乗車証制度を知らなかった ② 敬老乗車証の申請方法がわからない ③ 手続きが面倒 ④ 回数券の管理が面倒 ⑤ バスを全く利用しない ⑥ 所得制限のため交付対象外 ⑦ 福祉乗車証または重度障害者タクシー利用券を利用している ⑧ その他（ ）

3. 敬老乗車証制度について

問 22. 敬老乗車証制度は高齢者の社会参加を支援する大切な制度である一方、制度の運営に要する費用を利用者からの負担金等と、市民の皆様の税金で賄っています。今後、市民の皆様の税金での負担をどうしていくべきだと思いますか。【○は1つ】

① 現状より増やした方がよい ② 現状を維持した方がよい ③ 現状より減らした方がよい ④ その他（ ）

⇒①または②の方は問 23 へ ⇒③の方は問 24 へ

<参考> 令和5年度決算額

制度の運用に要する費用：約 50 億円

（うち利用者からの負担金等：約 12 億円 市民の皆様の税金：約 38 億円）

＜問 22 で①現状より増やした方がよいまたは②現状を維持した方がよいに○をつけた方にお伺いします＞

問 23. 「現状より増やした方がよい」または「現状を維持した方がよい」とする主な理由について教えてください。【○は 1 つ】

- | |
|--|
| ① 高齢者の外出を促し社会参加促進につながる
② 高齢者の経済的負担軽減につながる
③ 高齢者の外出を促し介護予防につながる |
| その他具体的な理由： |

＜問 22 で③現状より減らした方がよいに○をつけた方にお伺いします＞

問 24. 「現状より減らした方がよい」とする主な理由について教えてください。【○は 1 つ】

- | |
|---|
| ① 財政の負担を軽減すべき ② 高齢者の社会参加促進につながるとは思えない
③ 高齢者の介護予防につながるとは思えない ④ 費用対効果が低い（見えない）
⑤ まちづくりや子育て支援等の他分野施策を充実すべき |
| その他具体的な理由： |

問 25. 現在、敬老乗車証制度は、利用者の所得に応じて負担金をお願いする仕組み（応能負担）となっていますが、将来的に IC 化したうえで、利用頻度に応じて負担金をお願いする仕組み（応益負担）にすることとしています。このことについて、あなたのお考えをお教えてください。【○は 1 つ】

- | |
|--|
| ① 賛成する ② どちらかという賛成する
③ 反対する ④ どちらかという反対する |
|--|

⇒①または②の方は問 26 へ ⇒③または④の方は問 27 へ

<問 25 で①賛成するまたは②どちらかという賛成するに○をつけた方にお伺いします>

問 26. 「賛成する」または「どちらかという賛成する」とした主な理由についてご回答下さい。

【○は1つ】

- | |
|---|
| <p>① IC 化などのデジタル化により利用者の利便性向上が見込まれる</p> <p>② 利用頻度に応じて負担する額を自分で選択できる</p> <p>③ 利用頻度により負担金に差をつける方が公平である</p> <p>④ 事業費の内訳と根拠が明確となる</p> |
|---|

その他具体的な理由：

<問 25 で③反対するまたは④どちらかという反対するに○をつけた方にお伺いします>

問 27. 「反対する」または「どちらかという反対する」とした主な理由についてご回答下さい。

【○は1つ】

- | |
|--|
| <p>① IC 化などのデジタル化は高齢者にとって利用しづらい</p> <p>② 低所得者の負担が増加する ③ 所得により負担金に差をつける方が公平である</p> <p>④ 導入に多額の経費がかかる</p> |
|--|

その他具体的な理由：

4. 自由意見等

問 28. 敬老乗車証制度について、ご意見がございましたらご自由に記載ください。

～調査にご協力いただき、誠に有難うございました～

2. 若年層（20 歳～64 歳）向けアンケート調査票

京都市敬老乗車証制度に関するアンケート調査票

<ご記入上のお願い>

- 1 回答に先立ち、同封している依頼文及び案内チラシをご覧ください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答いただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。
- 3 一部の質問には、具体的な内容をご記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはっきりとご記入ください。

1. あなた自身のことについて

問1. あなたの性別についてご回答ください。【○は1つ】

- ① 男性 ② 女性 ※ 答えたくない方は、無回答でも差支えありません。

問2. あなたの年齢についてご回答ください。【○は1つ】

- ① 29 歳以下 ② 30～39 歳 ③ 40～49 歳 ④ 50～59 歳
⑤ 60 歳以上

問3. あなたの居住区についてご回答ください。【○は1つ】

- ① 北区 ② 上京区 ③ 左京区 ④ 中京区 ⑤ 東山区 ⑥ 山科区
⑦ 下京区 ⑧ 南区 ⑨ 右京区（京北地域除く） ⑩ 右京区（京北地域）
⑪ 西京区（洛西地域除く） ⑫ 西京区（洛西地域）
⑬ 伏見区（深草、醍醐地域除く） ⑭ 伏見区（深草地域）
⑮ 伏見区（醍醐地域）

問4. 同居しているご家族についてご回答ください。【あてはまるすべてに○】

- ① 配偶者 ② こども ③ 孫 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 親 ⑥ いない
⑦ その他（ ）

問 5． あなたやあなたの世帯の年収についてご回答ください。

あなた自身 【○は1つ】	① 100 万円未満 ② 100～300 万円未満 ③ 300～500 万円未満 ④ 500～700 万円未満 ⑤ 700～900 万円未満 ⑥ 900 万円以上
世帯全体 【○は1つ】	① 100 万円未満 ② 100～300 万円未満 ③ 300～500 万円未満 ④ 500～700 万円未満 ⑤ 700～900 万円未満 ⑥ 900 万円以上

問 6． あなたや同居家族の自動車運転免許の状況についてご回答ください。

あなた自身 【○は1つ】	① 免許がある ② 免許はあるが、運転していない ③ 免許をもったことがない
同居家族 【○は1つ】	① 免許がある ② 免許はあるが、運転していない ③ 誰も免許をもっていない

問 7. それぞれの交通手段について、最寄りのバス停・駅までの時間や利用頻度について
ご回答ください。

	最寄りのバス停・駅 までの時間（徒歩）	利用頻度
市バス 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
民営バス 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
地下鉄 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
民営鉄道 （JRなど） 【○は1つずつ】	① 5分未満 ② 5～10分未満 ③ 10分以上	① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
タクシー 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
自家用車 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない
自転車 【○は1つ】		① ほぼ毎日（週に5日以上） ② 週に数回 ③ 月に数回 ④ ほぼ利用しない

問 8. あなたは、交通系 IC カードを利用していますか。【○は1つ】

① 利用している ② 利用していない

⇒①の方は問 9 へ ⇒②の方は問 10 へ

<問 8 で①利用していると回答した方にお尋ねします>

問 9. 利用している IC カードの種類についてご回答ください。【あてはまるすべてに○】

① ICOCA ② PiTaPa ③ その他（ ）

<問 8 で②利用していないと回答した方にお尋ねします>

問 10. IC カードを利用していない理由についてご回答ください。【あてはまるすべてに○】

- ① 使い方が分からない ② 手続きが面倒 ③ 紛失するのが不安
④ 公共交通機関を利用する機会が少ない
⑤ その他 ()

2. 敬老乗車証制度について

問 11. 敬老乗車証制度についてご存じでしたでしょうか。【○は 1 つ】

- ① 知っていた ② 知らなかった

問 12. あなたのご家族は、敬老乗車証の交付を受けていますか。【○は 1 つ】

- ① 交付を受けている ② 交付を受けていない ③ 分からない

問 13. 敬老乗車証制度は高齢者の社会参加を支援する大切な制度である一方、制度の運営に要する費用を利用者からの負担金等と、市民の皆様の税金で賄っています。

今後、市民の皆様の税金での負担をどうしていきべきだと思いますか。【○は 1 つ】

- ① 現状より増やした方がよい ② 現状を維持した方がよい
③ 現状より減らした方がよい ④ その他 ()

⇒①または②の方は問 14 へ ⇒③の方は問 15 へ

<参考> 令和 5 年度決算額

制度の運用に要する費用：約 50 億円

(うち利用者からの負担金等：約 12 億円 市民の皆様の税金：約 38 億円)

＜問 13 で①現状より増やした方がよいまたは②現状を維持した方がよいに○をつけた方にお伺いします＞

問 14. 「現状より増やした方がよい」または「現状を維持した方がよい」とする主な理由について教えてください。【○は 1 つ】

- ① 高齢者の外出を促し社会参加促進につながる
- ② 高齢者の経済的負担軽減につながる
- ③ 高齢者の外出を促し介護予防につながる

その他具体的な理由：

＜問 13 で③現状より減らした方がよいに○をつけた方にお伺いします＞

問 15. 「現状より減らした方がよい」とする主な理由について教えてください。【○は 1 つ】

- ① 財政の負担を軽減すべき ② 高齢者の社会参加促進につながるとは思えない
- ③ 高齢者の介護予防につながるとは思えない ④ 費用対効果が低い（見えない）
- ⑤ まちづくりや子育て支援等の他分野施策を充実すべき

その他具体的な理由：

問 16. 現在、敬老乗車証制度は、利用者の所得に応じて負担金をお願いする仕組（応能負担）となっていますが、将来的に IC 化したうえで、利用頻度に応じて負担金をお願いする仕組み（応益負担）にすることとしています。このことについて、あなたのお考えをお教えてください。【○は 1 つ】

- ① 賛成する ② どちらかという賛成する
- ③ 反対する ④ どちらかという反対する

⇒①または②の方は問 17 へ ⇒③または④の方は問 18 へ

<問 16 で①賛成するまたは②どちらかという賛成するに○をつけた方にお伺いします>

問 17. 「賛成する」または「どちらかという賛成する」とした主な理由についてご回答下さい。

【○は1つ】

- | |
|---|
| <p>① IC 化などのデジタル化により利用者の利便性向上が見込まれる</p> <p>② 利用頻度に応じて負担する額を自分で選択できる</p> <p>③ 利用頻度により負担金に差をつける方が公平である</p> <p>④ 事業費の内訳と根拠が明確となる</p> |
|---|

その他具体的な理由：

<問 16 で③反対するまたは④どちらかという反対するに○をつけた方にお伺いします>

問 18. 「反対する」または「どちらかという反対する」とした主な理由についてご回答下さい。

【○は1つ】

- | |
|--|
| <p>① IC 化などのデジタル化は高齢者にとって利用しづらい</p> <p>② 低所得者の負担が増加する ③ 所得により負担金に差をつける方が公平である</p> <p>④ 導入に多額の経費がかかる</p> |
|--|

その他具体的な理由：

3. 自由意見等

問 19. 敬老乗車証制度について、ご意見がございましたらご自由に記載ください。

～調査にご協力いただき、誠に有難うございました

